平成２６年度

転入者アンケート実施結果

報　告　書

平成２７年２月

鹿角市総務部政策企画課

目　　次

Ⅰ　実施概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１

Ⅱ　回収状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２

Ⅲ　設問別集計結果

１．転入のきっかけについて　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４
２．転入前の居住地について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６
３．転入時の家族構成について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　９
４．転入先の検討について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１１
５．就業の状況について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１２
６．住まいの状況について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１６
７．出身について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１８
８．市のイメージについて　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２０
９．転入の際の不安について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２３
１０．鹿角市に対する評価について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２６
１１．転入に対する評価について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３４
１２．移住・定住に必要な取り組みについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４９

資料　よりよいまちへの転入者アンケート回答票

Ⅰ　実施概要

1　実施目的

本市では、平成２３年度から３２年度を計画期間とする「第６次鹿角市総合計画」において、将来都市像を「笑顔がつながり活力を生むまち・鹿角」と定め、１０年後においても人口３万人台を確保することを目指しています。

この調査は、少子高齢化が進む中、定住人口の確保に向け、移住・交流を活発化させていく取り組みの参考とするため、平成２３年４月からの３年間に鹿角市に転入された方を対象にアンケートを実施したものです。

2　設問構成

設問	設問の趣旨
1. あなた自身について	転入者の属性、転入先（地区）の分析
2. 転入前の居住地について	転入元の分析
3. 転入した時期について	転入年度別のクロス集計に利用
4. 転入時の家族構成について	転入時の家族形態（人数の分析）
5. 転入のきっかけについて	転入理由の分析
6. 転入先の検討状況について	鹿角市を選んだ理由
7. 就業の状況について	転入時の就業
8. 住まいの状況について	転入時と現在の居住形態
9. 出身について	転入者に占める市出身者の割合
10. 市のイメージについて	転入時の市に対するイメージ
11. 転入の際の不安について	転入の際の不安（自由記述）
12. 鹿角市に対する評価について	鹿角市に対する現在の評価
13. 転入に対する評価について	転入したことに対する評価
14. 移住促進に必要な取り組み	定住・移住促進に向けた提言等（自由記述）

3　実施期間

平成 26 年 10 月 1 日（水）～10 月 20 日（月）まで

4　実施対象

平成 23 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日までに転入（市民登録）され、平成 26 年 9 月 25 日時点で住民基本台帳に登載されている市民 1,380 人（ただし福祉施設入所者を除く）が属している世帯の代表者（1,007 世帯）に対し実施しました。

実施方法については、配布及び回収とも郵送により行いました。

Ⅱ　回収状況

1　回収率

34.8%（350 世帯／1,007 世帯）

2　回答者の属性

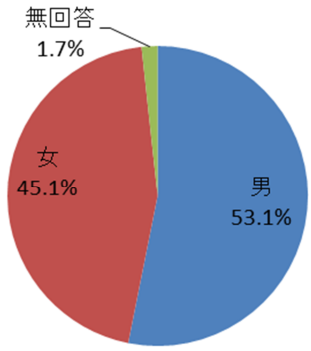
アンケートの属性別の対象者数、回答者数及び回収率は以下のとおりです。構成比（※1）は、その区分の対象者（回答者）が全対象者（回答者）のうち何%を占めているかを表しています。回収率（※2）は、その区分の対象者数のうち何%が回答を寄せたかを表しています。

※1　構成比 ＝ その区分に属する対象者（回答者）数　÷　全対象者（回答者）数

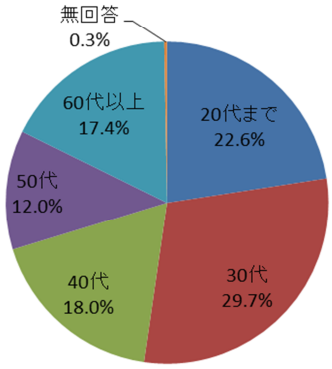
※2　回収率 ＝ その区分に属する回答者数　÷　その区分に属する対象者数

※各設問における項目選択の割合（%）は、四捨五入の関係で合計が 100%にならない場合があります。

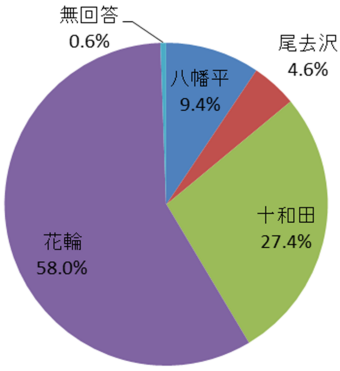
男女別	対象者（世帯代表者）		回答率		回収率
	人数	構成比	人数	構成比	
男	596	59.2%	186	53.1%	31.2%
女	411	40.8%	158	45.1%	38.4%
無回答			6	1.7%	
計	1,007	100%	350		34.8%



年代別	対象者（世帯代表者）		回答率		回収率
	人数	構成比	人数	構成比	
20代以下	405	40.2%	79	22.6%	19.5%
30代	276	27.4%	104	29.7%	37.7%
40代	126	12.5%	63	18.0%	50.0%
50代	94	9.3%	42	12.0%	44.7%
60代以上	106	10.5%	61	17.4%	57.5%
無回答			1	0.3%	
計	1,007	100%	350		34.8%



地区別	対象者（世帯代表者）		回答率		回収率
	人数	構成比	人数	構成比	
八幡平	98	9.7%	33	9.4%	33.7%
尾去沢	65	6.5%	16	4.6%	24.6%
十和田	300	29.8%	96	27.4%	32.0%
花輪	544	54.0%	203	58.0%	37.3%
無回答			2	0.6%	
計	1,007	100%	350		34.8%

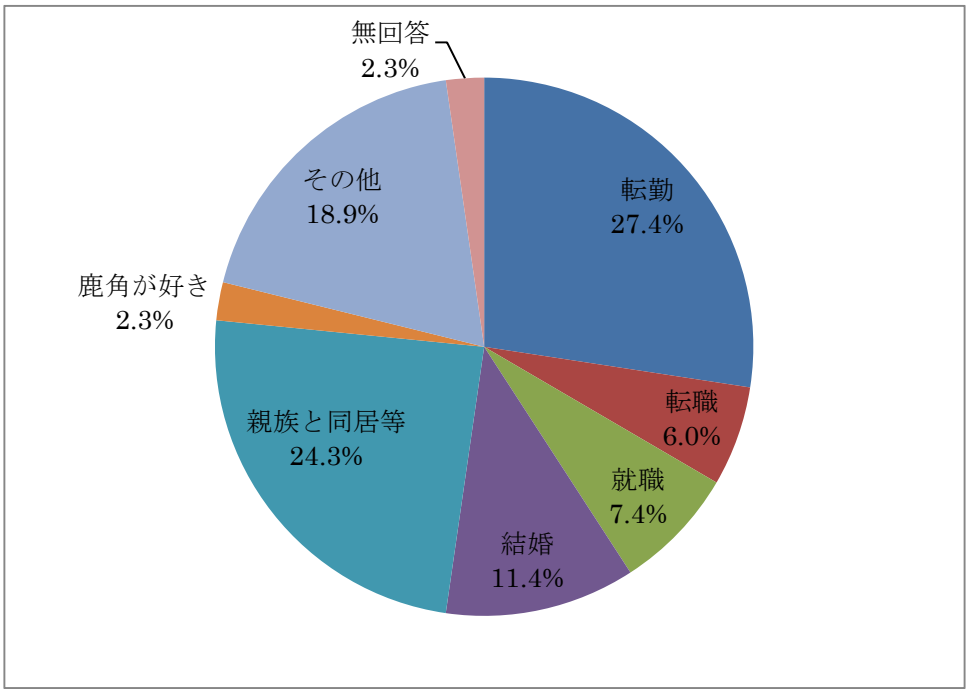


Ⅲ　設問別集計結果

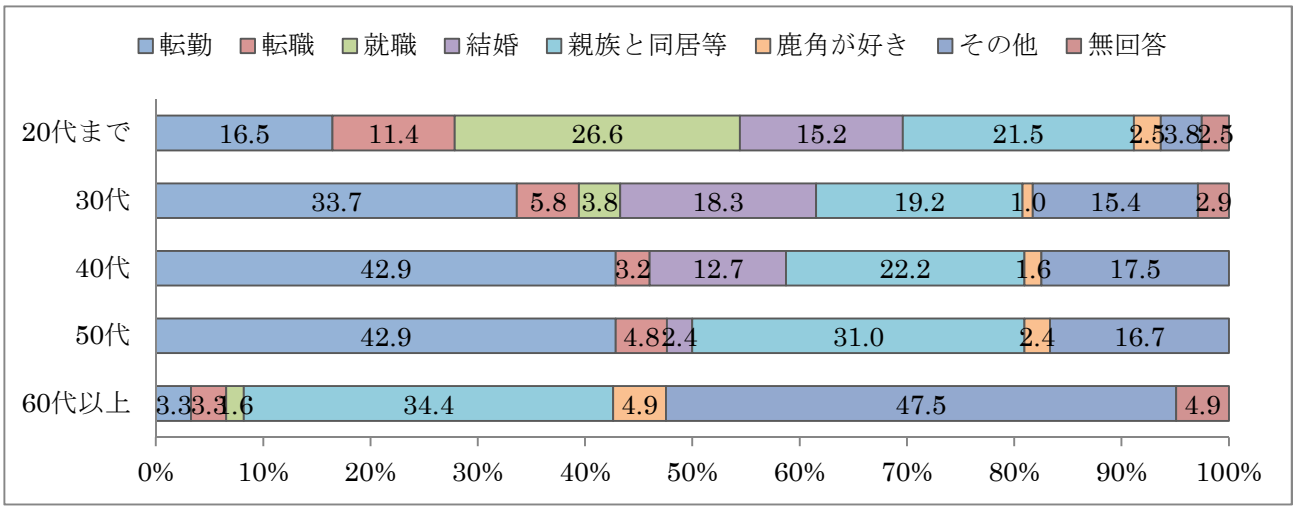
1　転入のきっかけについて

設問　転入された最も大きなきっかけは何でしたか。

①全体（N＝350）〔単位：%〕



②年代別（N＝349（年齢不詳除く））〔単位：%〕



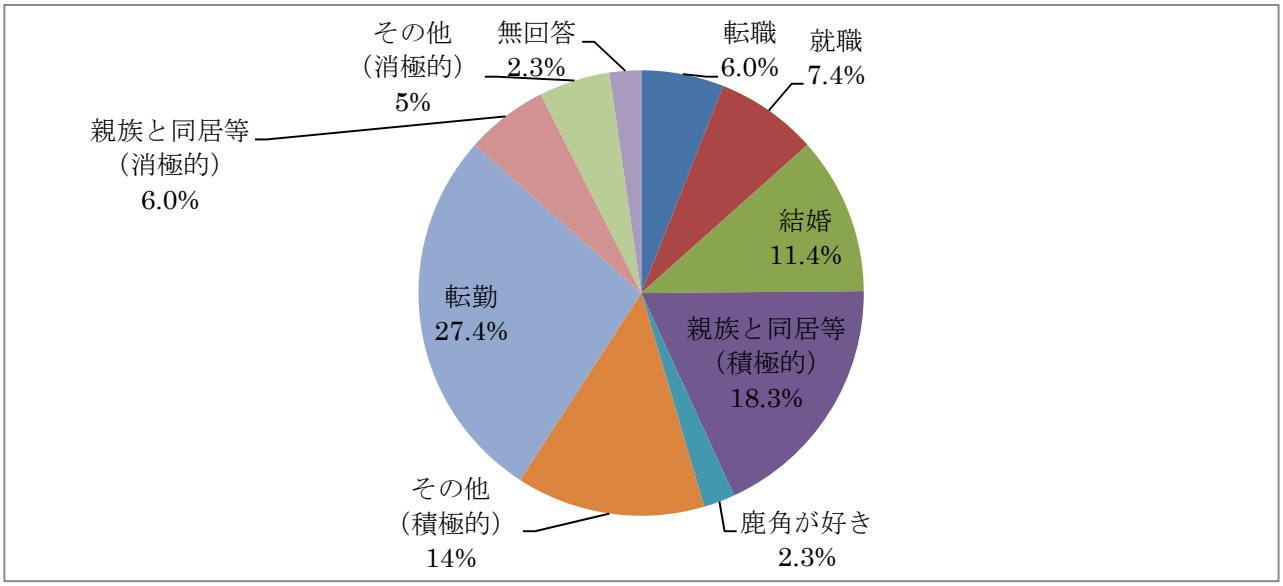
転入のきっかけで最も多いのは、「転勤」で 27.4%である。次いで多いのは、「親族と同居等（家族や親族と同居するため、または近くに住むため）」の 24.3%であり、これには若年者が親元に帰るというもののほか、親の介護や面倒を見るというものも含まれる。3 番目に多いのは「その他」であり、退職や離婚、墓を守るなどさまざまな理由が挙げられている。

就職は当然ながら 20 代が最も多く、転職も 20 代が一番多い。親族と同居は年代が上がるにつれ多くなり、60 代以上ではその他の理由が最も多くなる。

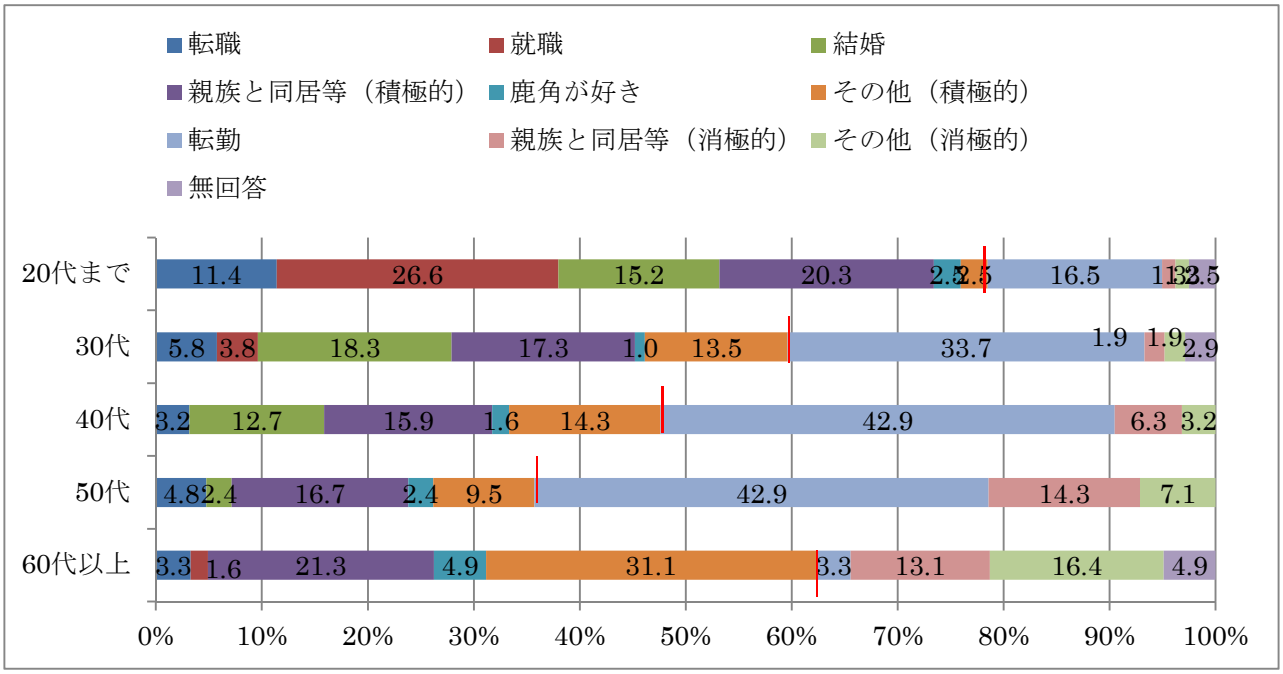
なお、「鹿角が好きだから」と答えた方は、2.3%の 8 人であるが、うち市出身者等は 6 人である。市出身者等の転入の具体的理由には「地元で子育てがしたい」「ふるさとだから」などの意見があった。市外出身の 2 人の理由については、具体的理由の記載はなかった。

③積極的・消極的の別

【全体】（N＝350）〔単位：%〕



【年代別】（N＝349（年齢不詳除く））〔単位：%〕



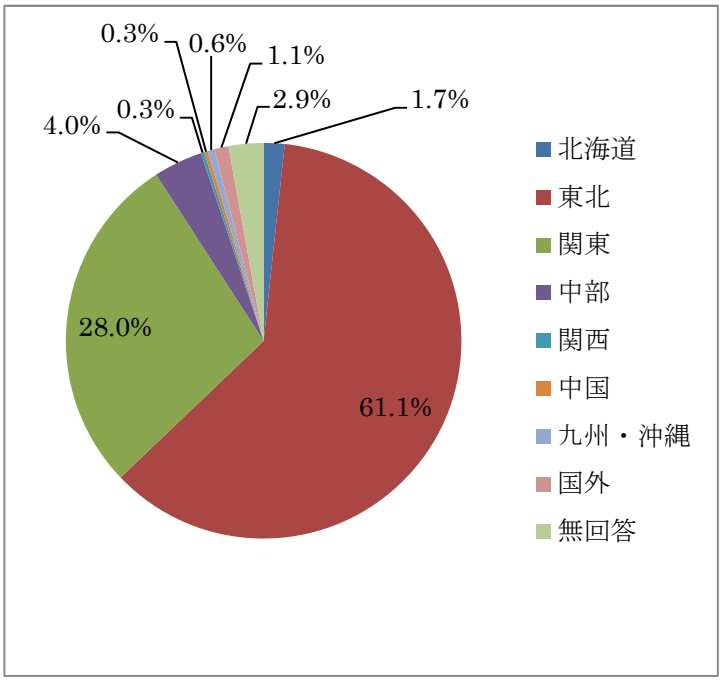
転入理由の「親族と同居等」と「その他」には、さまざまな理由が含まれていたことから、これを消極的なもの（親の介護のため、墓を守るため、病気療養のため）とそれ以外に分けると、次のようになる。

このことから、市への転入を前向きに捉えて転入する方は、全体の約 60%ということができる。年代別には、年齢が上がるにつれ、消極的な理由が多くなるが、60 代以上では再び積極的理由が増える。移住を自ら選ぶ層が 50%を超えるのは 30 代までと 60 代以上である。

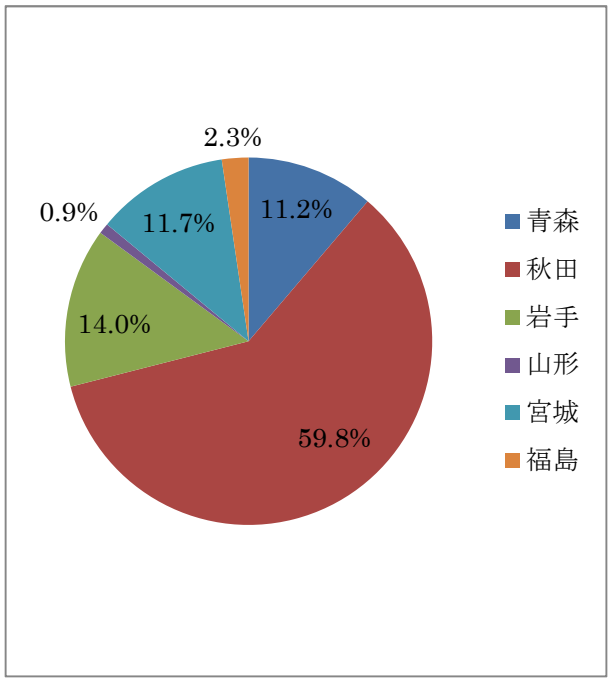
2 転入前の居住地について

設問　鹿角市に転入される前のお住まいをお知らせください。

①－１　全国地域別（Ｎ＝350）



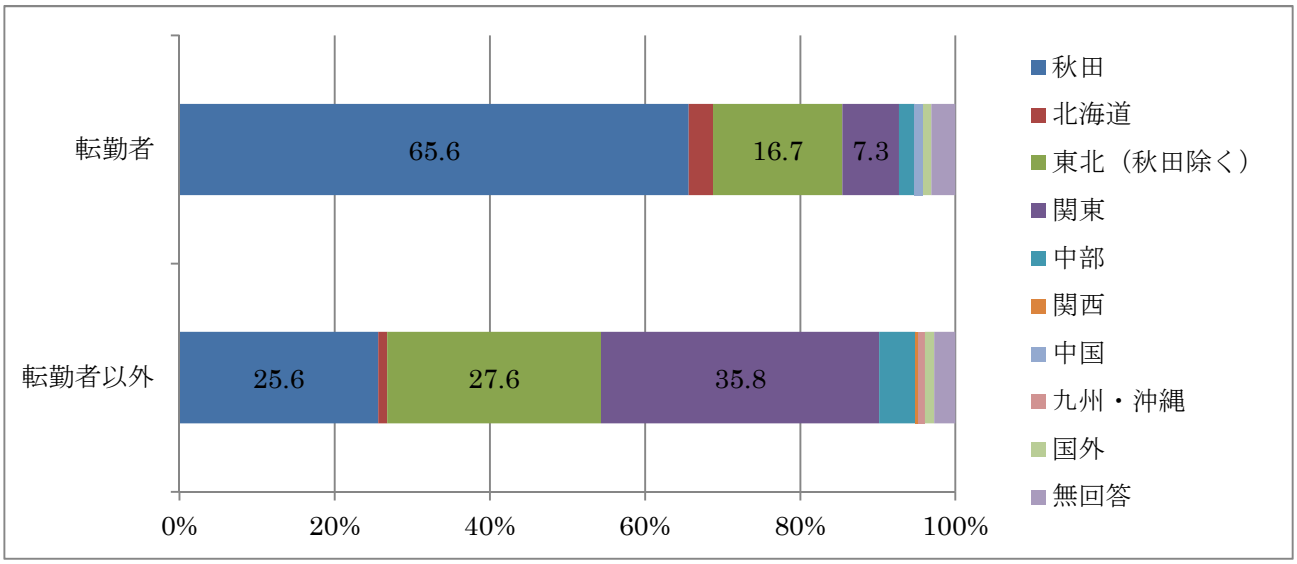
①－２　東北地方の内訳（Ｎ＝214）



東北地方からの転入が６割を超えているが、さらにその６割を秋田県内からの転入が占めており、秋田県内からだけでも約 37%を占めることとなる。

次いで多いのは首都圏を含む関東地方で、28%である。

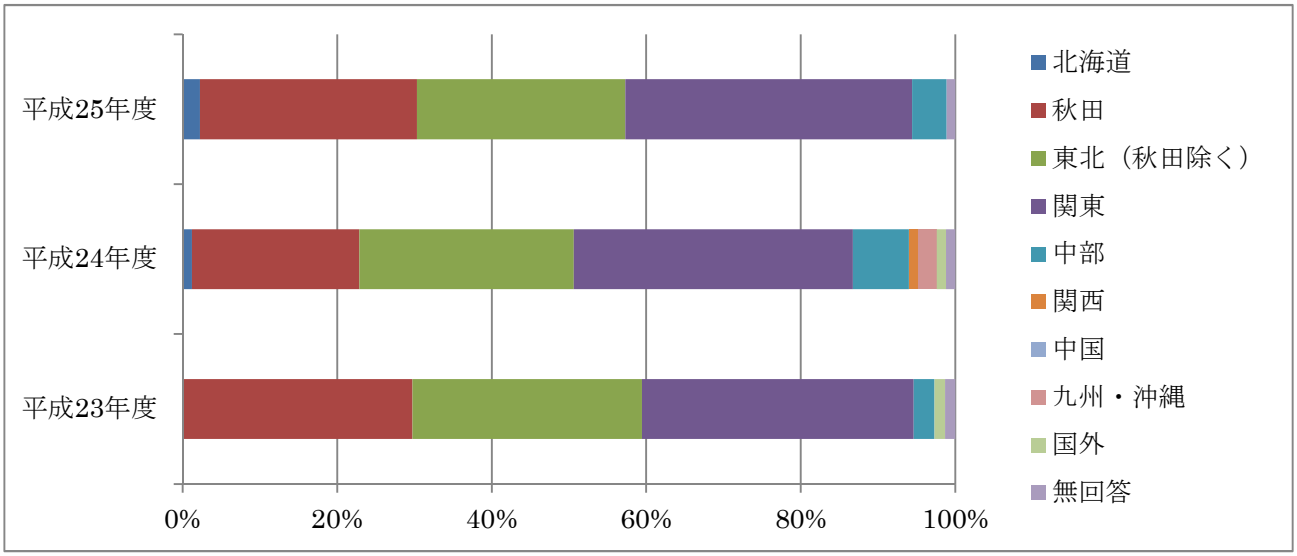
②転勤者・転勤者以外の別（Ｎ＝350）　〔単位：%〕



秋田県内からの転入が多いのは、転勤による転入であることがわかる。

転勤者以外では、最も多いのが関東地方、次いで秋田県を除く東北地方、３番目が秋田県である。

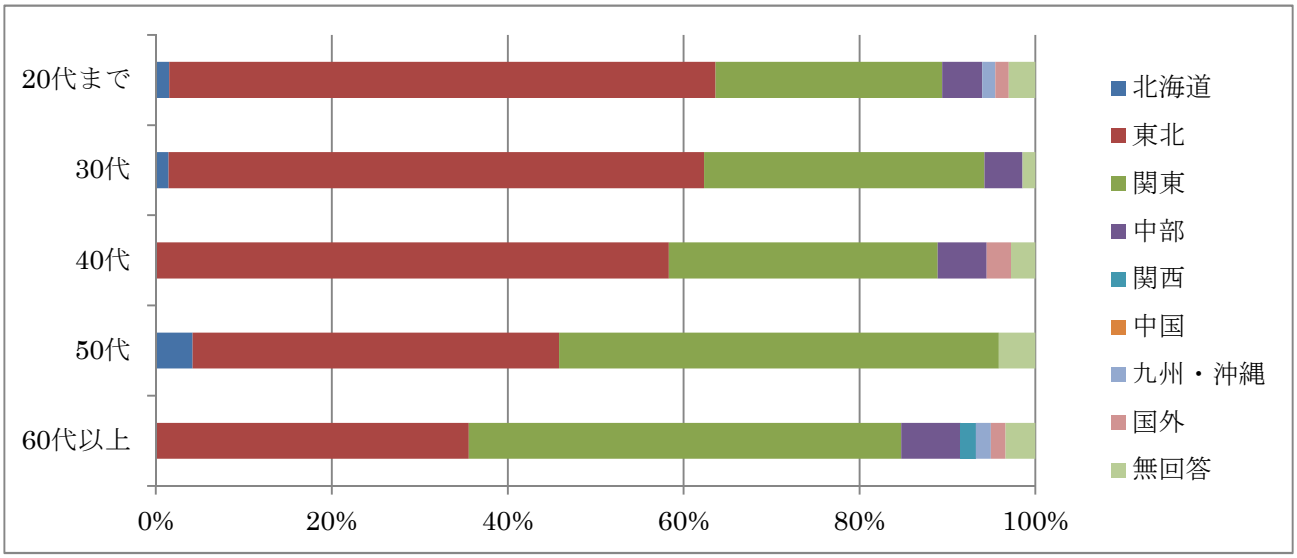
③全体／転入年度別（Ｎ＝339（年度不詳除く））〔単位：%〕



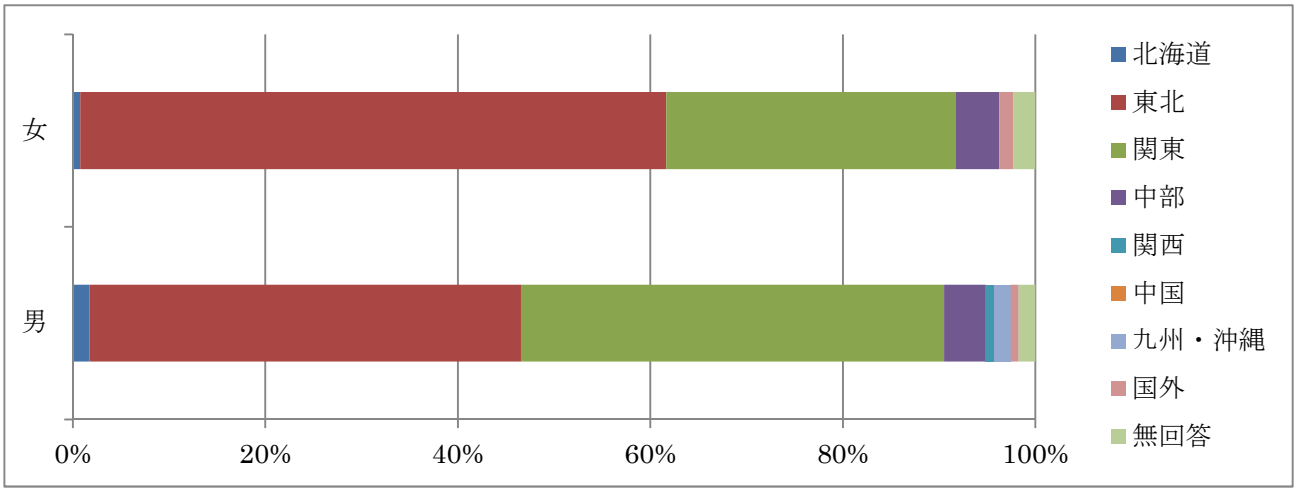
転入年度別に見ると、関東地方からの転入が減少傾向にある。

なお、県内からの転入が平成 25 年度に多くなっているのは、県内からの転入比率が高い転勤が平成 25 年度に多かったことが主な要因と考えられる。

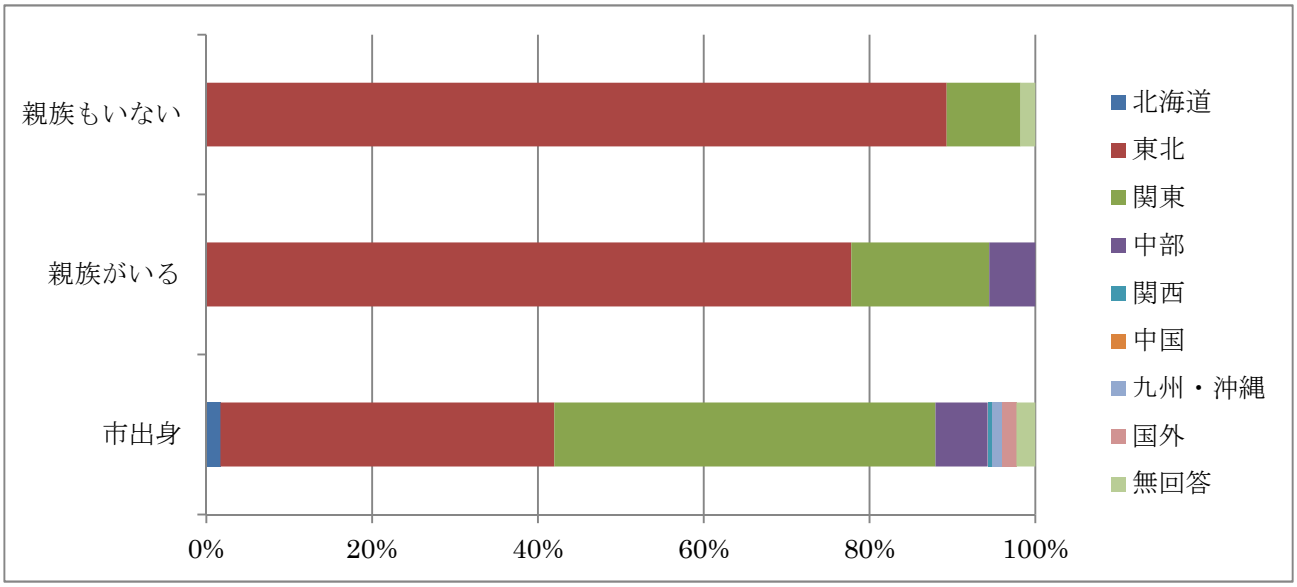
④－１　転勤者以外／年代別（Ｎ＝254）〔単位：%〕



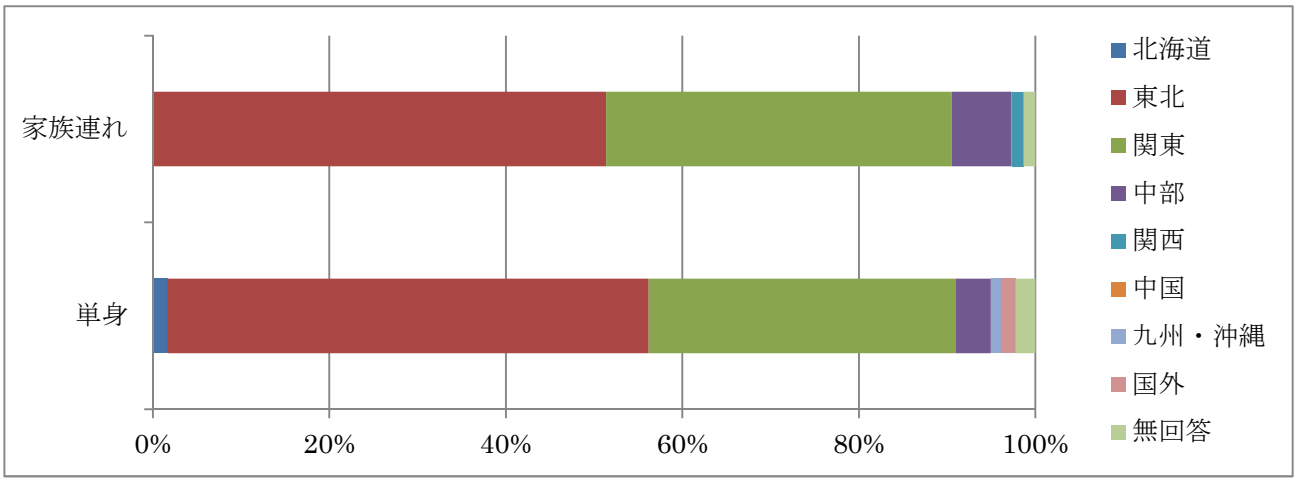
④－２　転勤者以外／男女別（Ｎ＝249（性別不詳除く））〔単位：%〕



④－３　転勤者以外／出身別（Ｎ＝248（出身不詳除く））〔単位：%〕



④－４　転勤者以外／家族構成別（Ｎ＝252（家族構成不詳除く））〔単位：%〕



転勤者以外についてみると、年代別には、若い年代では東北地方からの転入割合が高く、高齢になるにつれ、関東地方からの転入割合が高いことがわかる。

また、男女別では、男性は東北地方と関東地方がやや同じで、女性は東北地方からの転入割合のほうが高い。

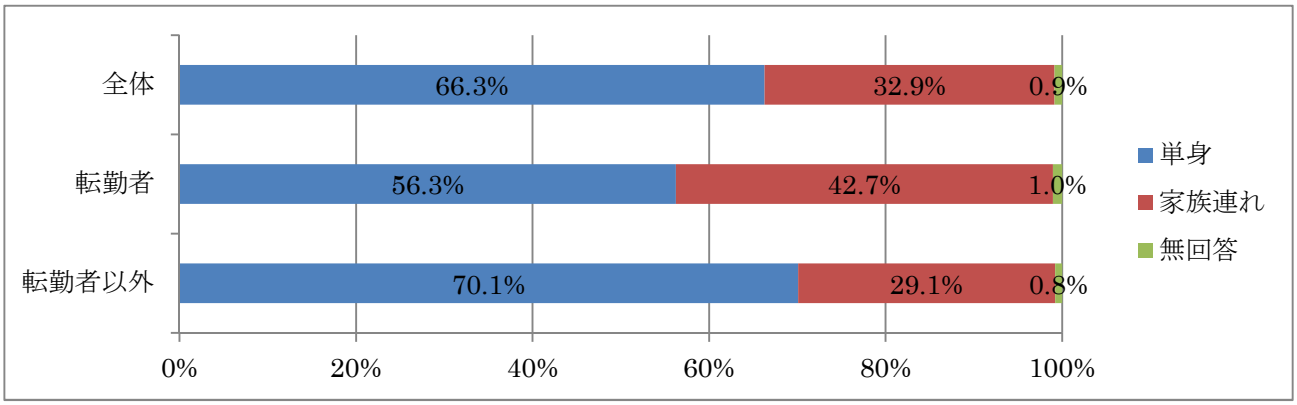
出身別にみると、市外出身者等は東北地方からの転入割合が高く、関東地方からの転入割合が高いのは出身者である。これらのことから、本市へのＵターンは、東北地方からと首都圏等からとが同じ割合で、首都圏等からのＵターンは高い年代で多いということができる。

家族構成別では、大きな差はない。

3 転入時の家族構成について

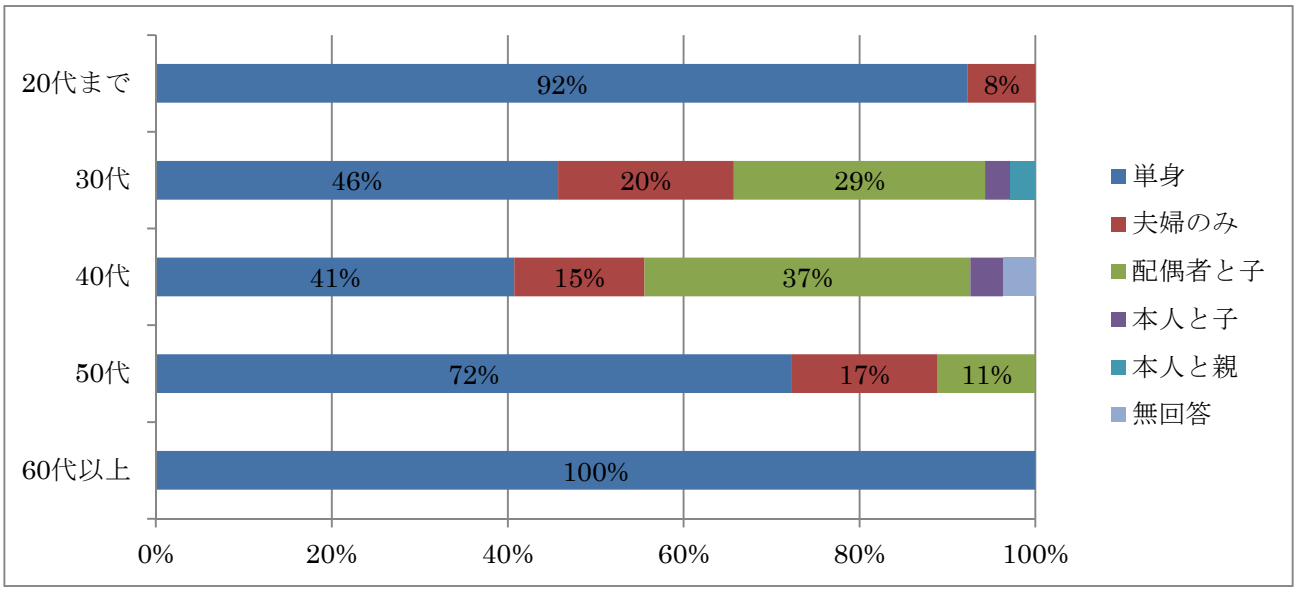
設問　転入時の家族構成についてお答えください。

①全体／転入要因別（N＝350）〔単位：%〕



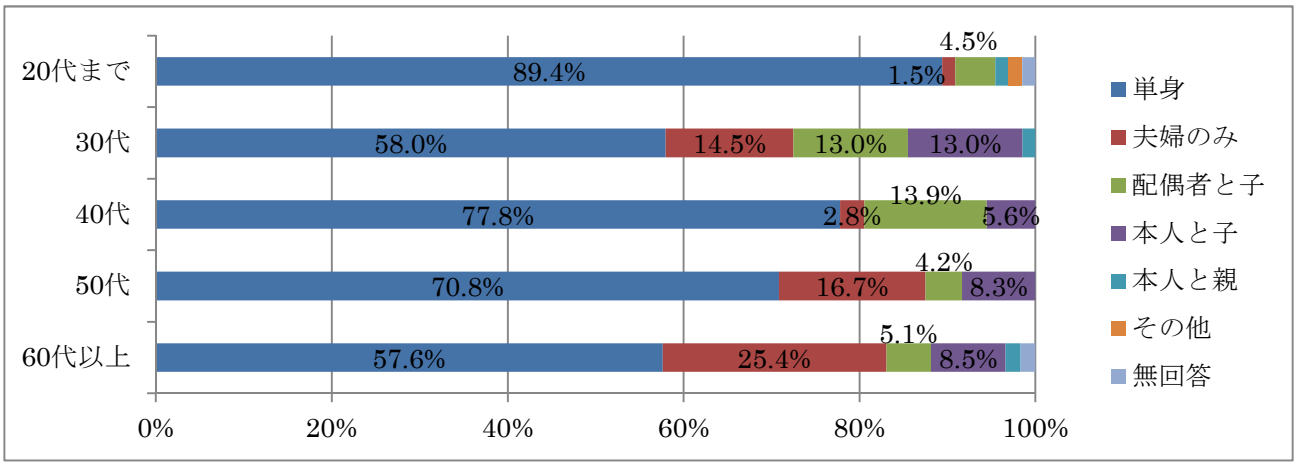
転入世帯の家族構成を見ると、単身での転入が 66%と、約 2／3 を占めている。
転勤者では約 56%と低くなり、転勤者以外では 70%を超える。

②転勤者／年代別（N＝95（年齢不詳除く））〔単位：%〕



転勤者の家族構成を見ると、20 代までと 60 代以上は、ほぼ単身での転入である。
子育て世代である 30 代、40 代では親子での転入が多い。

③転勤者以外／年代別（N＝254）〔単位：%〕



転勤者以外では、20 代まででは単身での転入が 9 割近くを占める。

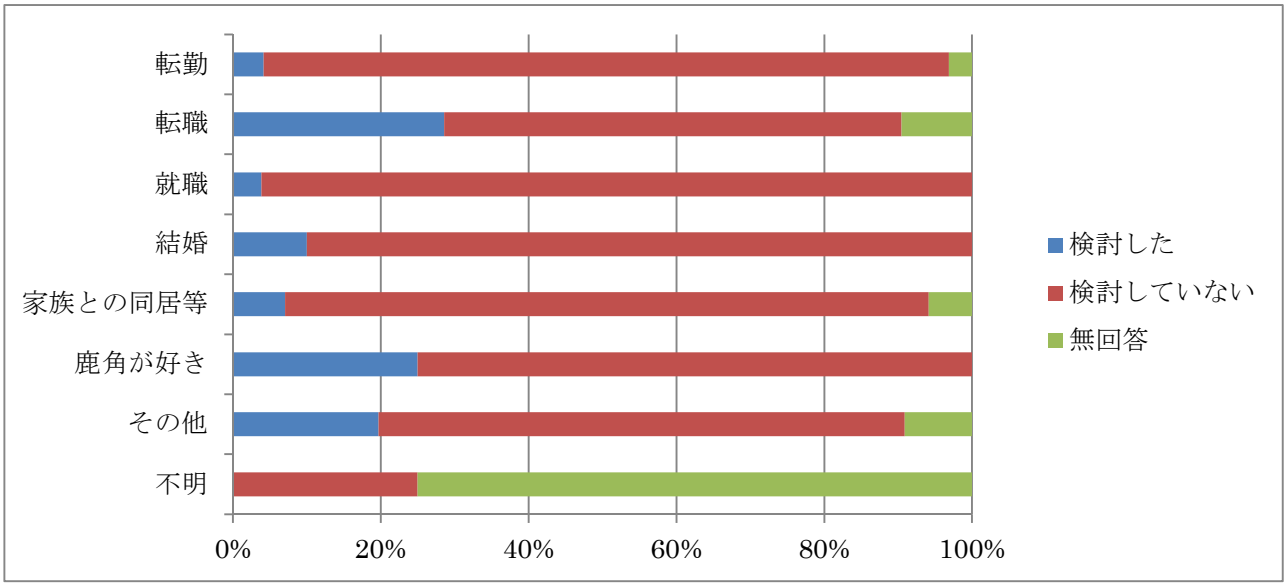
他の年代でも単身の割合が最も高いが、30 代と 60 代以上では家族連れが多い。配偶者と子の組み合わせは 30 代、40 代の子育て世代で多く、50 代以上では夫婦での転入が多い。

本人と子での転入のほとんどは、母子での転入である。

4　転入先の検討について

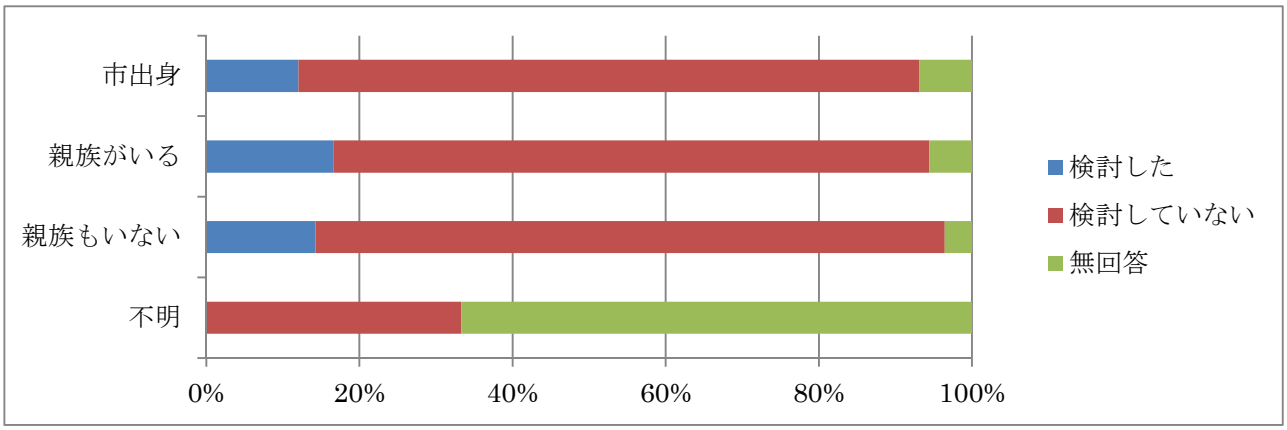
設問　転入にあたって、鹿角市以外の市町村への転居も検討しましたか。

①転入要因別（Ｎ＝350）〔単位：%〕



勤務地を定められている転勤や特定の転入先が決まっている結婚、家族との同居等の場合は、当然ながら、転入にあたって他の市町村も検討した割合は低くなっているが、その他の場合もそれほど多くない。

②転勤以外／出身別（Ｎ＝254）〔単位：%〕



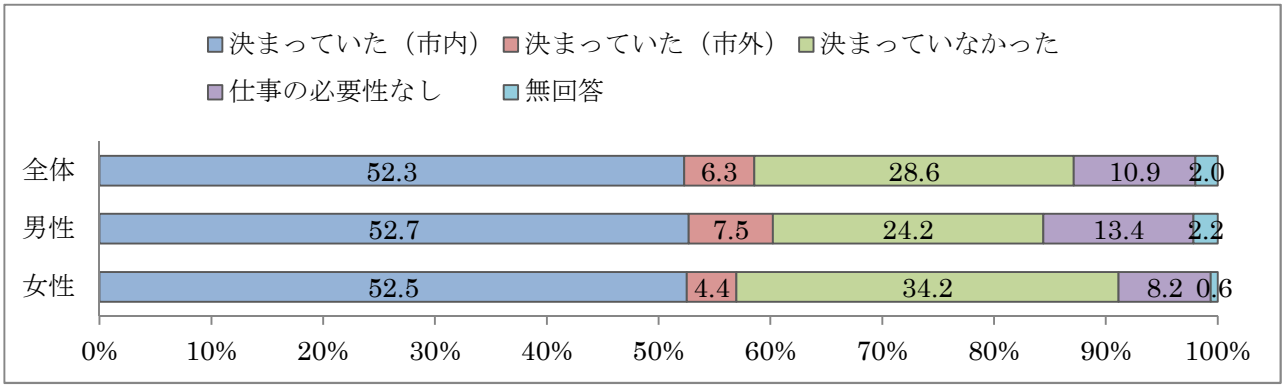
転勤以外の理由で転入した方について、市出身であるかどうかで見てみても、転入にあたって他市町村を検討した割合に大きな変化はない。

親族もいない方で、他市町村を検討の上、鹿角市に転入した方（Ｎ＝8）の選択理由は、「自然が多い」「もともと秋田県内を検討していた」「ペットが飼えるアパートがあった」「勤め先に近い」「実家に近い」などで、いずれも単数の回答である。

5 就業の状況について

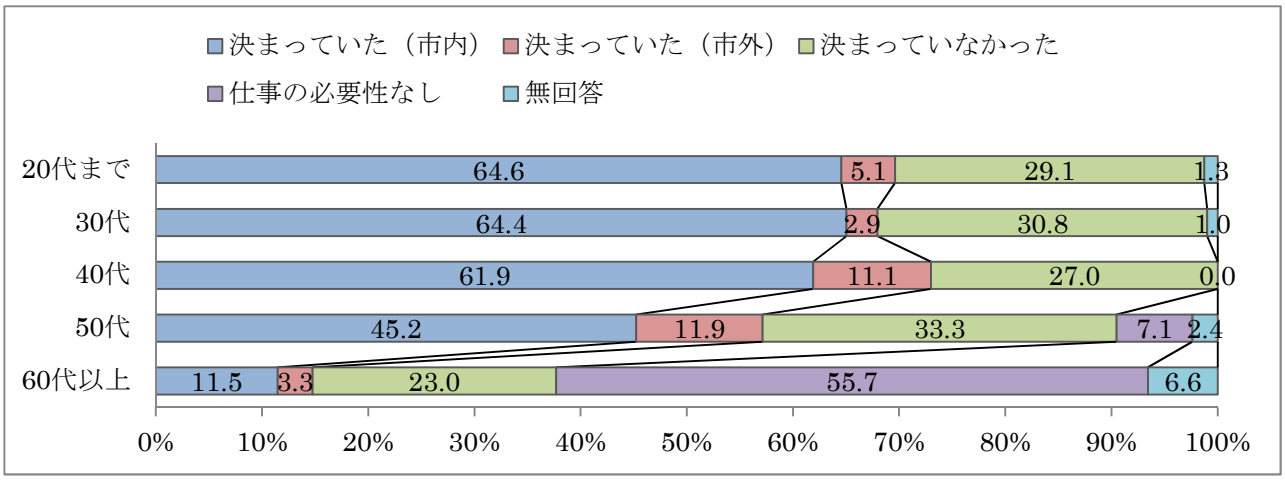
設問　転入時、生計を支える方のお仕事は決まっていましたか。

①全体／男女別（N＝350）〔単位：%〕



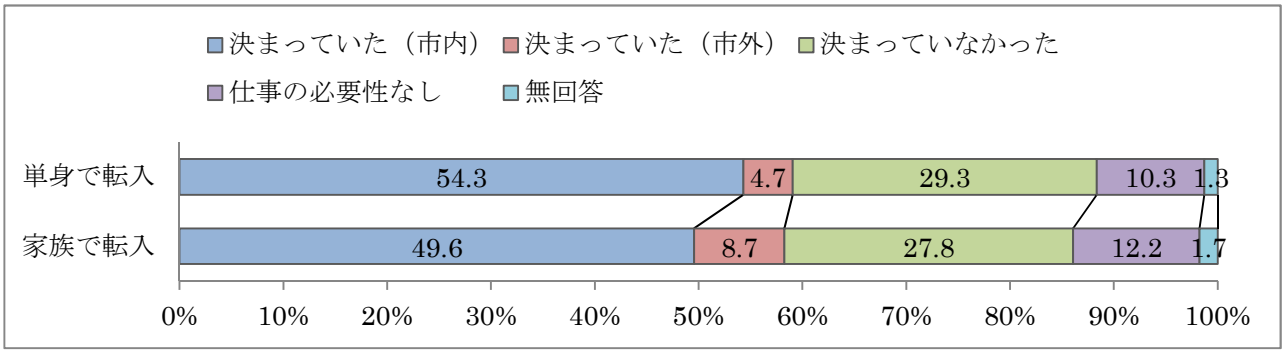
転入時に生計を支える方の仕事が決まっていた世帯は、約 60%である。決まっていなかった世帯は約 30%で、世帯主等が女性の場合にその割合が高い。

②年代別（N＝349（年齢不詳除く））〔単位：%〕



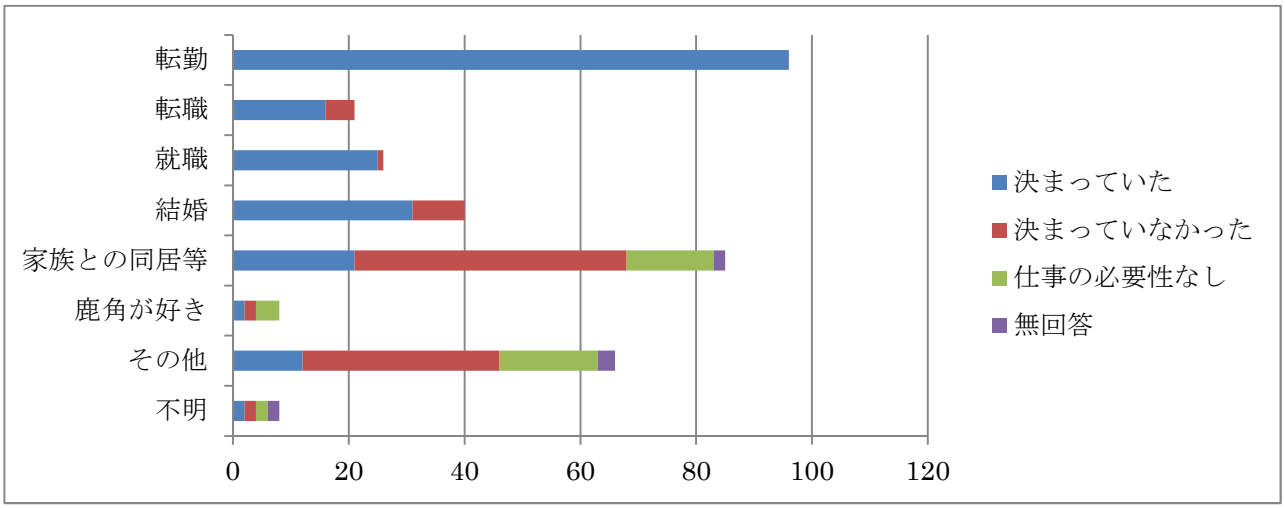
年代別にみると、仕事が決まっていた世帯の割合が 40 代までは 70%近い。一方、仕事が決まっていない世帯の割合は、若い年代でも 30%近くある。

③家族構成別（N＝347（家族構成不詳除く））〔単位：%〕



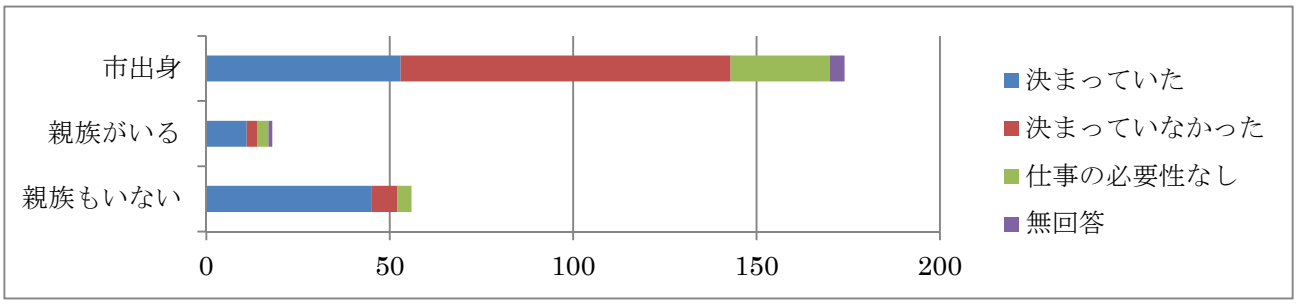
家族構成別には、全体の傾向と差はない。

④転入要因別（Ｎ＝350）〔単位：世帯〕



転入要因別に見ると、家族との同居やその他を転入理由とする世帯の半数以上で、転入時に仕事が決まっていなかったことがわかる。

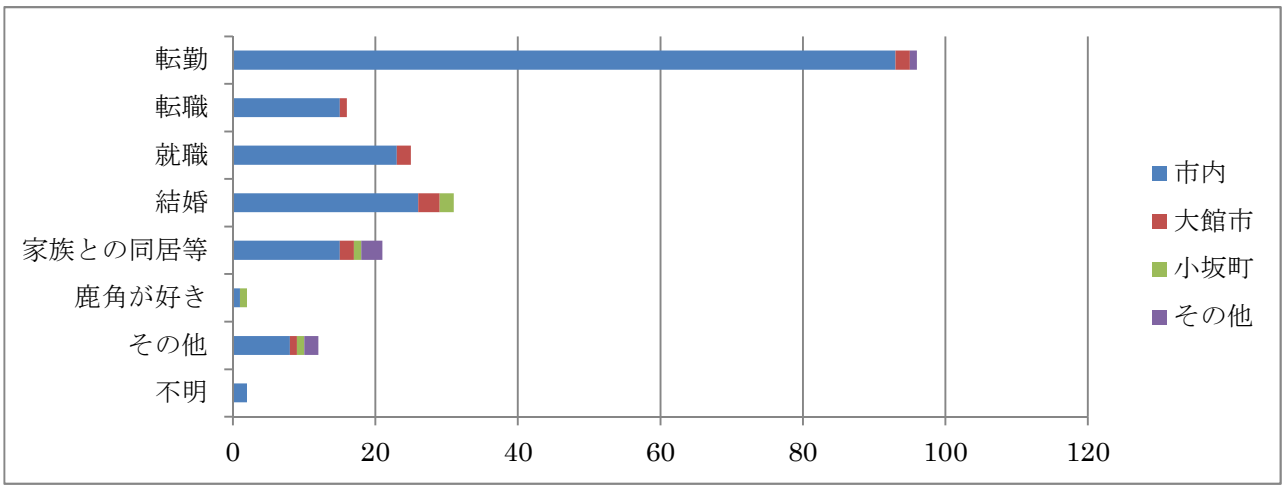
⑤出身別（転勤者を除く・出身不詳を除く）（Ｎ＝248）〔単位：世帯〕



出身別の就業先の決定状況を、就業率が 100%である転勤者を除いて比較してみると、市出身者の未就業が多く、半数以上の世帯で転入時に仕事が決まっていないことがうかがわれる。

【就業先の状況】

⑥仕事が決まっていた世帯／勤務地別（Ｎ＝205）〔単位：世帯〕

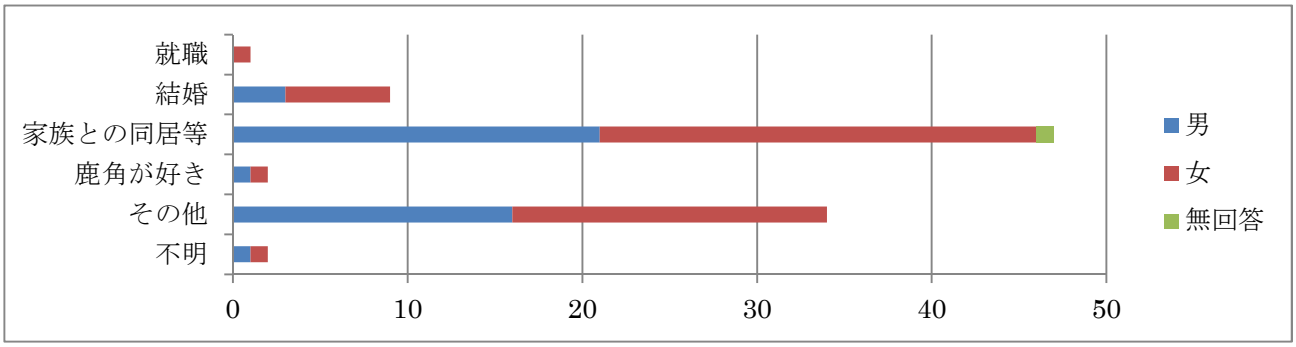


仕事が決まっている世帯の就業先を見ると、全体としては、市内が 89%、市外が 11%であり、市内転入者はほぼ市内で就業しているといえる。

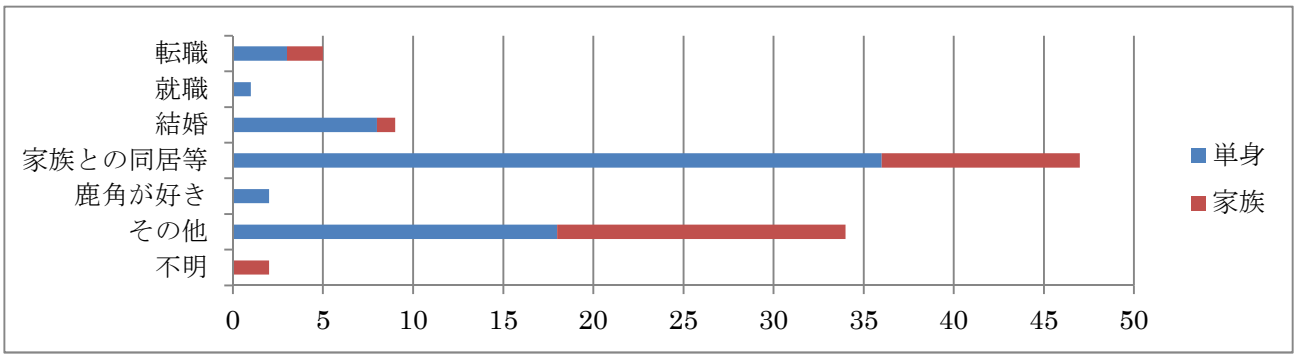
結婚では比較的市外の割合も高く、結婚後も近隣の市に通勤していることがうかがわれる。

【仕事が決まっていない世帯（転勤を除く）の状況】

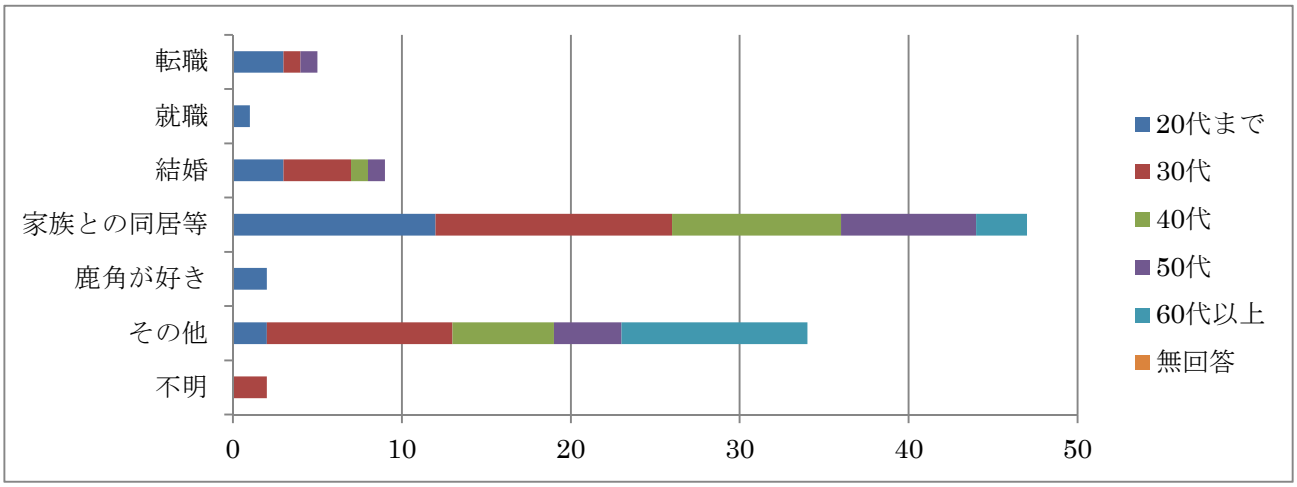
⑦－１　転入要因別／男女別（Ｎ＝100）〔単位：世帯〕



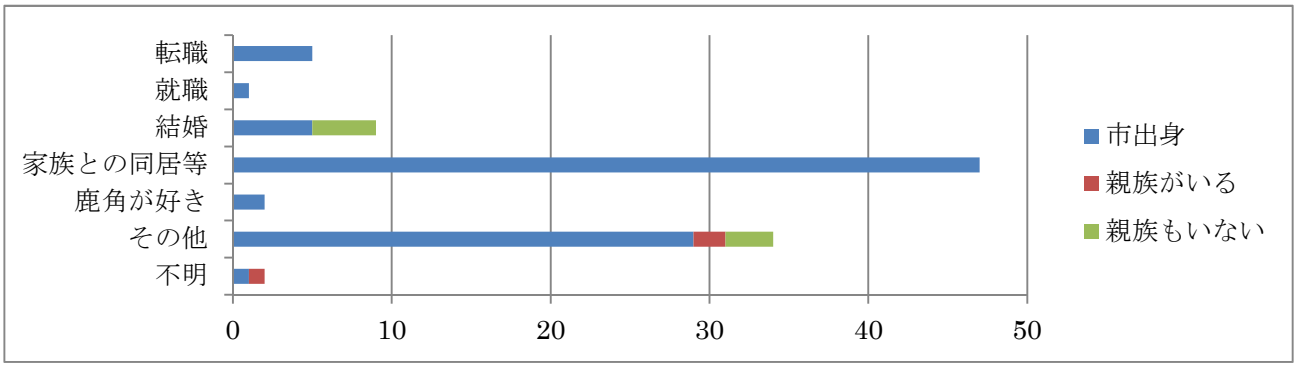
⑦－２　転入要因別／家族構成別（Ｎ＝100）〔単位：世帯〕



⑦－３　転入要因別／年齢別（Ｎ＝100）〔単位：世帯〕



⑦－４　転入要因別／出身別（Ｎ＝100）〔単位：世帯〕



仕事が決まっていなかった世帯の状況を見ると、男女とも同程度の割合であるが、家族構成別にみると、単身での転入の場合が多いことがうかがわれる。

また、年代別には、全体としては 30 代以下の世帯が多いが、親の介護を含む「家族との同居」やその他の理由の場合は、どの年代も同程度ある。

出身別では､仕事が決まっていなかった世帯の 9 割を市出身者が占めている｡この理由としては、仕事が見つからなくても支えてくれる家族がいるためとも考えられる。

⑧現在の就業状況

転入当初の時点から現在までに就業状況に変化があったかどうかについて、属性の職業に関する質問との対比で分析すると、次のとおりとなり、6 割弱の世帯は何らかの形で就業できたと推測される。

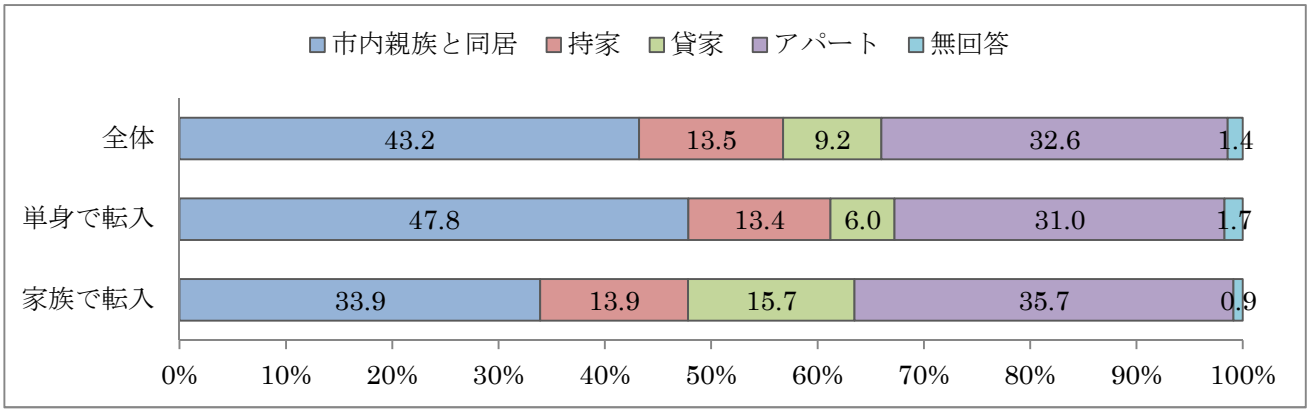
○転入時仕事が決まっていた方で、現在の職業が「その他」の方は 109 人中 14 人
○転入時仕事が決まっていなかった方で、現在の職業が「その他」以外の方は 100 人中 58 人

6 住まいの状況について

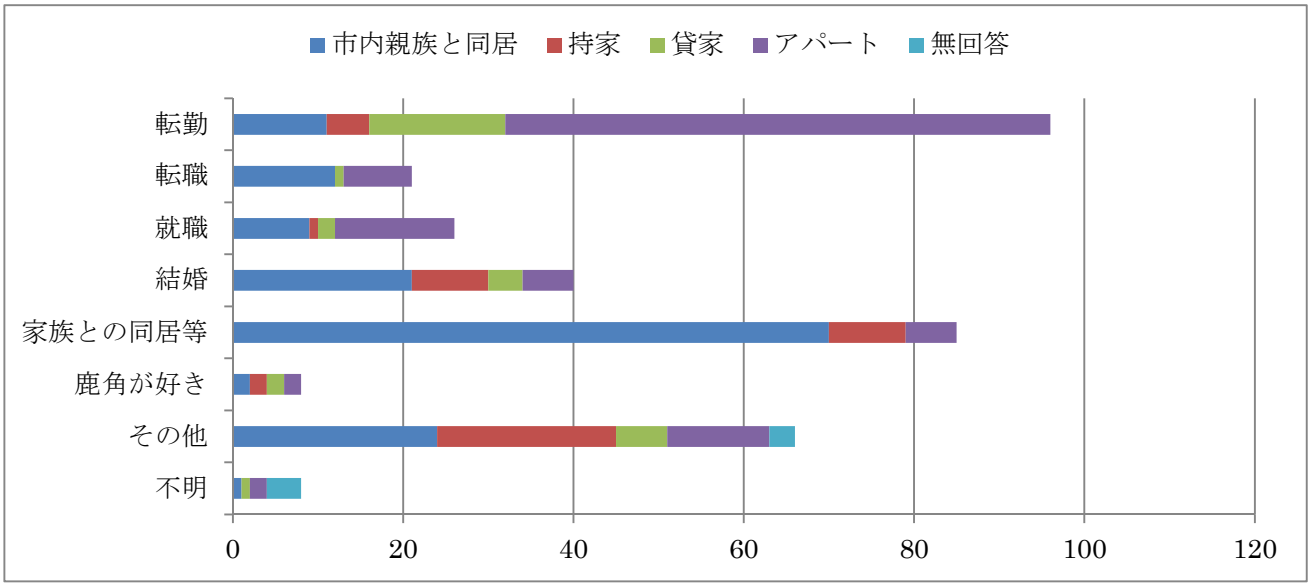
設問　転入時及び現在の住居についてお答えください。

【転入時の状況】

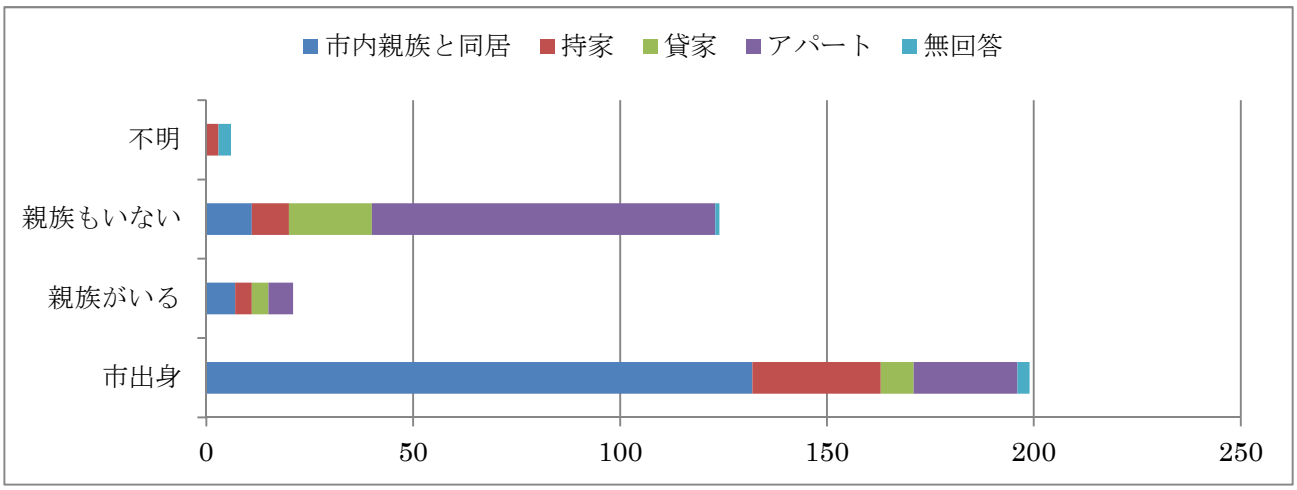
①全体／世帯構成別（N＝350）〔単位：%〕



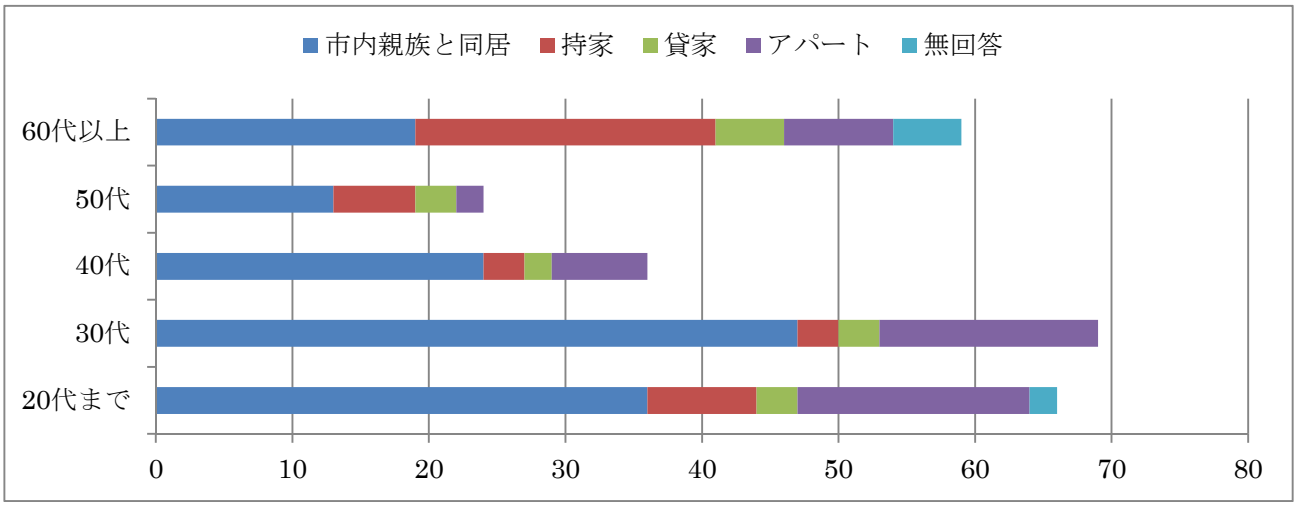
②転入要因別（N＝350）〔単位：世帯〕



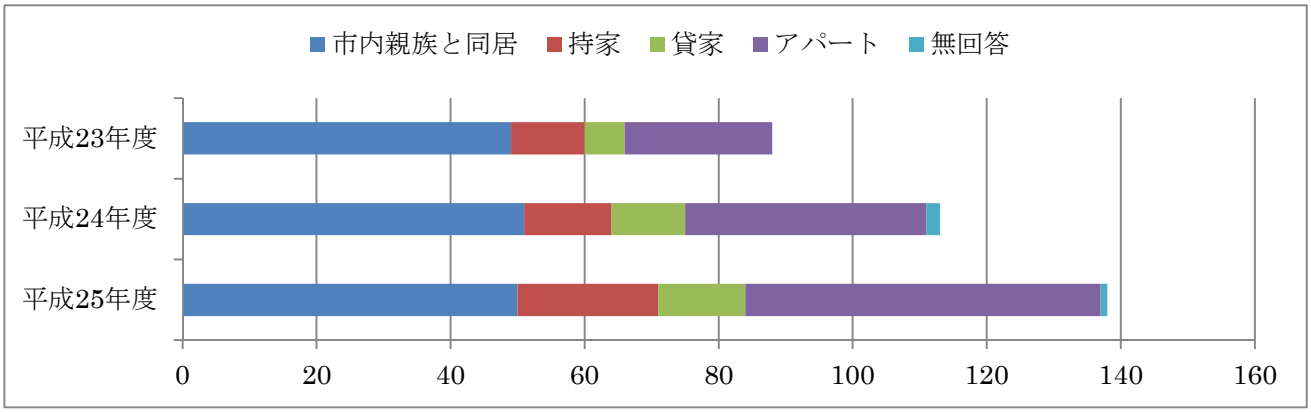
③出身別（N＝350）〔単位：世帯〕



④年代別（転勤者除く）（Ｎ＝254）〔単位：世帯〕



⑤全体／転入年度別（Ｎ＝339（転入年度不詳除く））〔単位：世帯〕

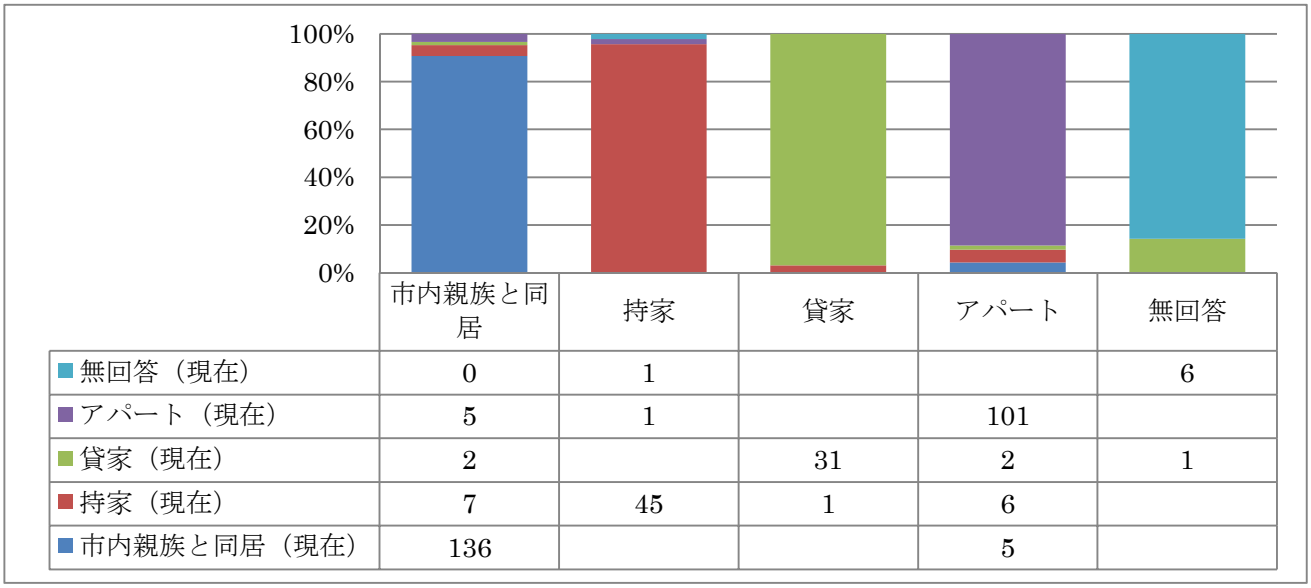


アパートへの入居が多いのは、転入要因別には転勤や就職であり、年代別には若い世代である。

市出身者でも約 13%はアパートに住んでおり、転職や就職により転入する若い世代であると考えられる。

【現在の状況】

⑥転入時の住居形態からの変化（縦軸：現在、横軸：転入時）〔単位：%、世帯〕



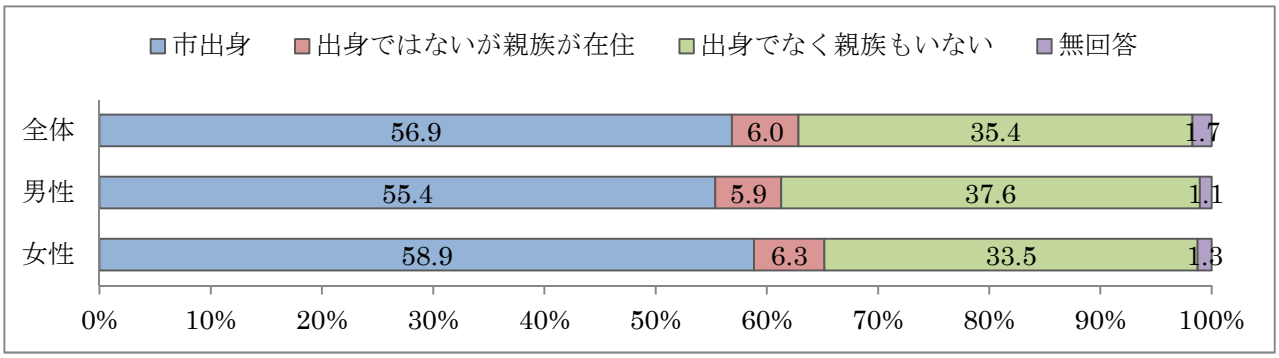
	市内親族と同居	持家	貸家	アパート	無回答
無回答（現在）	0	1			6
アパート（現在）	5	1		101	
貸家（現在）	2		31	2	1
持家（現在）	7	45	1	6	
市内親族と同居（現在）	136			5	

転入時と現在の住居形態の変化はあまり見られない。

7 出身について

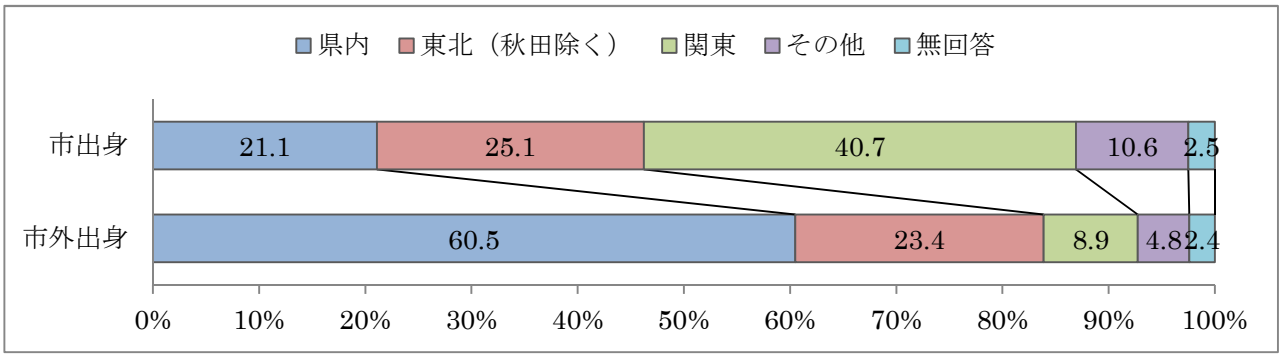
設問　あなたご本人または転入の際のご家族のどなたかは、鹿角市の出身ですか。

①全体／男女別（N＝350）〔単位：%〕



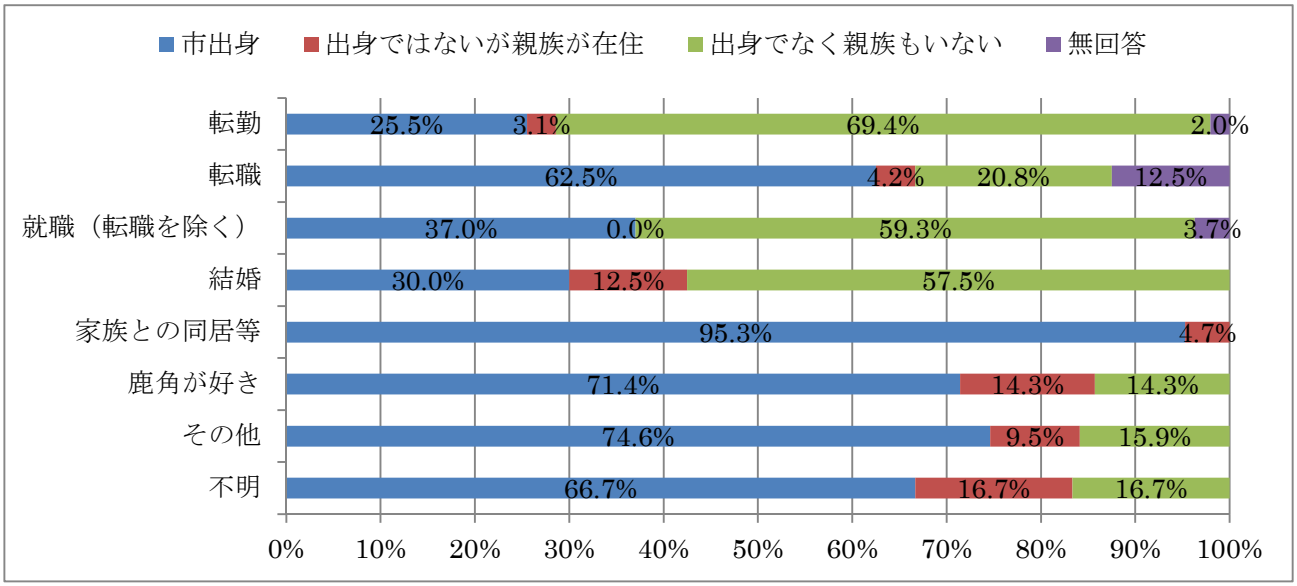
転入者に占める市出身者の割合は、男女ともかわらず約 60%弱である。

②市出身・市外出身／転入元別（N＝323）〔単位：%〕



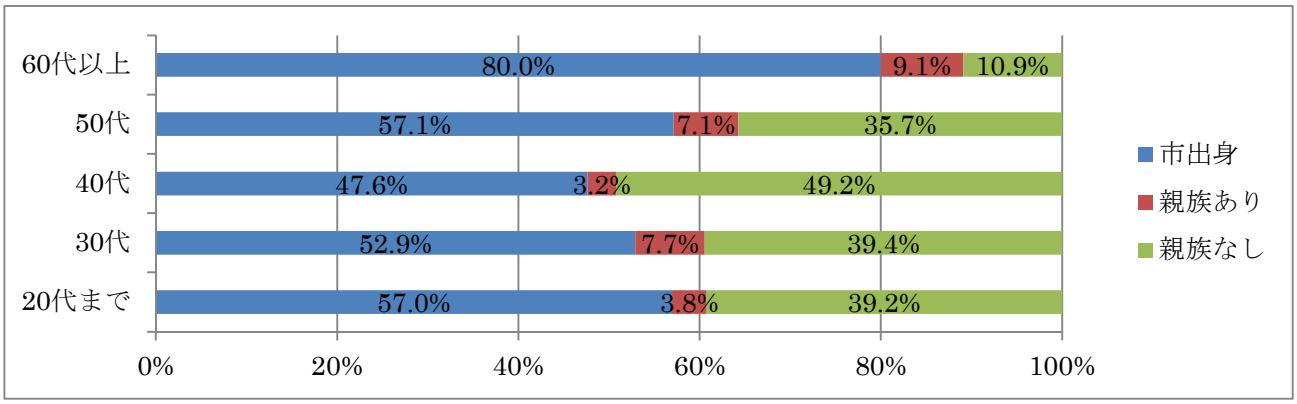
市出身者は、関東地方からの転入割合が大きい。市外出身者の転入は東北地方で約 85%である。

③全体／転入要因別（N＝350）〔単位：%〕



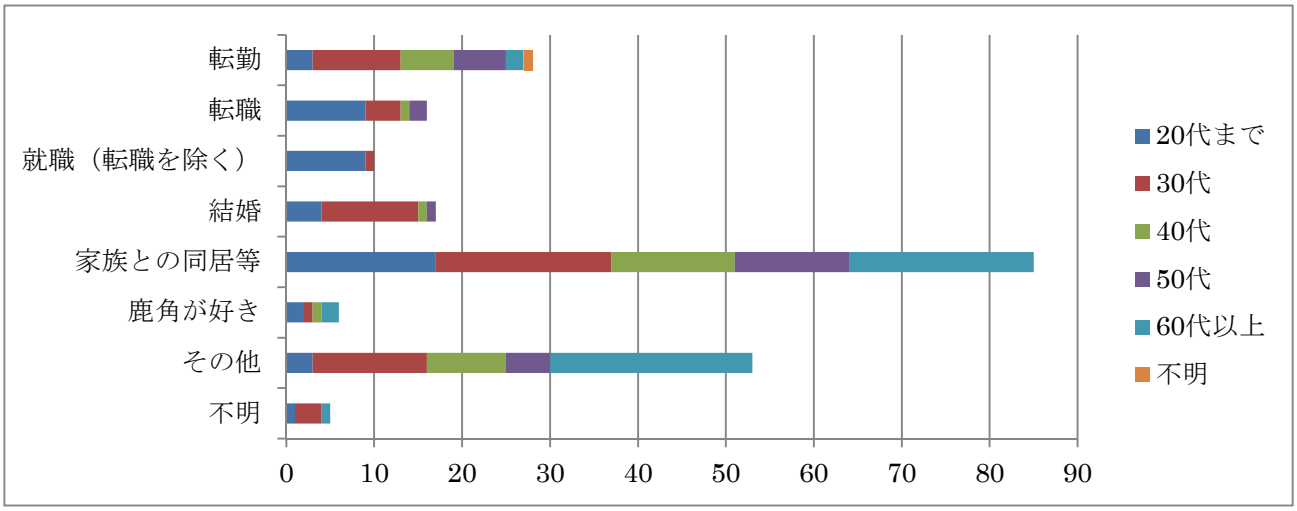
市出身者の割合が大きいのは、家族との同居、その他、転職などである。就職に関しては、市外出身の割合も大きいことがわかる。

④年代別（Ｎ＝344（出身不詳除く））〔単位：%〕



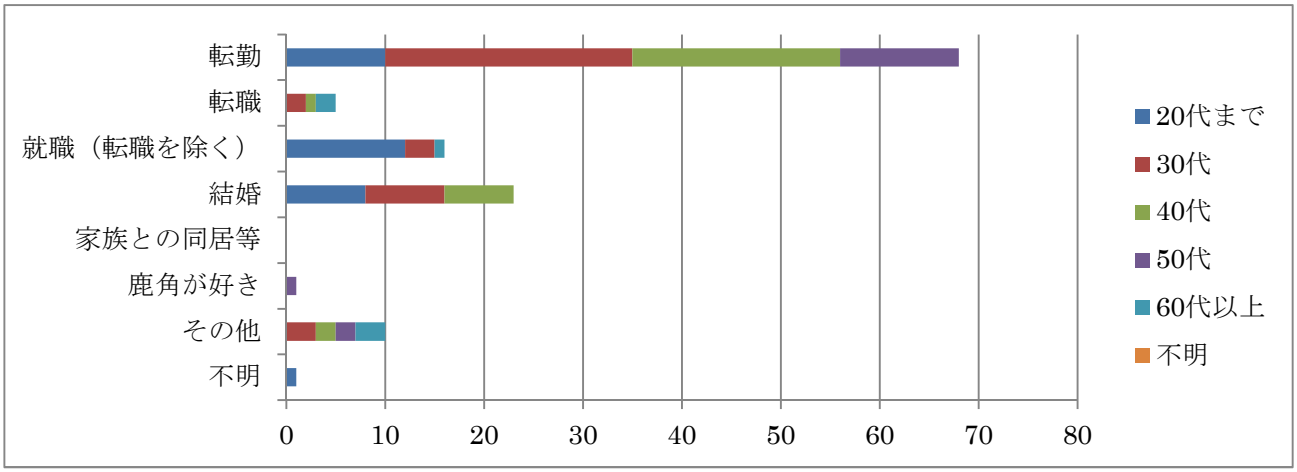
年代別には６０代以上で市出身者の割合が約８割を占めるほかは、60%未満である。
若い年代の市出身者の割合は、全体平均と同じ６割弱である。

⑤市出身＋親族あり／年代別（Ｎ＝220）〔単位：世帯〕



市出身者等については、転職、就職で若い世代の転入割合が高いが、回答者の実数比較では、家族と同居するために転入する世帯のほうが多いことがわかる。家族との同居等、その他の転入理由で 50 代以上の割合が高い。

⑥親族なし（市外出身）／年代別（Ｎ＝124）〔単位：世帯〕

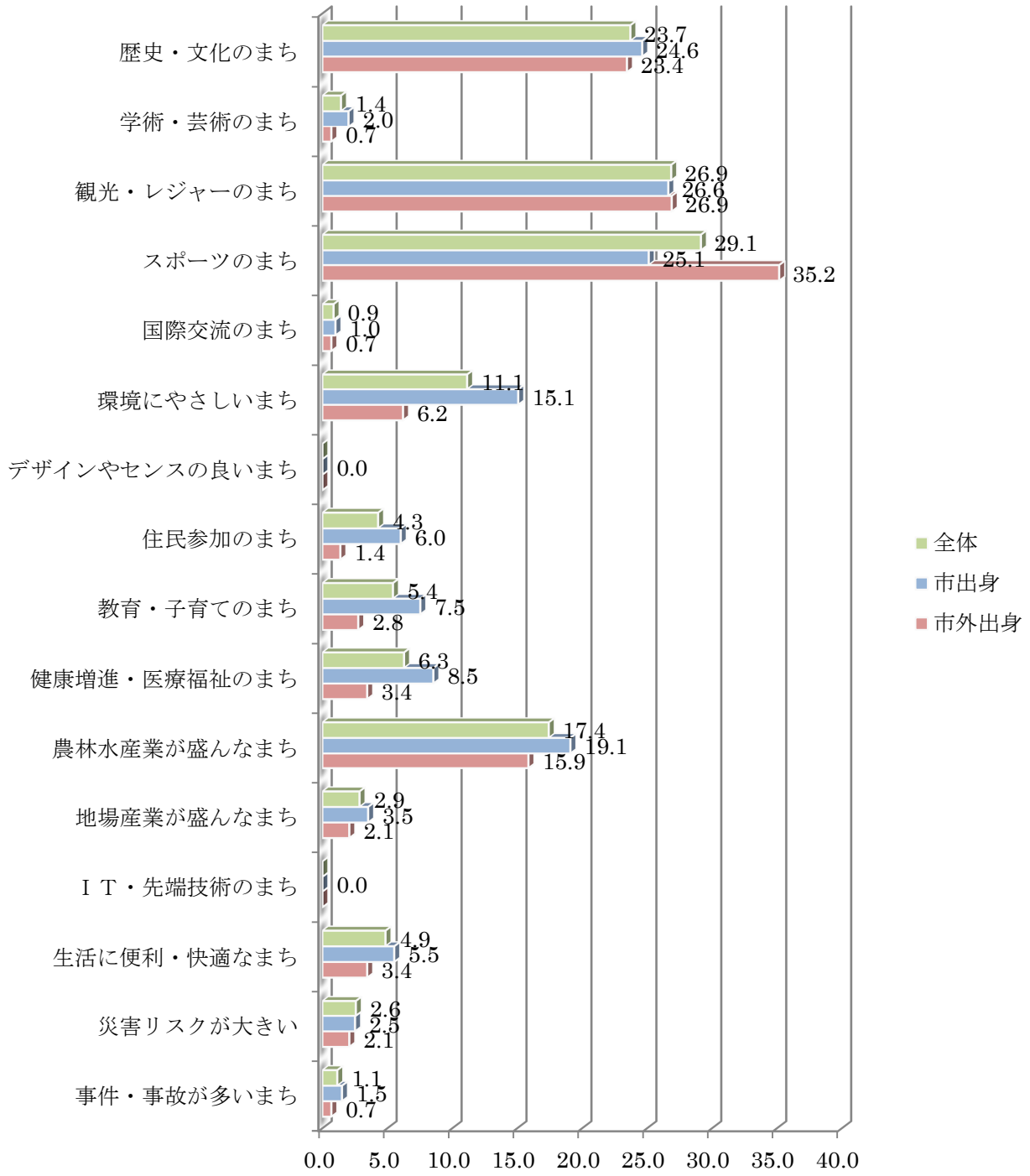


市外出身者の転入は、転勤、結婚、就職の順に多く、若い世代の転入が多い。

8 市のイメージについて

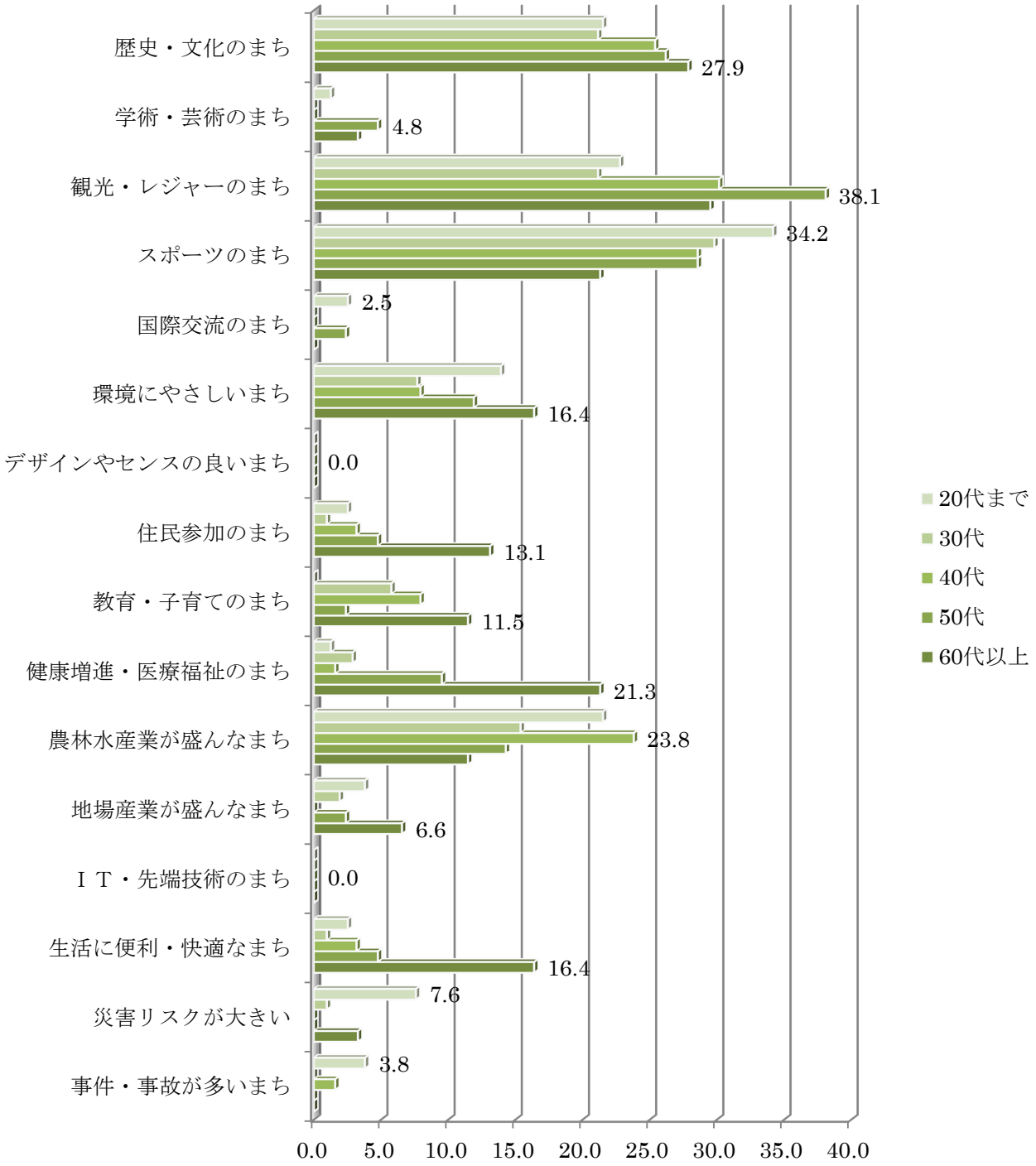
設問　転入前に、鹿角市についてどんなイメージをお持ちでしたか。（複数回答可）

①全体／出身別（市出身／市外出身（親族あり＋親族なし））（Ｎ＝350）〔単位：%〕



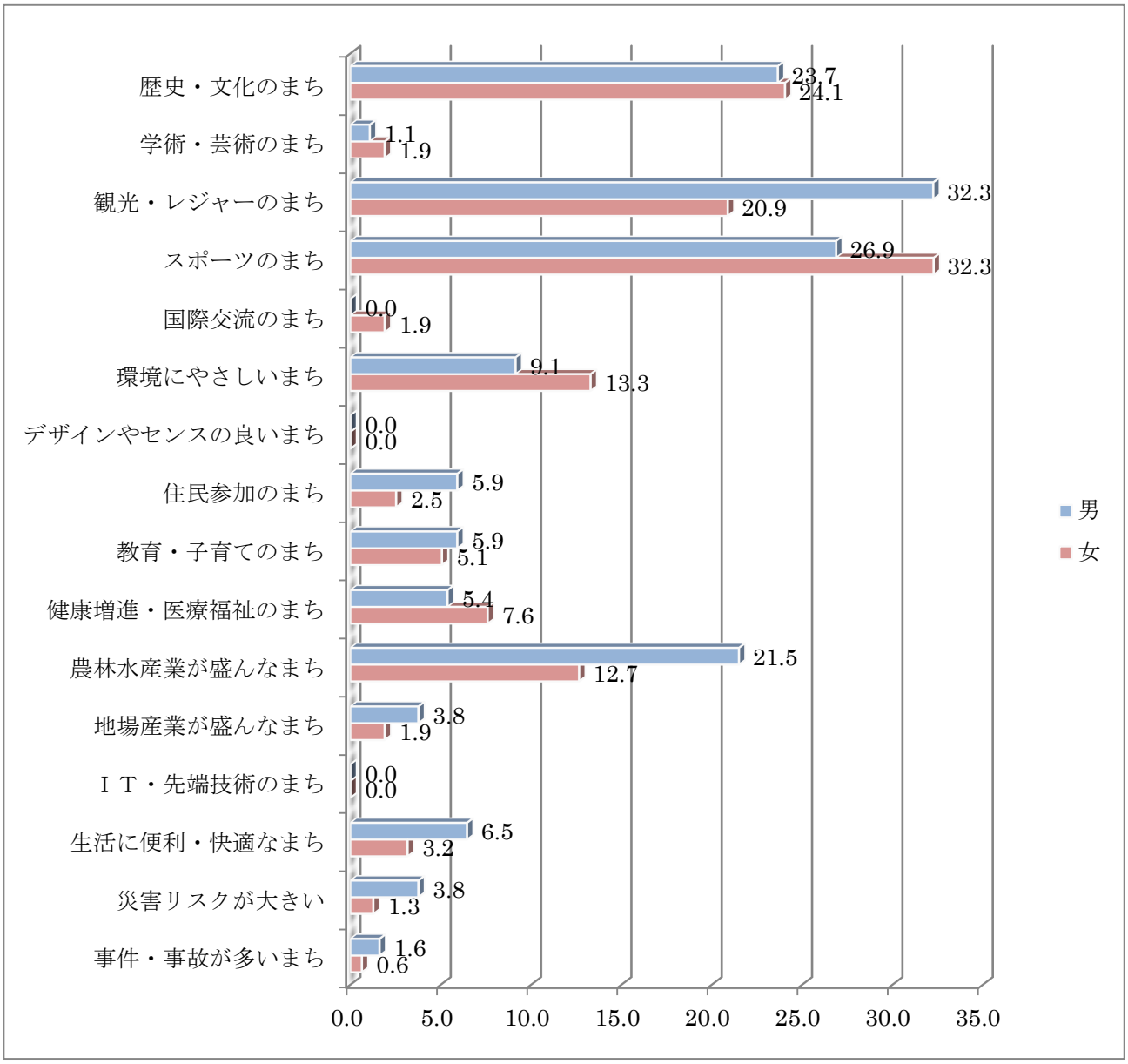
転入前の鹿角市に対するイメージは、多い順に「スポーツのまち」、「観光レジャーのまち」「歴史・文化のまち」となっている。「スポーツのまち」のイメージは市出身者よりも市外出身者に多く、逆に「農林水産業が盛んなまち」「教育・子育てのまち」「健康増進・医療福祉のまち」は市外出身者のイメージが低い。

②年代別（Ｎ＝349（年齢不詳除く））〔単位：%〕



20 代・30 代に顕著なイメージは「スポーツのまち」であり、40 代と 50 代では「観光・レジャーのまち」が多い。60 代では「歴史・文化のまち」の割合が高いほか、環境、住民参加をはじめ、他の年代より肯定的なイメージの回答割合が高い。

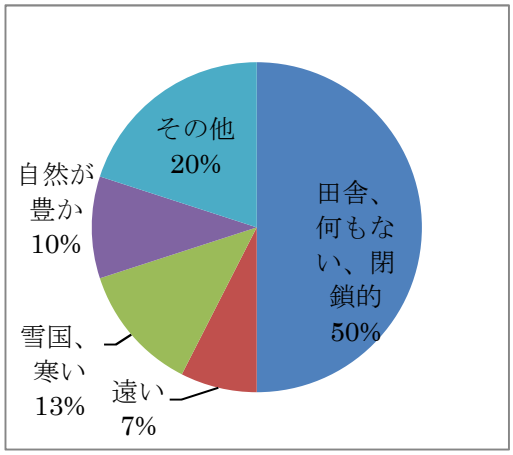
③男女別（Ｎ＝344（性別不詳除く））〔単位：%〕



「観光・レジャーのまち」「農林水産業が盛んなまち」が男性に多く、「スポーツの町」「環境にやさしいまち」が女性に多い。

④その他のイメージ

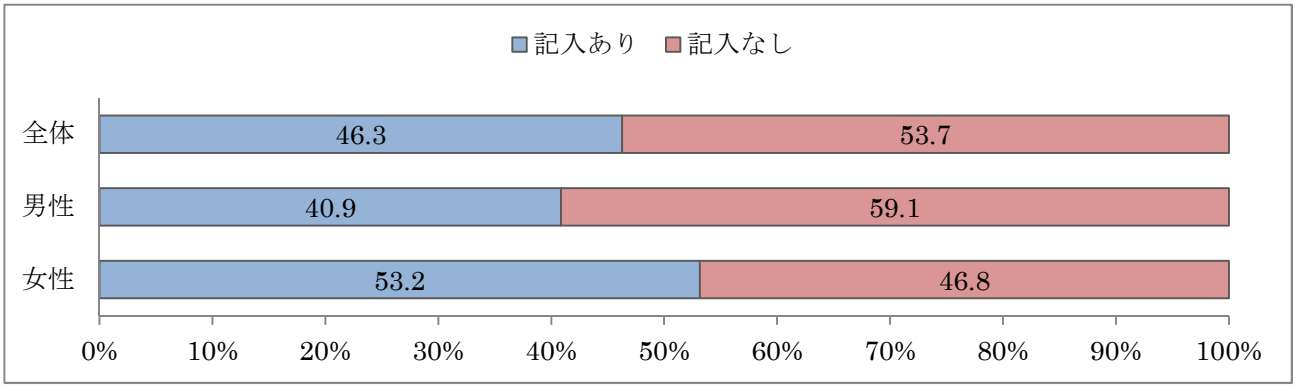
「その他」を選択して具体的イメージを記述した方は全体の 12.9%で、それほど多くはないが、その内訳をみると、「田舎、何もない、閉鎖的」とするマイナスイメージが約半分である。その他は「駅伝のまち」「食のまち」「県境のまち」などが１件ずつあった。



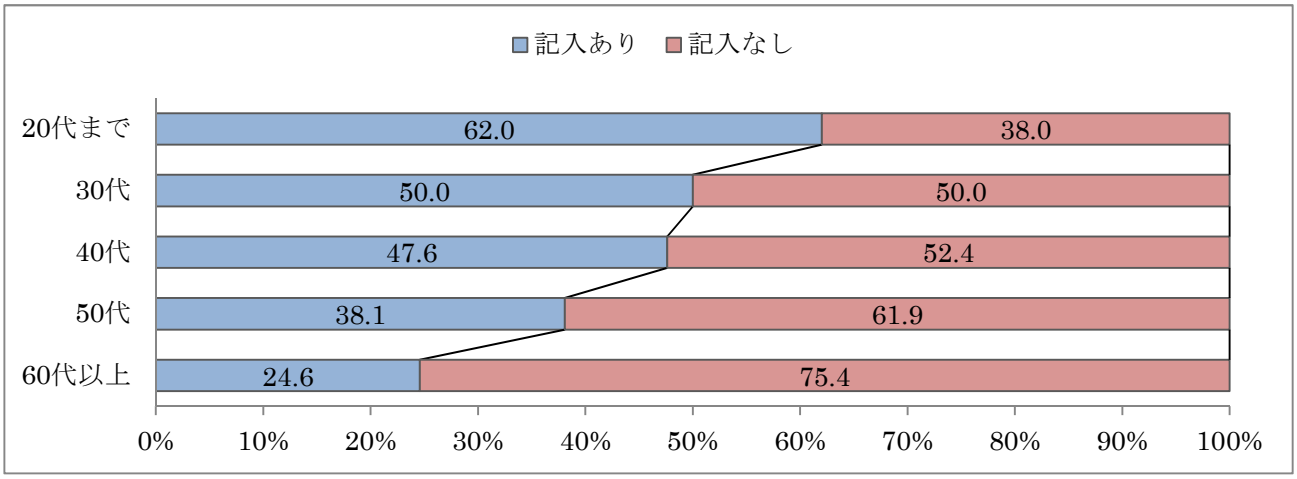
9　転入の際の不安について

設問　転入に際し不安はありましたか。あった場合は、どのような不安ですか。（自由記述）

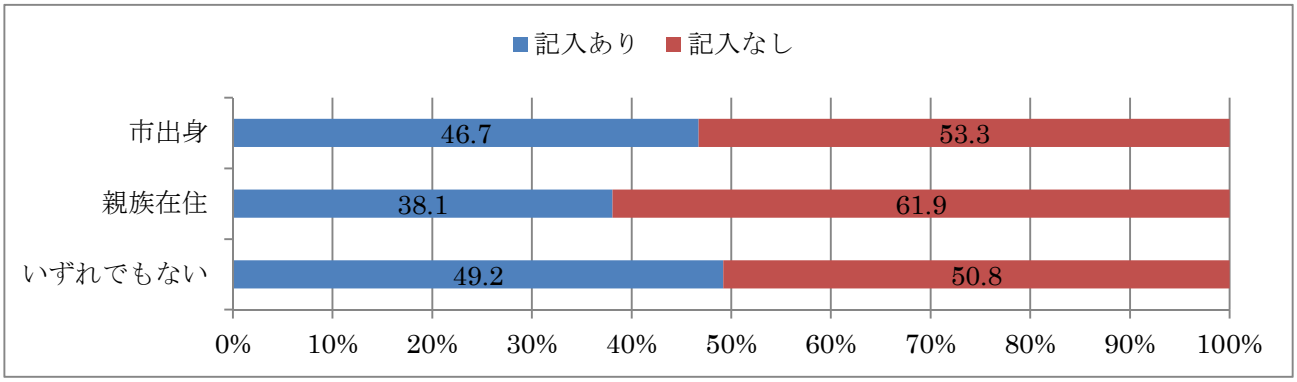
①全体／男女別（Ｎ＝350）〔単位：%〕



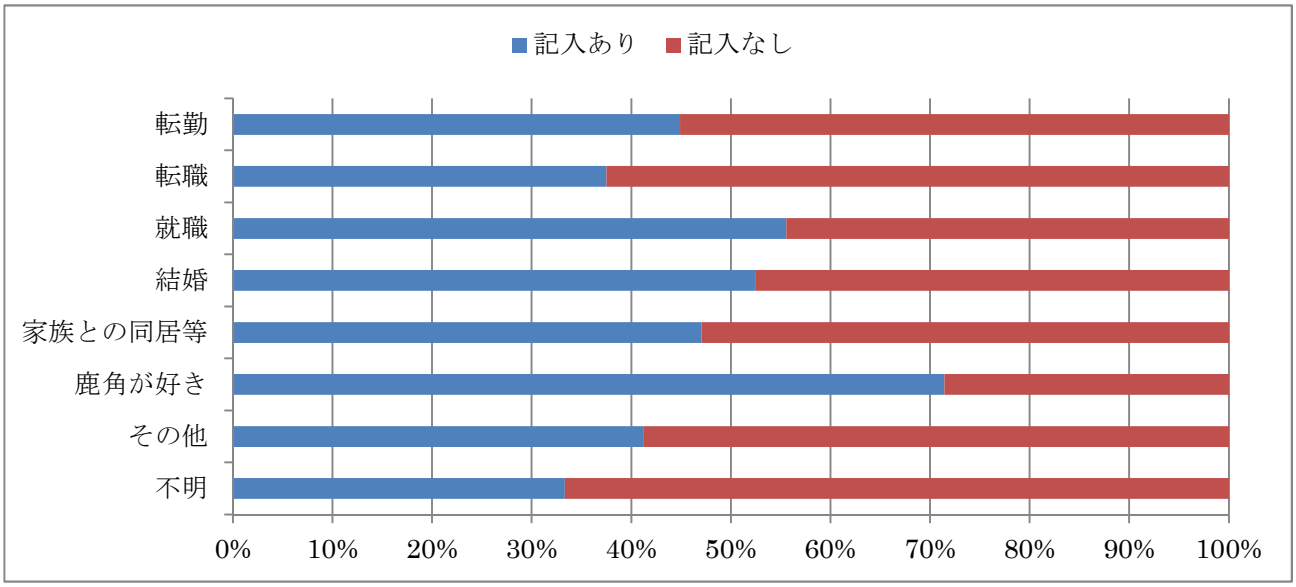
②年代別（Ｎ＝349（年齢不詳除く））〔単位：%〕



③出身別（Ｎ＝344（出身不詳除く））〔単位：%〕



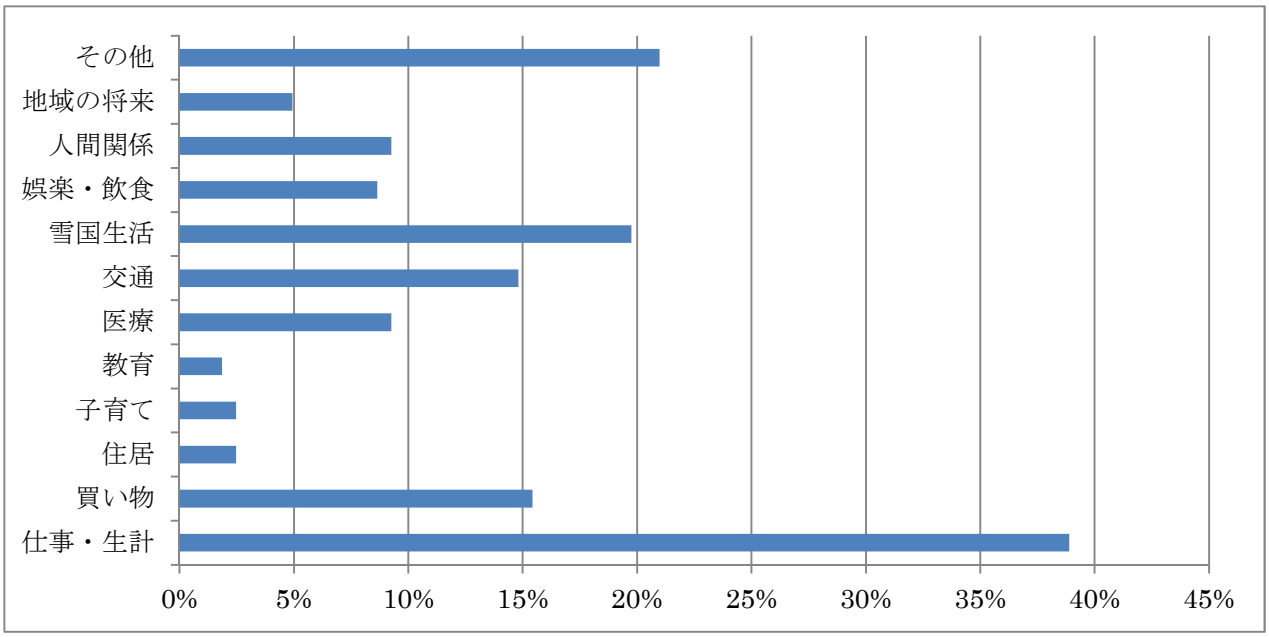
④転入要因別（Ｎ＝350）〔単位：%〕



不安があるとしてその不安の内容を回答した方は、全体で約 46%で、男性よりも女性が多く、また年代別には若い人ほど不安を感じていたことがうかがわれる。市出身であるかどうかによる差は見られない。

転入要因別には、就職や結婚、鹿角が好きだからという転入理由の世帯が不安を感じたとしている。

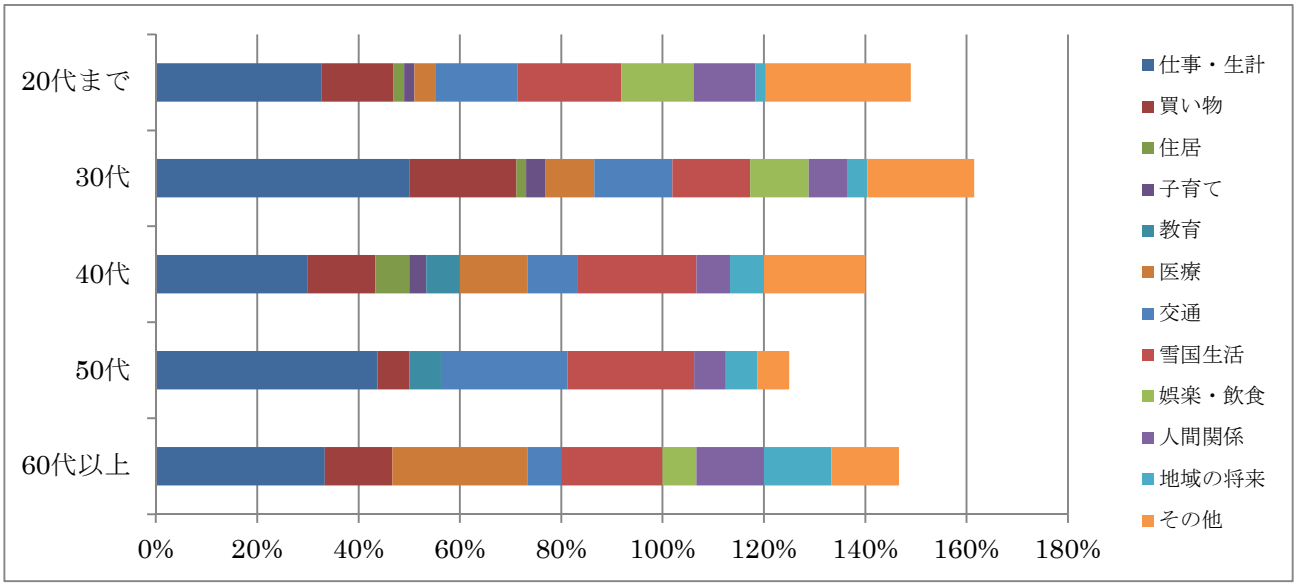
⑤不安の内容（Ｎ＝162）〔単位：%〕



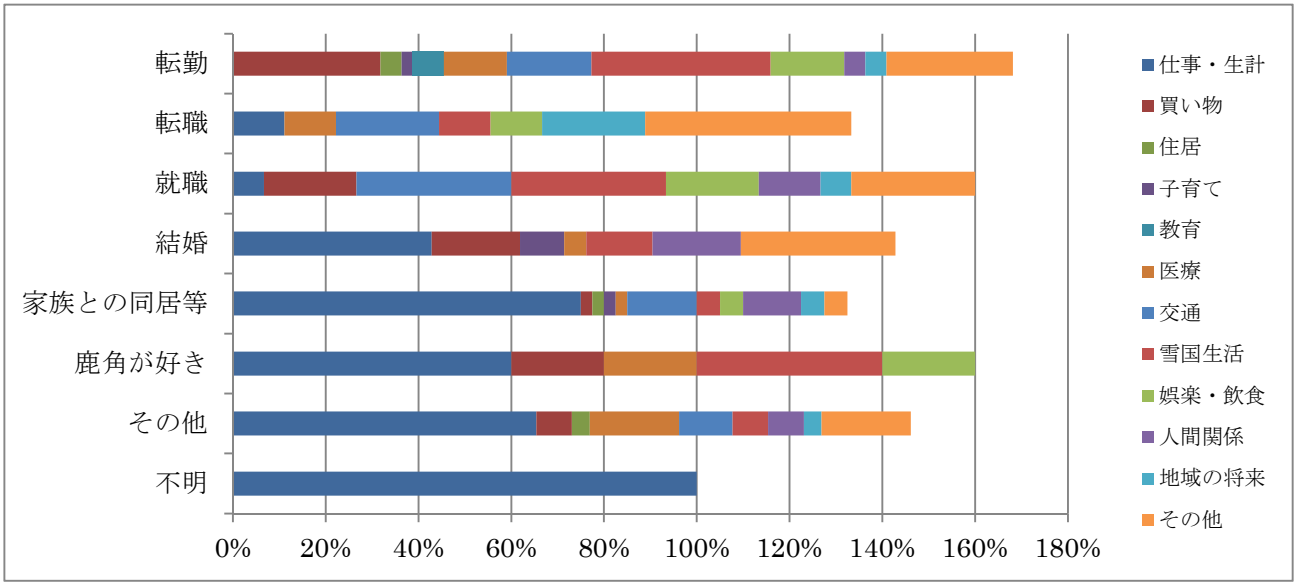
不安の内容については、約 40%の方が仕事・生計（就職先が見つかるか、賃金が安いのではないか等）を挙げ、次いで多いのが雪国生活（冬の寒さや除雪）、交通（公共交通、冬場の運転など）となっている。

また、これを年代別にみると、仕事・生計のほか、５０代で交通に対する不安、６０代で医療に対する不安が大きく、若い世代では、総体的に不安事項が多い。転入要因別には、転勤、転職、就職以外で、仕事・生計に対する不安が大きいほか、転勤、就職、鹿角が好きの理由で、交通や雪国生活、娯楽・飲食環境への不安が多い。

【年代別】


20代まで
30代
40代
50代
60代以上
0%
20%
40%
60%
80%
100%
120%
140%
160%
180%
仕事・生計
買い物
住居
子育て
教育
医療
交通
雪国生活
娯楽・飲食
人間関係
地域の将来
その他

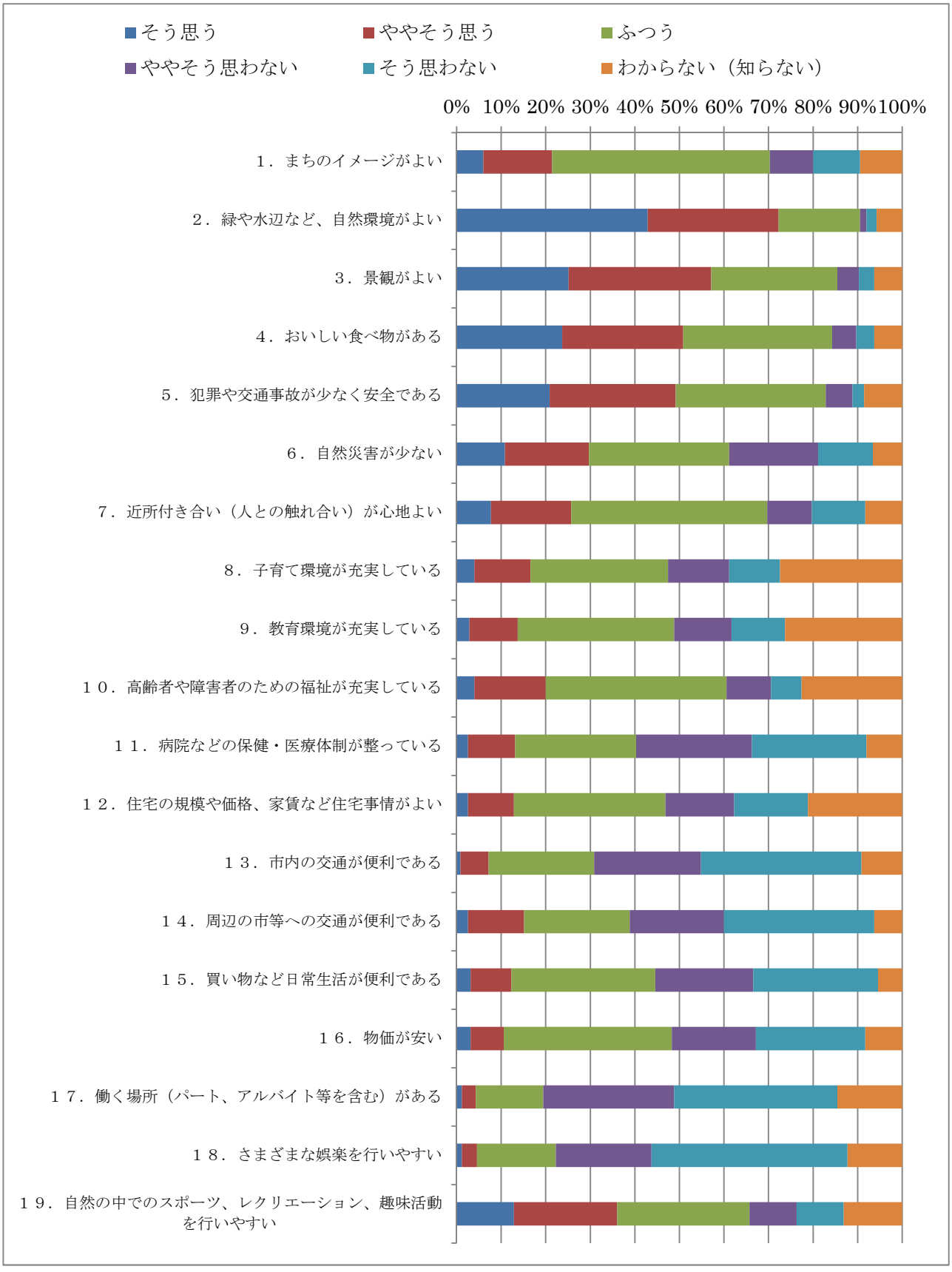
【転入要因別】


転勤
転職
就職
結婚
家族との同居等
鹿角が好き
その他
不明
0%
20%
40%
60%
80%
100%
120%
140%
160%
180%
仕事・生計
買い物
住居
子育て
教育
医療
交通
雪国生活
娯楽・飲食
人間関係
地域の将来
その他

10 鹿角市に対する評価について

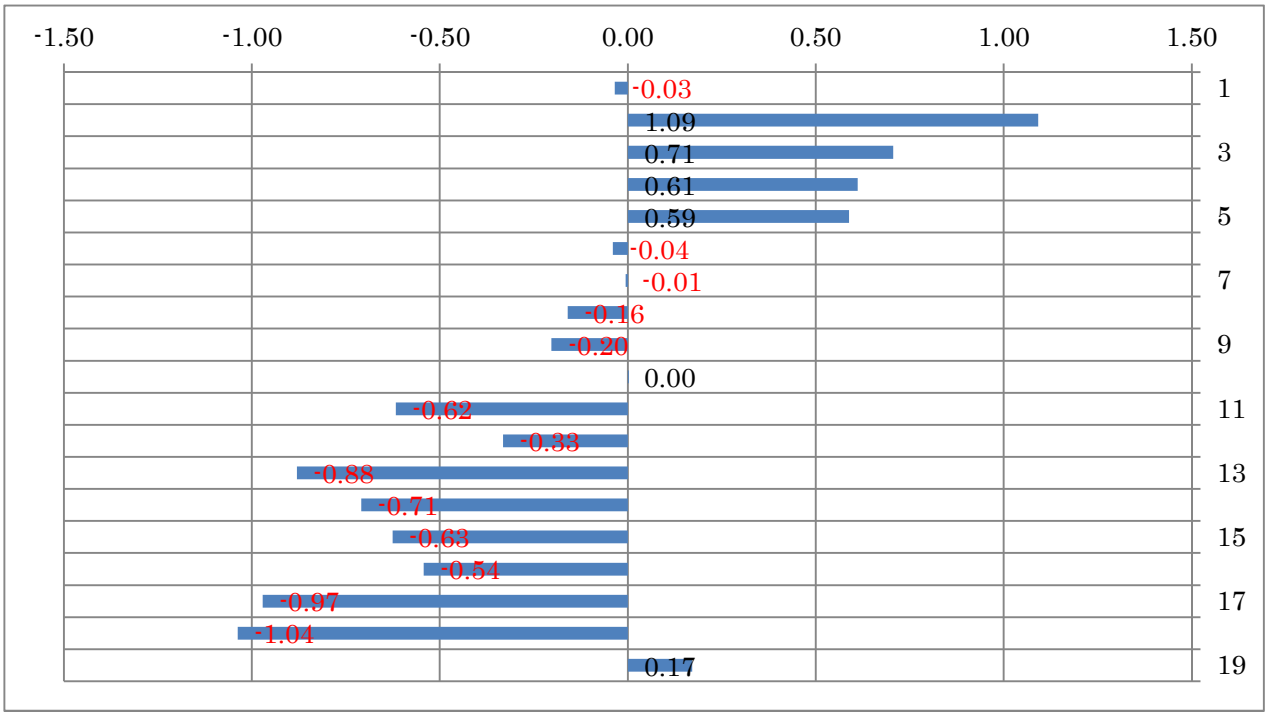
問 鹿角市にお住いになって、鹿角市はどんなまちだと感じていますか。

①全体（N＝350）〔単位：%〕



②全体（点数化）

一覧性を高めるため、選択肢にそれぞれ、そう思う（＋2)、ややそう思う（＋1)、ふつう（0)、ややそう思わない（－1)、そう思わない（－2)、わからない（知らない）（0）の点数を付与し、その合計値を回答者数で割った値で比較してみると、次のようになる。



＜凡例＞

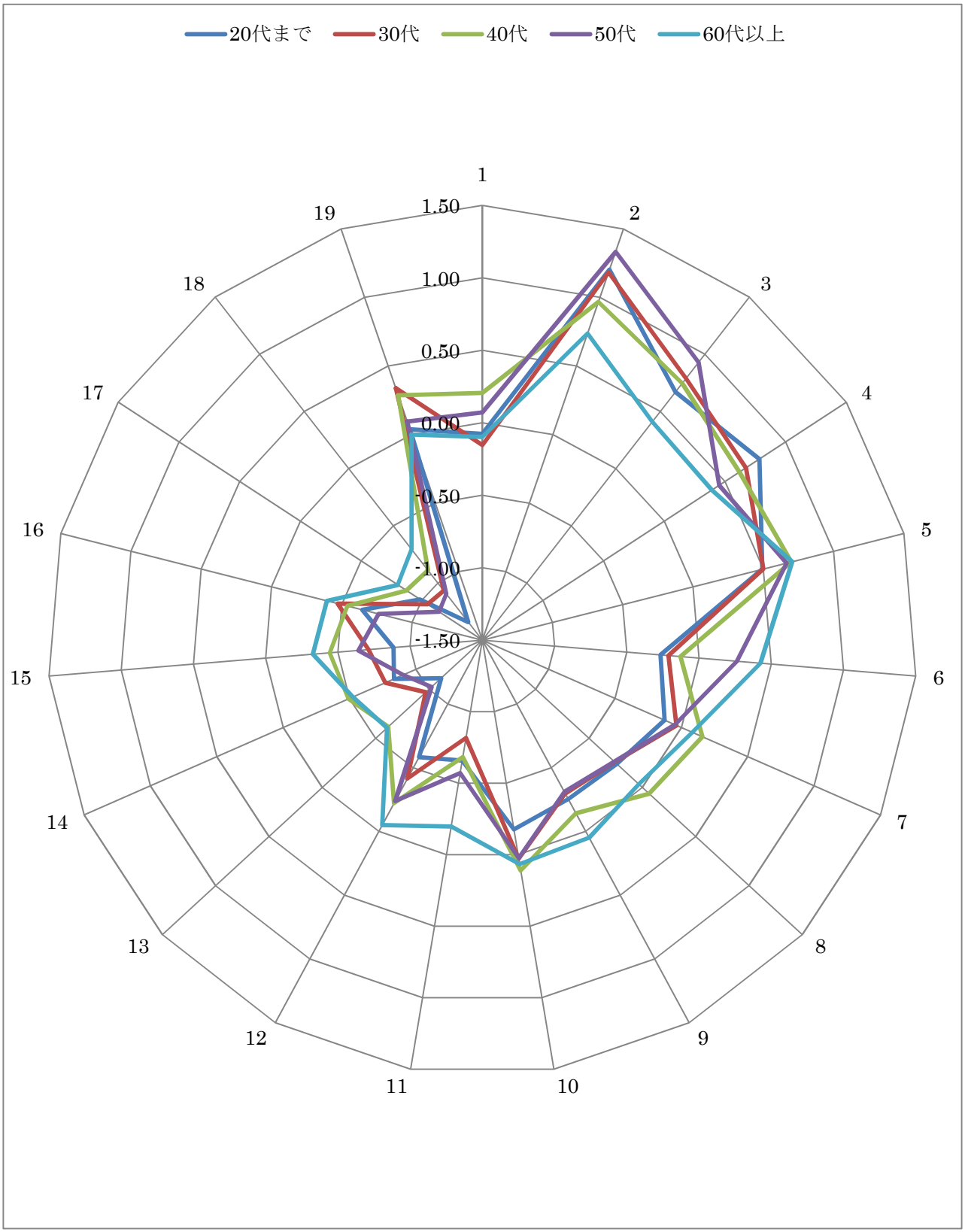
1. まちのイメージがよい
2. 緑や水辺など、自然環境がよい
3. 景観がよい
4. おいしい食べ物がある
5. 犯罪や交通事故が少なく安全である
6. 自然災害が少ない
7. 近所付き合い（人との触れ合い）が心地よい
8. 子育て環境が充実している
9. 教育環境が充実している
10. 高齢者や障害者のための福祉が充実している
11. 病院などの保健・医療体制が整っている
12. 住宅の規模や価格、家賃など住宅事情がよい
13. 市内の交通が便利である
14. 周辺の市等への交通が便利である
15. 買い物など日常生活が便利である
16. 物価が安い
17. 働く場所（パート、アルバイト等を含む）がある
18. さまざまな娯楽を行いやすい
19. 自然の中でのスポーツ、レクリエーション、趣味活動を行いやすい

転入者が持つ本市へのイメージ（1）は、残念ながらマイナスとなっている。

個別項目では、自然環境への評価が高く、景観、食、安全性がプラス評価となった一方で、娯楽の多様性、雇用機会、生活交通、買い物環境、保健・医療体制が低い評価となった。周辺の市等への交通の利便性（14）の評価が低いのは、自家用車を持たない人には、高速道路の恩恵が少ないからだと思われる。

いずれも市政上の課題となっている事項が低い評価となった。

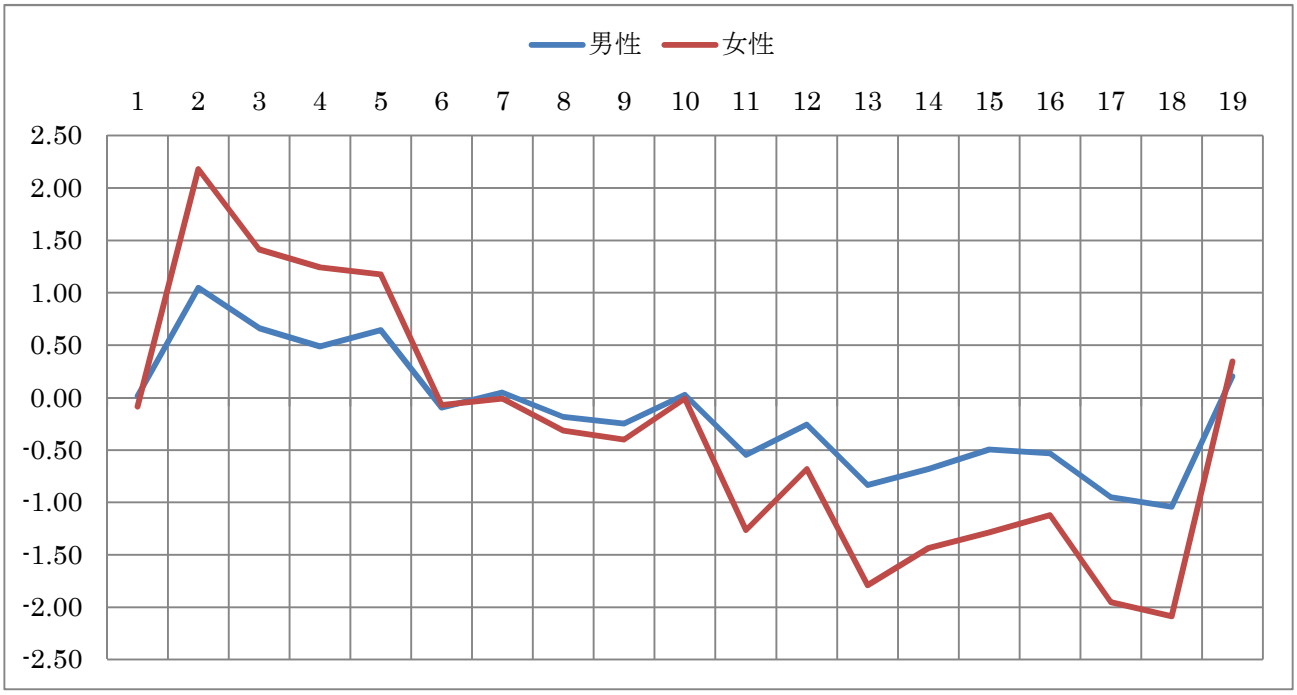
③年代別



年代別にみると、まちのイメージについては 40 代と 50 代がプラスの評価となっているほか、自然災害、近所付き合い、子育て環境、教育環境、高齢者福祉で、評価が分かれている。

医療環境については 60 代以上で不満が比較的少ない。交通の利便性や買い物環境、娯楽環境など、都市的ニーズに関し、20 代の評価が総じて低い状況である。

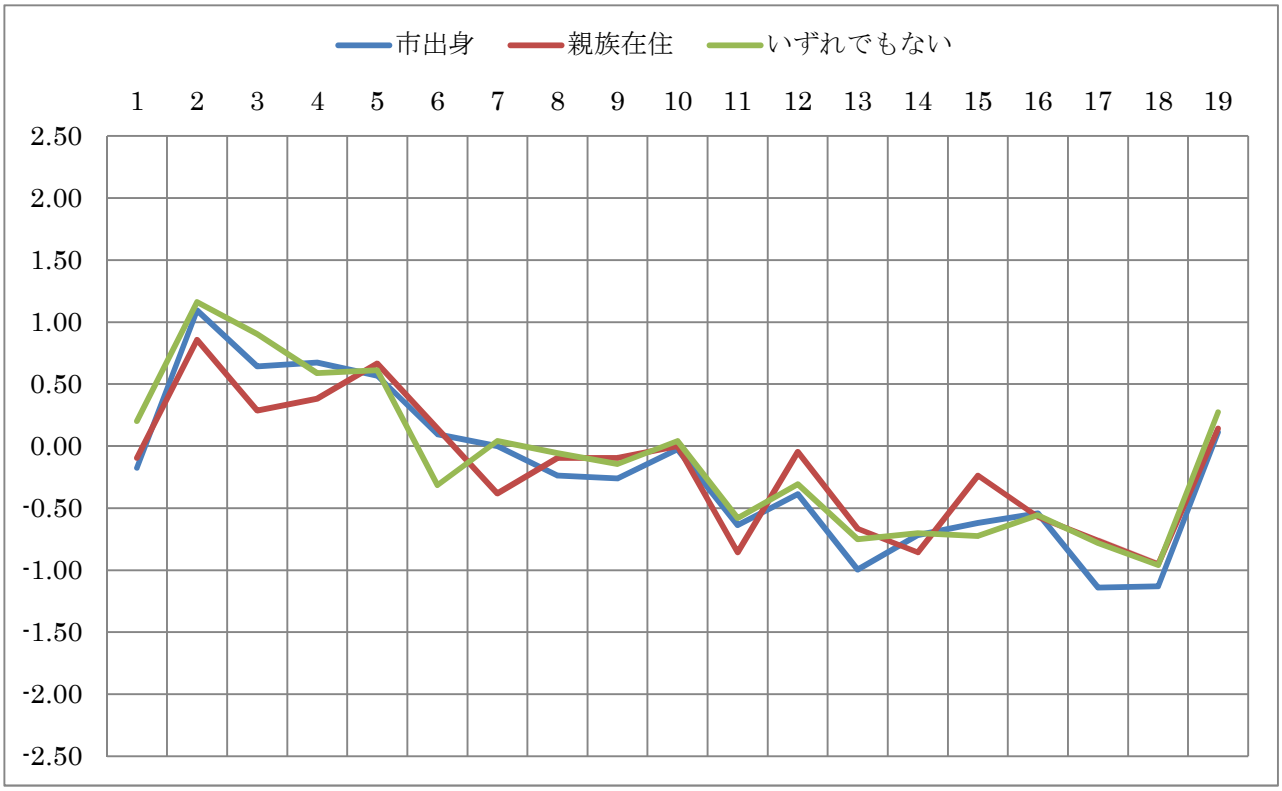
④男女別



男女別では、まちのイメージに対して男性がわずかながらプラス、女性はマイナスである。

女性は、自然環境面で高評価、生計・生活面で低評価となっており、男性に比べ、評価の幅が大きく出ている。

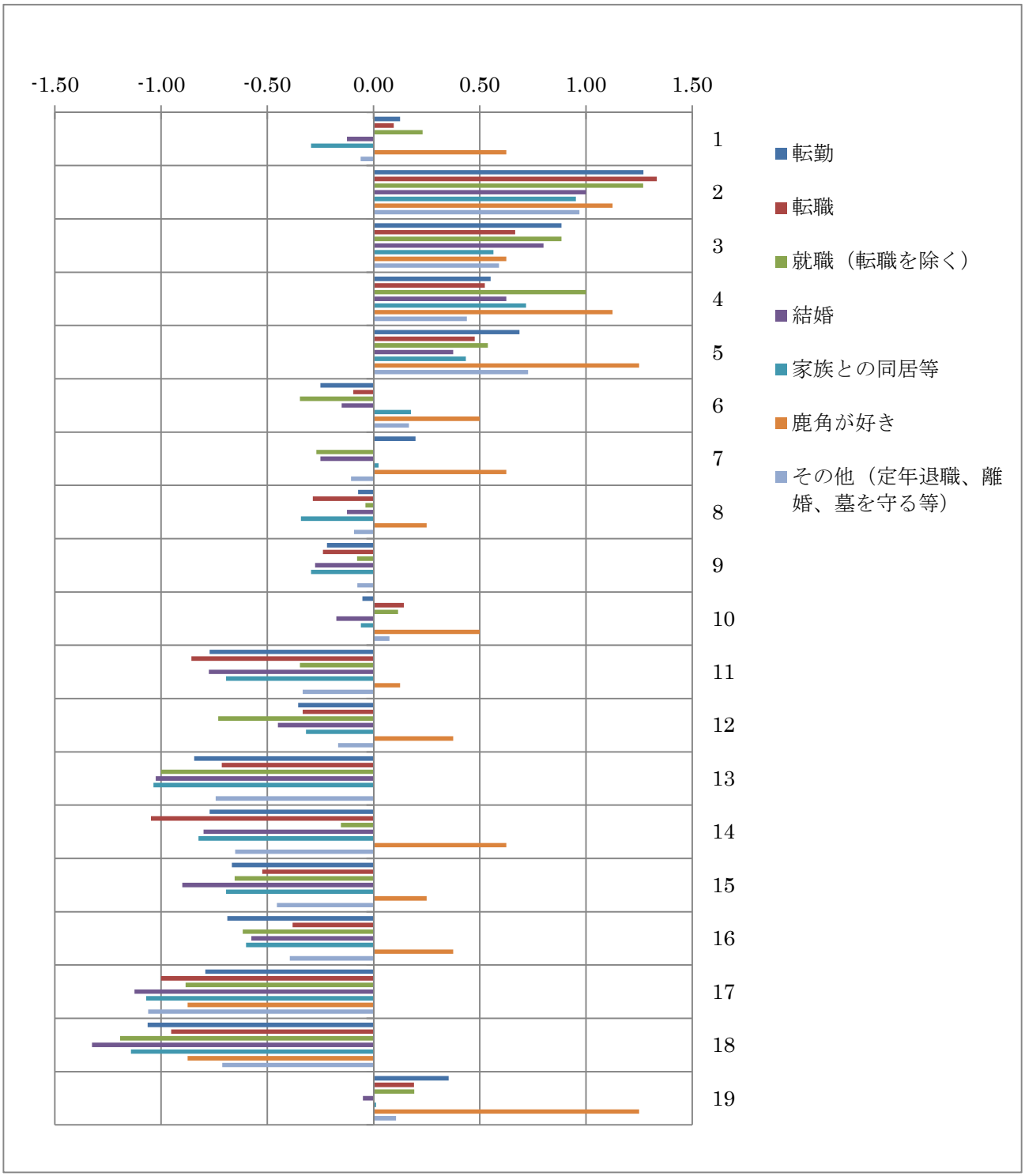
⑤出身別



市出身者は、買い物環境等を除き、市外出身者よりも低い評価をしており、子育て環境や教育環境、雇用機会、娯楽環境で顕著である。

市外出身者は、近年の度重なる水害のせいか、災害が少ないまちとは評価していない。

⑥転入要因別

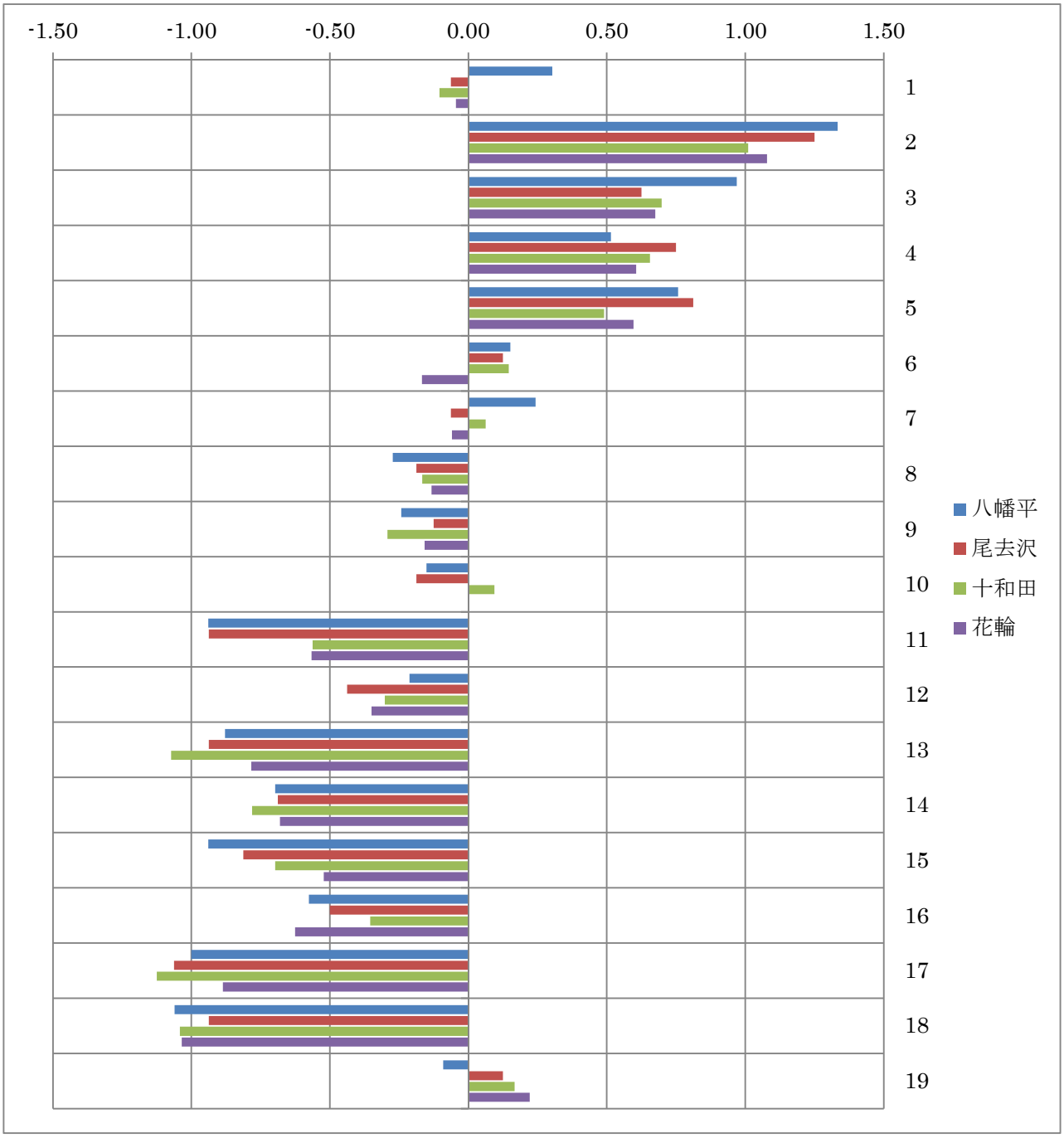


転入要因別にみると、結婚、家族との同居等でまちのイメージがよくない。

結婚で転入した方の評価が全般的に低めである。

鹿角が好きで転入した方は、当然ながら高評価になっているが、それでも、雇用機会、娯楽環境に関してはマイナスとなっている。

⑦居住地区別



まちのイメージに関し、八幡平地区のみプラス評価となっている。

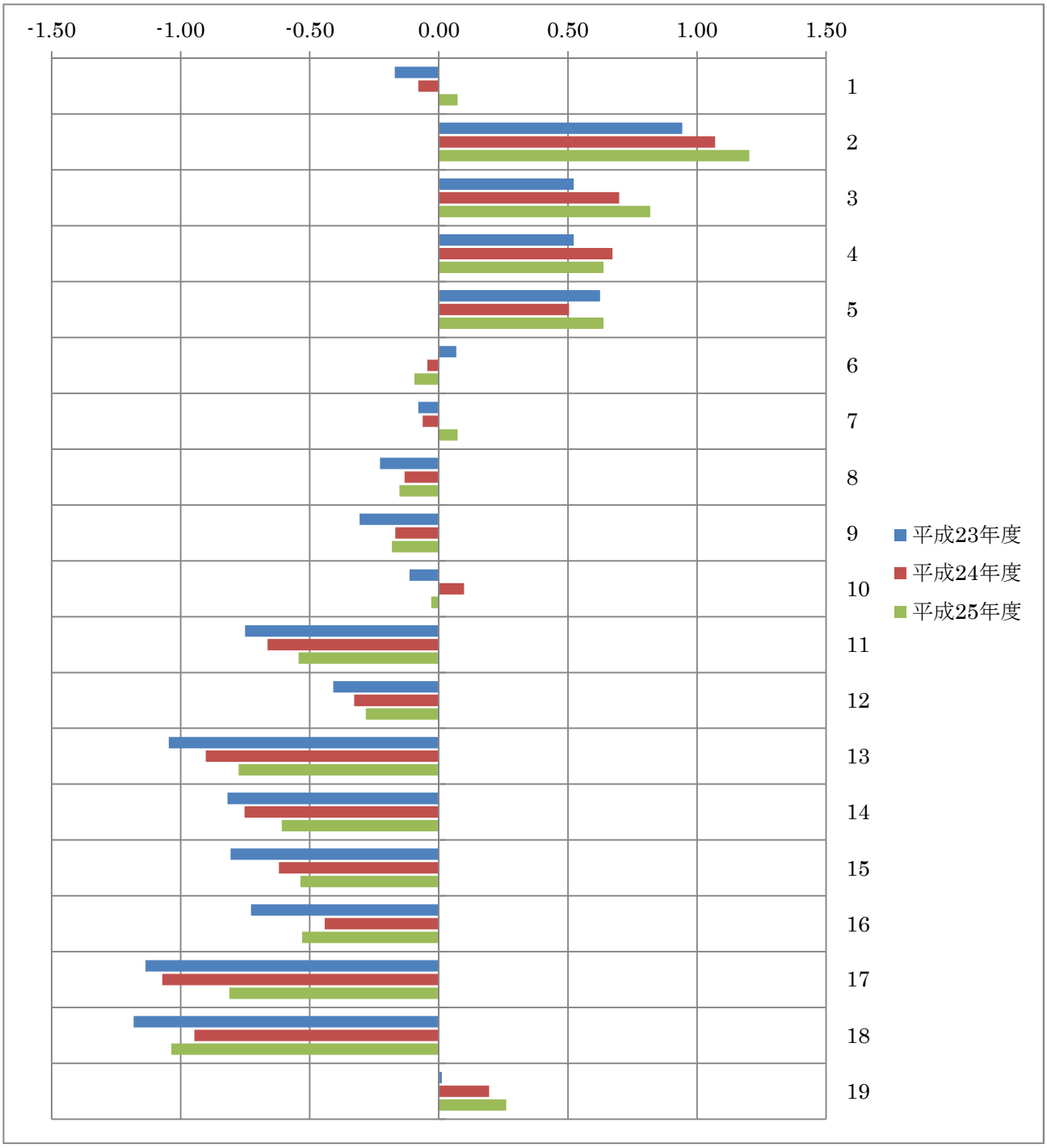
このほか、八幡平地区については、自然や景観、近所付き合いに対する評価が高い一方、行政サービス、都市的環境分野での評価が低い。

尾去沢地区は、食べ物に対する評価が高く、福祉、医療体制の評価が低い。

十和田地区は、福祉に対する評価が唯一プラスであるほか、交通の利便性の評価が高い。

花輪地区は、自然災害がマイナスであるほか、物価に対する評価が低い。その他の行政サービス分野などでは、４地区中低い傾向にある。

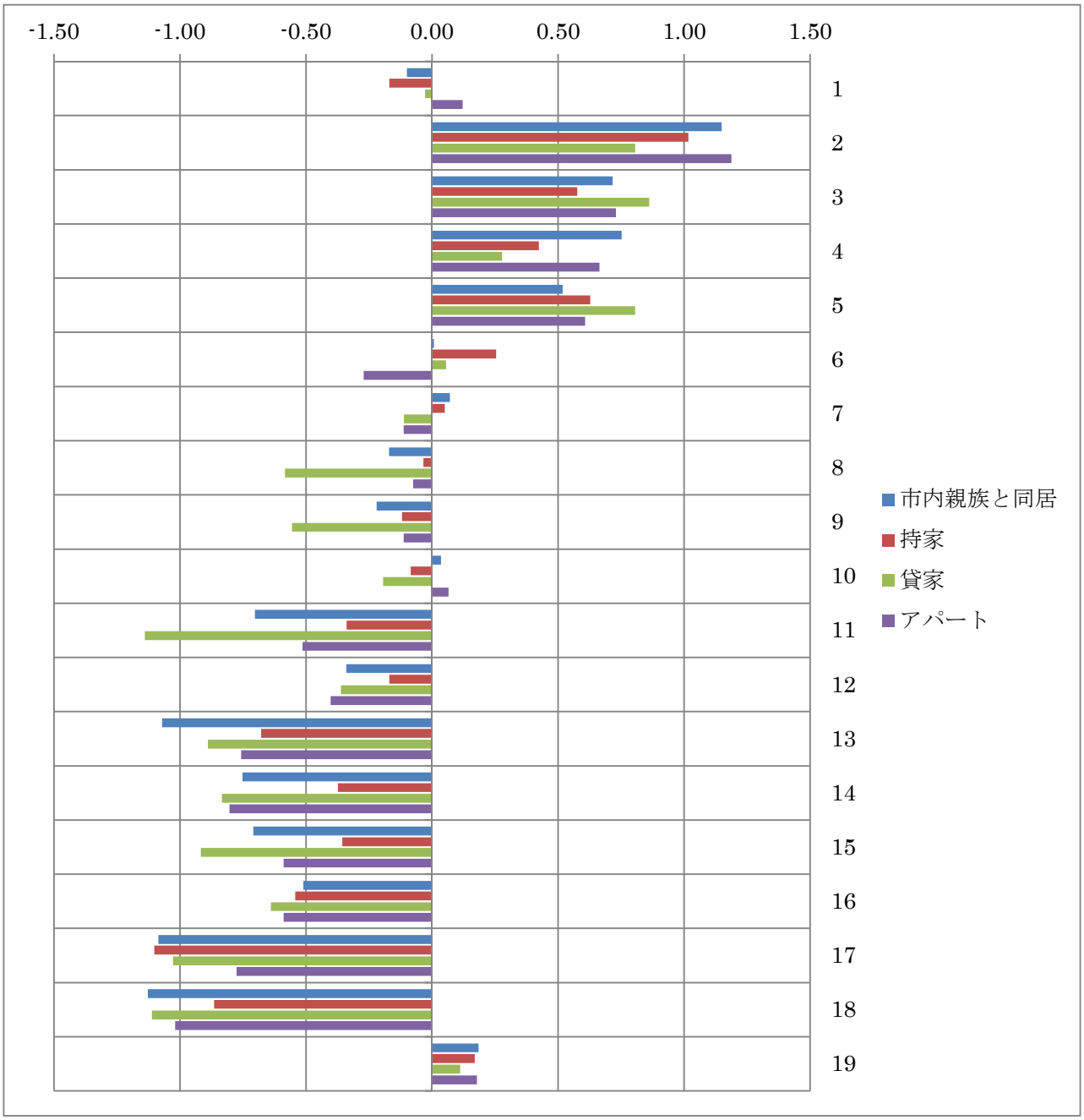
⑧転入年度別



転入年度別にみると、総じて、転入後間もないほうが、評価が高めになっている。

生活年数が長い方から、より厳しい評価を受けているということは、大きな課題と受け止める必要がある。

⑨居住形態別（現在の住居）



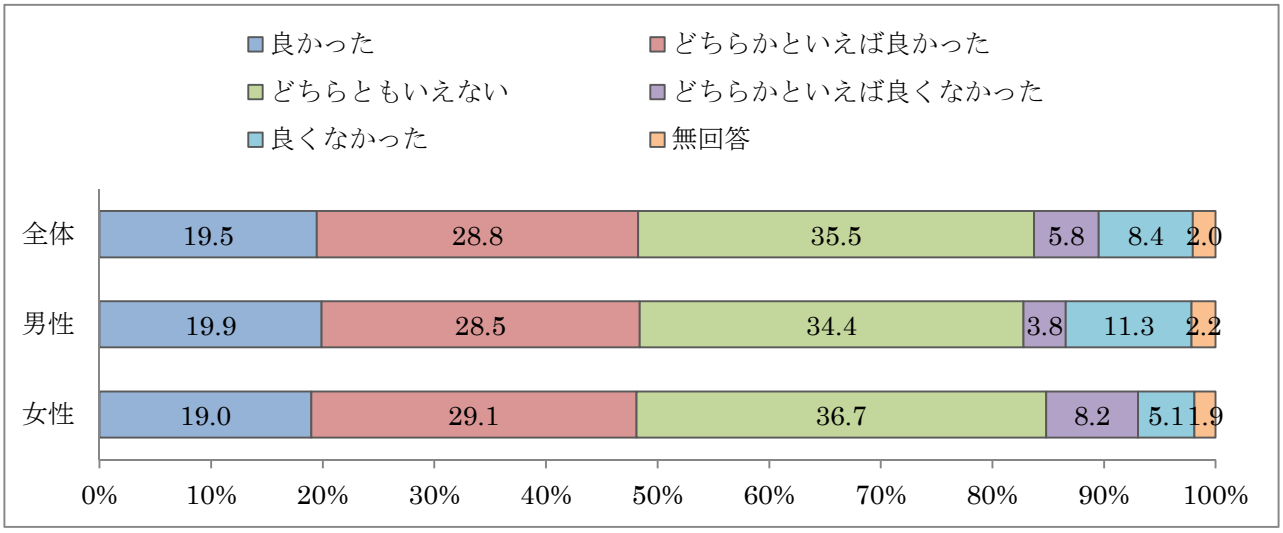
全体的に貸家の方の評価が低めであるのに対し、持ち家の方の評価がマイナスが小さい。

生活環境や雇用機会の項目で、アパートの方の評価が相対的に低くないのは、転勤の方が多いためと思われる。

11　転入に対する評価について

問　あなたは、鹿角市にお住いになって良かったとお感じになっていますか。

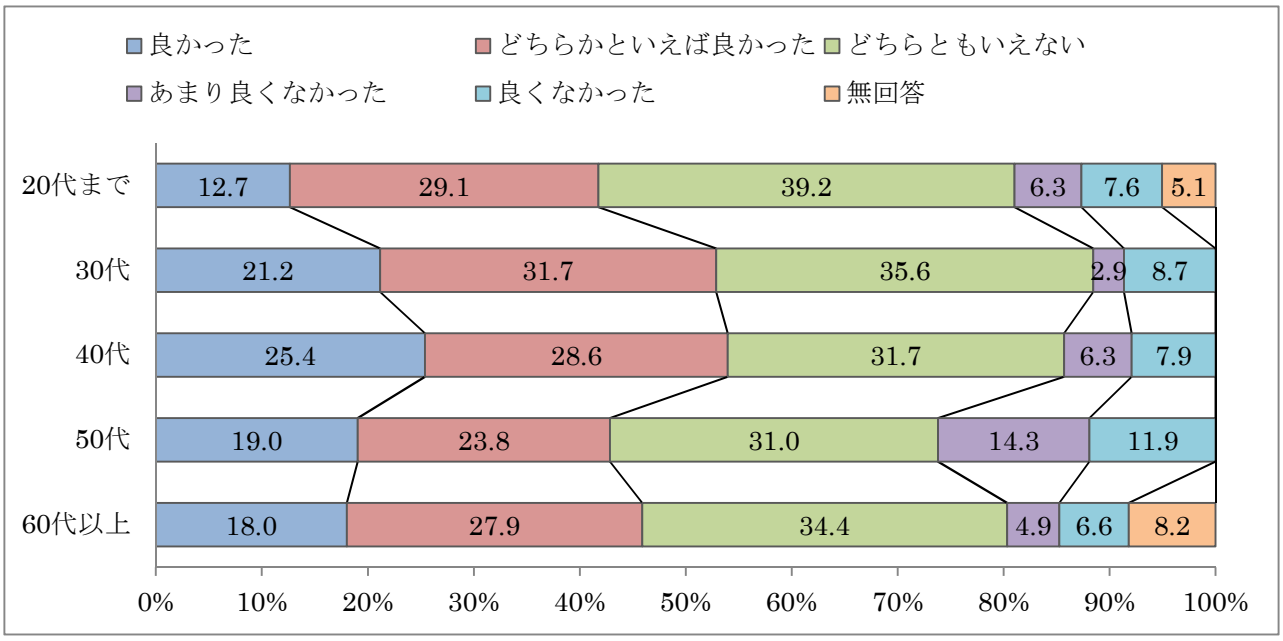
①全体／男女別（Ｎ＝350）〔単位：%〕



鹿角市に住んで良かったかという問いに対して、「良かった」「どちらかといえば良かった」は約49%で、「どちらともいえない」が約35%、「良くなかった」「どちらかといえば良くなかった」は約14%となり、肯定的評価が過半数に達しない結果となった。

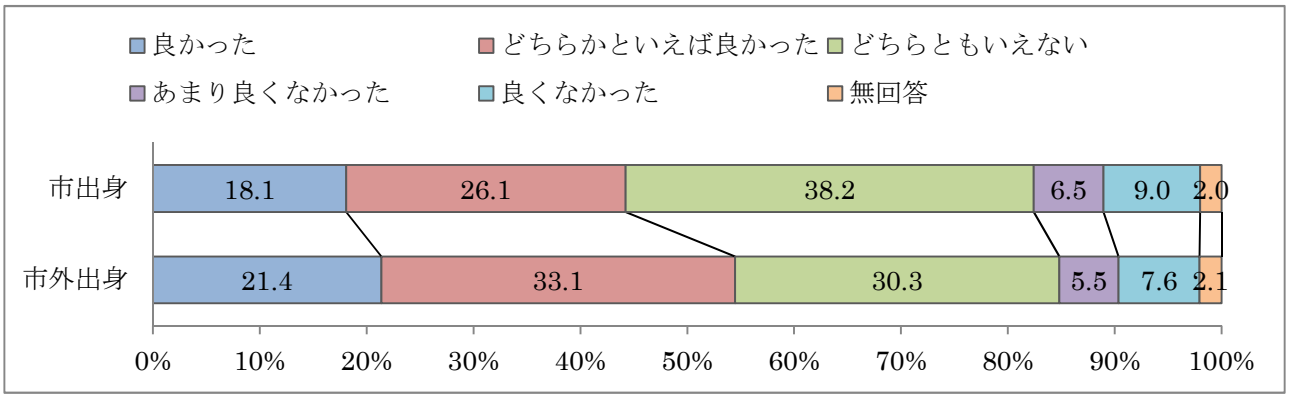
性別による大きな違いはないが、否定的評価のうち「良くなかった」とする回答は、男性が女性の2倍である。

②年代別（Ｎ＝349（年齢不詳除く））〔単位：%〕



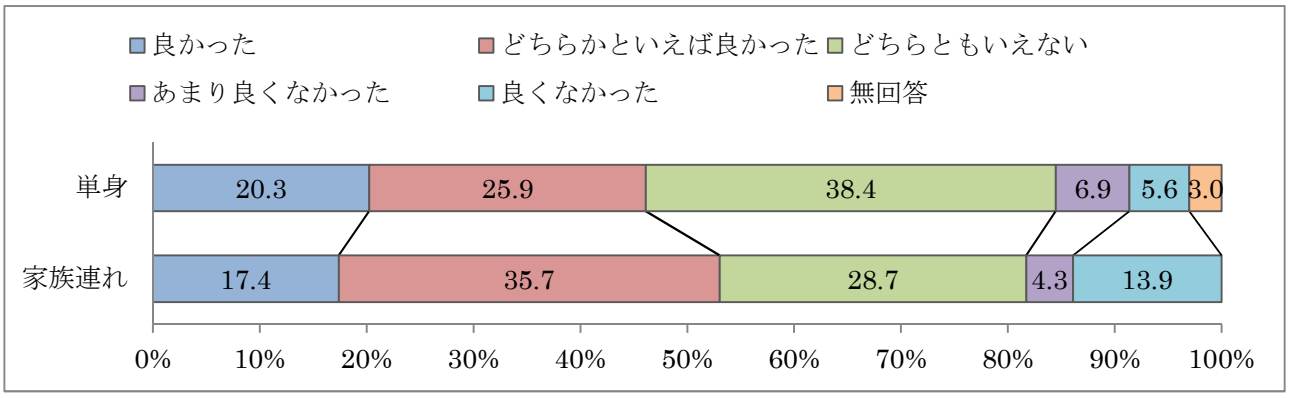
年代別には30代と40代で肯定的な評価が50%を超えましたが、50代で否定的な評価の割合が最も高く、26%であった。

③出身別（Ｎ＝344（出身不詳除く））〔単位：%〕



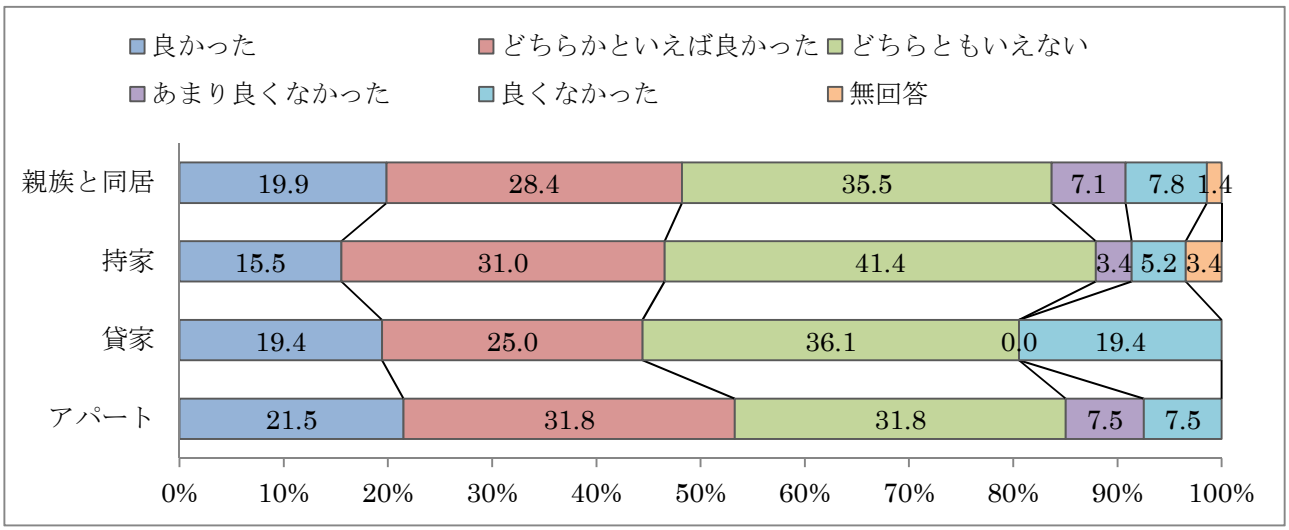
市外出身者（親族ありを含む）のほうが肯定的な評価をしており、市出身者は「どちらともいえない」が多く積極的な評価には至っていない。

④家族構成別（Ｎ＝347（家族構成不詳除く））〔単位：%〕



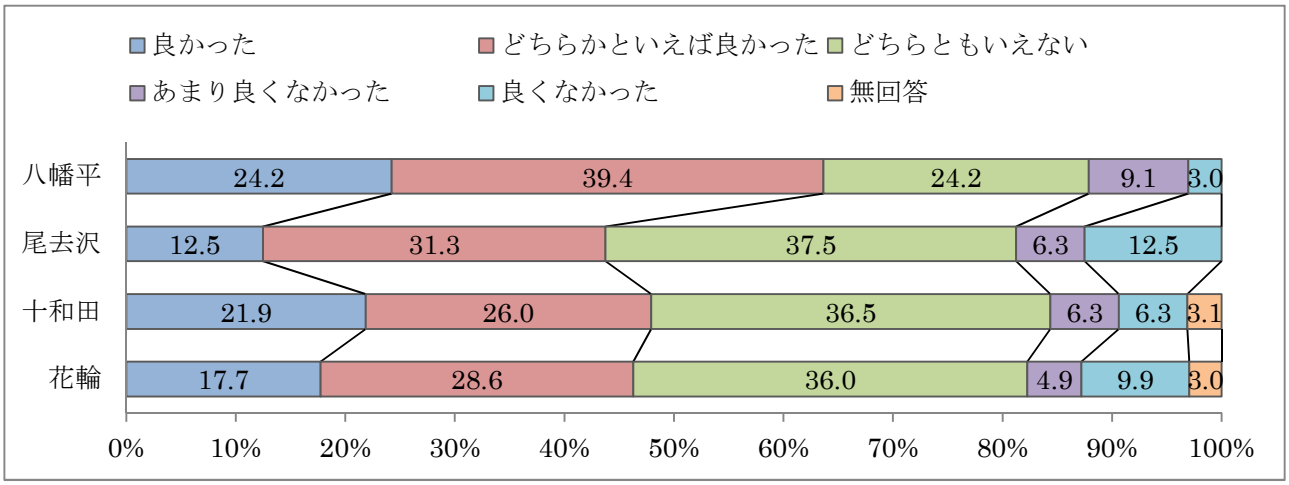
家族連れでの転入の肯定的な評価が 50%を超えた一方で、「良くなかった」と感じる割合も比較的高い結果となった。

⑤居住形態別（Ｎ＝342（居住形態不詳除く））〔単位：%〕



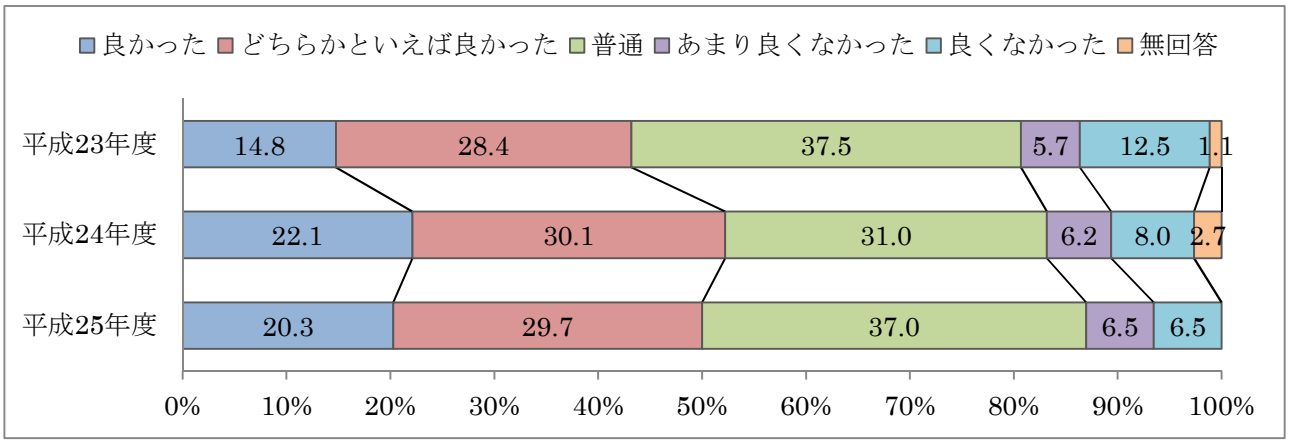
居住形態別では、貸家に住んでいる方が、転入に対して最も厳しい評価をしているが、属性等に共通点がなく、その背景については明らかでない。

⑥地区別（Ｎ＝348（地区不詳除く））〔単位：%〕



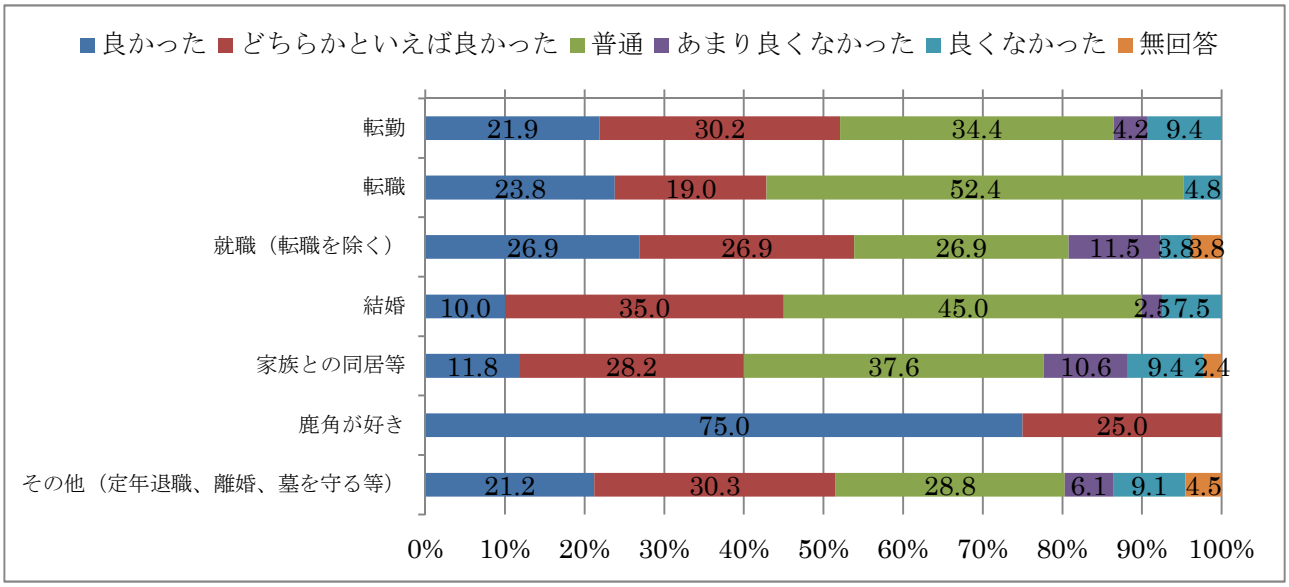
八幡平地区の世帯で、住んで良かったという評価の割合が高く、肯定的な評価が６割を超えている。肯定的な評価をした世帯は親族との同居割合が高く、評価の理由には、自然環境のよさや家族と過ごすことなどふるさとを評価するものが多かった。顕著というほどではないが、尾去沢地区での評価が相対的に低い。

⑦転入年度別（Ｎ＝339（転入年度不詳除く））〔単位：%〕



転入年度が前であるほど、否定的な評価の割合が高くなる傾向にあり、定住意欲が減退しているのではないかとの懸念が生じる。

⑧転入要因別（Ｎ＝342（転入理由不詳除く））〔単位：%〕

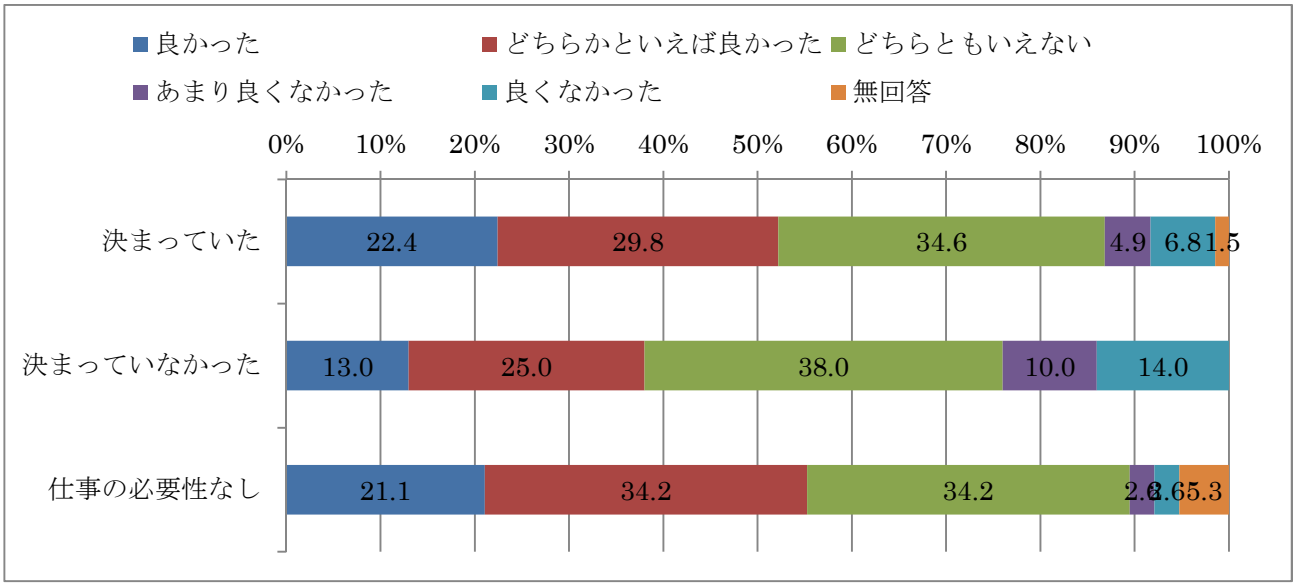


「鹿角が好きだから」の世帯は、全員が肯定的に評価している。転勤、就職、その他の転入理由でも肯定的評価が 50%を超えているが、就職の場合は、否定的評価の割合も比較的高い。

否定的評価が 2 割に達したのは、家族との同居等であるが、否定的評価の理由には、「働く場所がない」「交通が不便」などの回答が多く見られる。

転職では、「普通」との回答割合が他の転入要因と比べて著しく高い。

⑨就業状況別（Ｎ＝343（就業状況不詳除く））〔単位：%〕

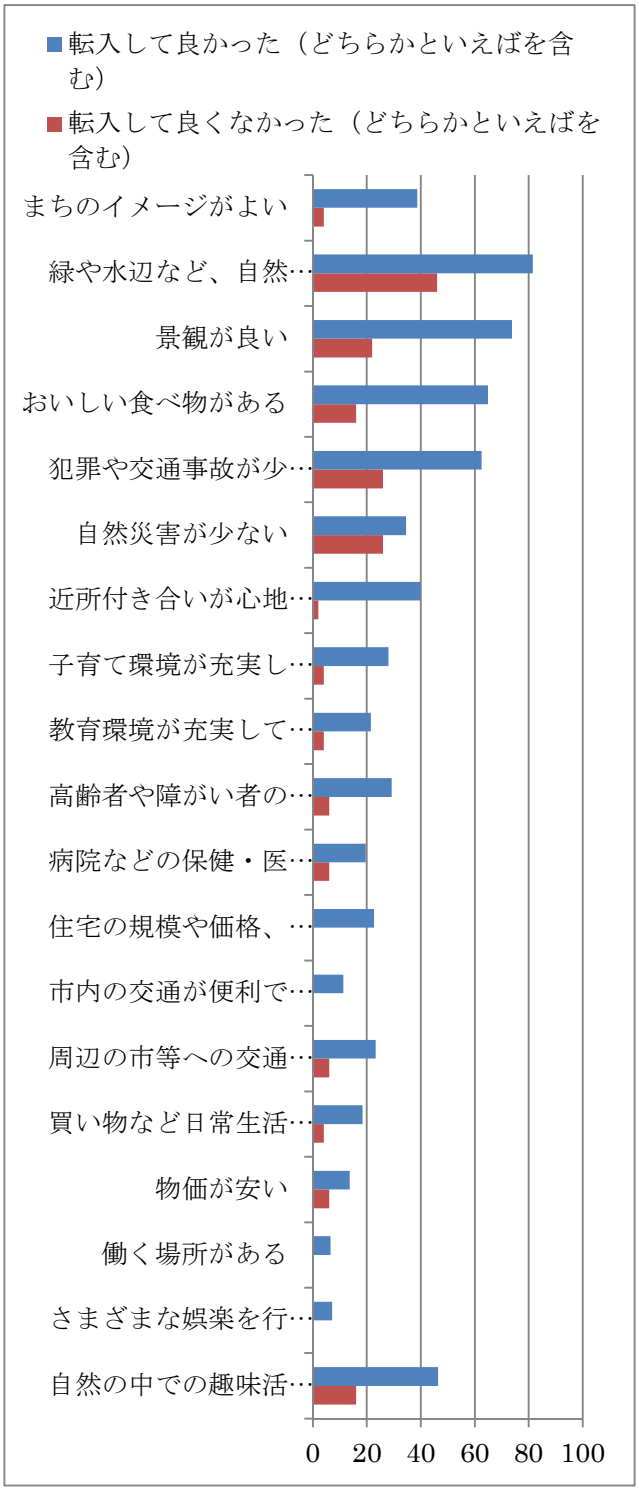


転入時の就業状況別にみると、仕事が決まっていた世帯と仕事をする必要がなかった世帯では肯定的評価が 5 割を超えるのに対し、仕事が決まっていなかった世帯では肯定的評価が 40%を切り、否定的評価が 1／4 弱となっており、就業状況が転入評価に大きく影響していることがうかがわれる。

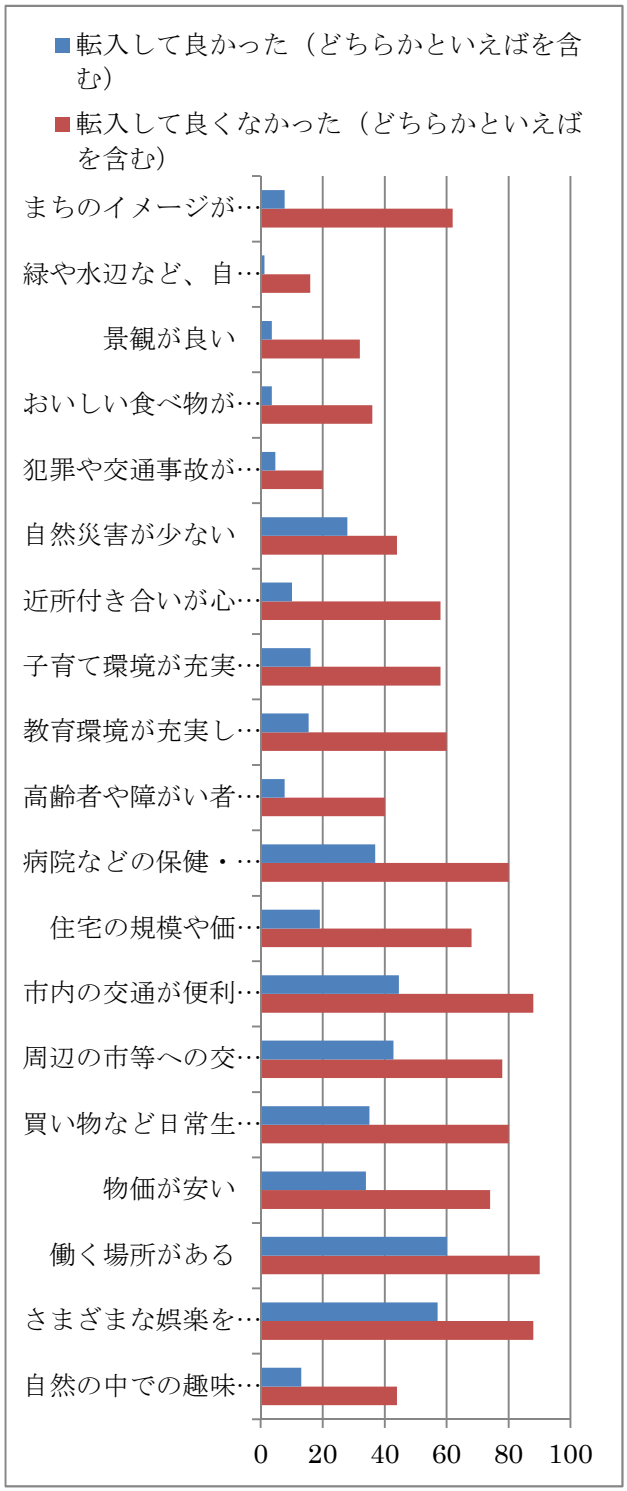
⑩転入の評価と市に対する評価との関係

〔単位：%〕

●肯定的評価の割合（N＝168、N＝50）



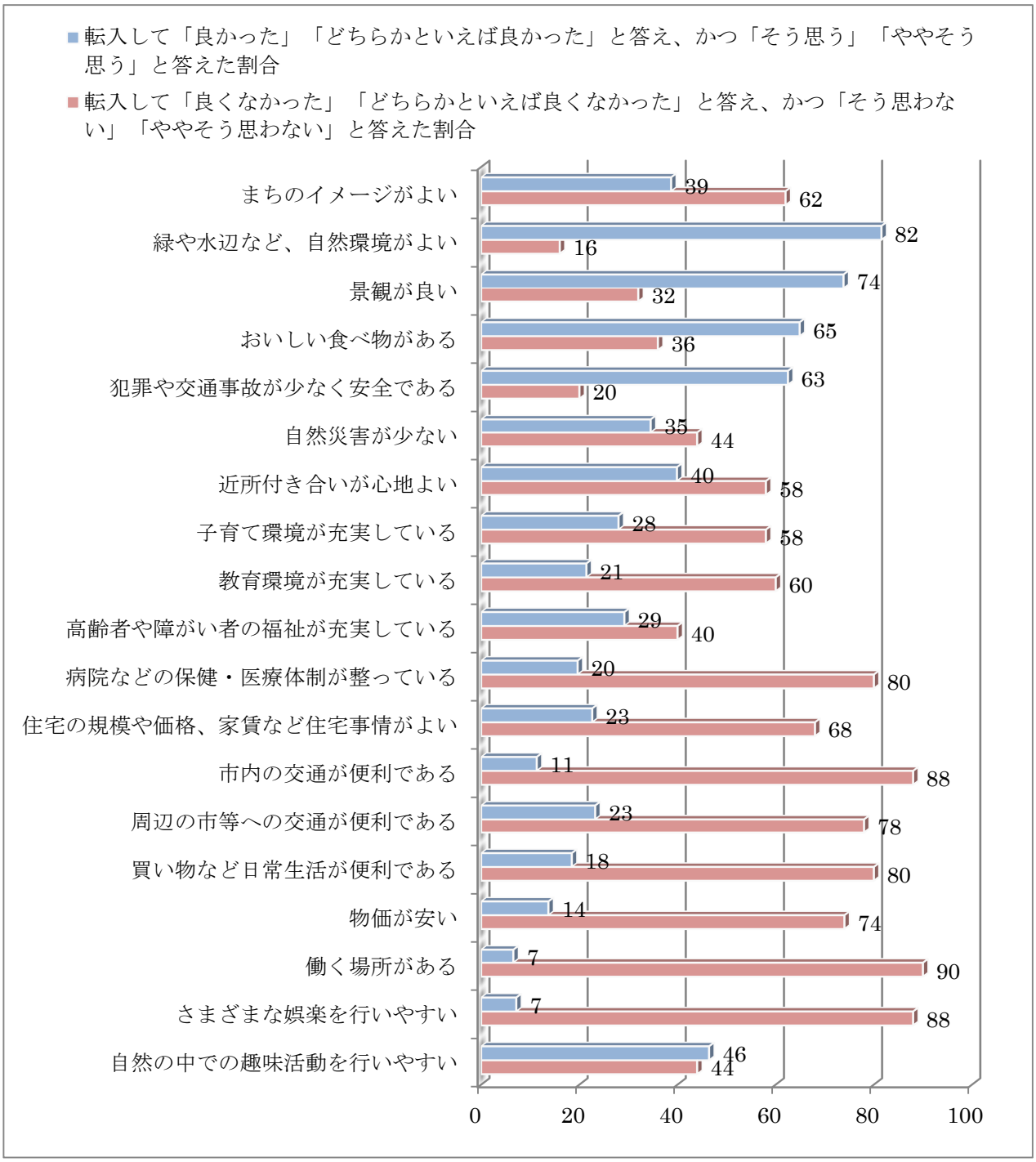
●否定的評価の割合（N＝168、N＝50）



転入に対する評価と市に対する評価との関係を比べてみると、転入して良かったと感じている世帯は高め、良くなかったと感じている世帯は低めの評価となるものの、項目ごとの評価は同様の傾向にある（横棒グラフの先端を結んだ線は似た形状となる）ことがわかる。

そうした中で、両者の評価の開きが大きいのは、「景観が良い」や「おいしい食べ物がある」「近所付き合いが心地よい」など、本市ならではの良さと思われる項目である。生活の利便性や娯楽環境、雇用環境についての評価は両者で連動していることから、こうした点を評価するかどうかで、転入に対する評価も変わってくるものと考えられる。

●転入肯定かつイメージ肯定と転入否定かつイメージ否定との対比



前ページでは、転入の評価区分ごとに市に対する肯定的評価と否定的評価の割合を比べたが、転入評価が肯定的で市に対しても肯定的な評価をした割合と、転入評価が否定的で市に対しても否定的評価をした割合とを比較すると、上のグラフのとおり、きれいに相反していることがわかる。

前者は、自然条件などを高く評価しており、後者は、都市的環境を厳しく評価している。

●転入評価の理由

２４３人から回答のあった評価の理由は次のとおりである。

１　「良かった」（５４人が記入）

自分の故郷であり、親族たちとの交流がしやすいので安心できる
実家で生計を立てられるから
よそよそしくなく、皆、気楽にあいさつや会話ができる
特に不自由を感じていないため
就職が決まり知り合いが増えてきた。
住みやすい
知らない人ばかりなのに気さくに声をかけてくださる方が多い（大人にも子どもにも）
子どもたちがのびのびと過ごしている。自然がいっぱいでとても良い
子育て支援が充実していること、遊びやすい公園がたくさんあること、仕事の選択肢は少ないですが働きやすいよい職場を見つけることができました
自然が多い
人が優しいから
自然や観光を楽しむことができる
自分が生まれ育ったまちであること。子供への環境も今のところ良いと思えること
期間限定の移住（転勤）なので、周辺の自然環境や四季を新鮮に楽しむことができる。他県（青森・岩手等）へのレジャーに便利。
温泉に毎日入れること
ハローワークの方の勧めで職業訓練に通ったことで、今まで関わることのなかった年代、性別の方々と親しくなれ、割と早く就職することができました。私のように県外から嫁に来る人にとっては、知人・友人が出来るということが大事なのではないかと思うので、この様なサポートがあってとてもよかったです
実家の近くなので、いつでも親を見にいけるところ
保育園の数は少ないが、施設は新しく、内容としては充実している
生活環境に不満なし
動物を飼ってもうるさいとか言われない
以前はずっと東京にいたため、鹿角市に住むことによって癒された
知人が増えた。野球が好きでしたが鹿角市は野球が盛んでびっくりしました。弘前市や大鰐町よりも盛んです
生まれ育った場所なので何がなくともしっくりくる。広大な自然に囲まれ、心が豊かになる。年老いてゆく親の近くに居られて、遠く離れていた頃よりは少しは安心だ。
地元に戻ったため
景色がきれいだから。今の生活に特に不満がないから
住民の気持ちが優しい。高速道路が近く、隣県の街・観光地へのアクセスが便利
人々が温かく接してくれた
自然が豊かで治安が良いから。周辺の市への交通が便利だから。鹿角の方々が温かく接してくださるから。
障害者に対する対応が一番よく、安心できるため

人が温かい
両親の側で暮らせる。自然の四季の移り変わりを少しの時間の移動で見に行くことができる。温泉が多い
転勤で実家に戻ってきて、その後妊娠・出産し、育児支援事業にも参加して、住みやすさを実感できたから
大自然の中でのびのび過ごして、とてもいい環境です
犬の散歩コースが良い
生まれ育ったところでのんびり生活し、働くことができた。人が温かく穏やかで、楽しく過ごすことができている
住みやすく、人も良いまちです。
出身地なので
買い物に困らない。他の市が近い（大館、盛岡、弘前）
自然がいっぱいで観光地もあり、とてもうれしく思います。いつも遊びに行っています
子どもを自然豊かな場所でのびのびと育てられる
家族と住めるから
便利だから
これから子どもが生まれてくるが、子育てに力を入れていると聴き、その期待も込めて「良かった」にしました
今まで工場に囲まれた所に住んでいたため、鹿角の自然は心地よい。また、心許せる家族が一緒で高齢の父母の世話ができる
地元なので
子育て支援が充実しているせいか、子育てを通して多くの人と知り合うことができたこと
近所付き合いが心地よい。未就園児がいるが参加できる行事が多く子育てが楽しい
肉、野菜、果物など、おいしい食材が豊富なのがいいです
自然が多く静かなので、自分の性格に合っている
花輪ばやし、大湯ストーンサークル、尾去沢鉱山、茜染・紫紺染など鹿角にしかない歴史や文化に触れることができたから
親戚や知人がいて交流が出来ているから。観光・レジャーが楽しめているから。不安だった雪も除雪車が入るので安心している。
お祭りに参加したりして、地域の方と交流できたから。桃やリンゴなどおいしい果物が身近にあるから
都会のようにごちゃごちゃしておらず、ゆっくりできる場所であるし、今の暮らしが楽しいと思えているから
故郷であるため。親元なので今の収入でも生活していられる。同級生たちと再会し、楽しい時間を過ごせている。

２　「どちらかといえばよかった」（７６人が記入）

地元に戻って来られてよかった（両親や親戚がいるため）と思うが、余暇の過ごし方が限定され、他市町村や県外に出ることが多く、不便さを感じるときがある
出身地なので
自然災害が少ない
子どもの教育環境が岩手にいる時よりも良い方だと思われる。クラブ活動が盛んであり、自主性が子どもに身についたと思う

周りにある山などの自然に癒されている。温泉が近くに沢山ありうれしい。ただ買い物などに不便を感じている
自然、環境が良く住みやすい。県外に行きやすくて助かる
強いて言えば高速ＩＣが近いところが良い。大町はシャッターが閉まっているところが多いが、道路が整備されているように感じました。
転勤のため 23 年間秋田市に住んでしまったので、いつかは鹿角に帰ると思っていました。２人とも跡取りです。
思っていたよりもイベントなどが盛んになっていた
人との付き合いが心地よい
年をとってからの転入だったので、今まで人間関係で悩むこともなく仕事も充実していて楽しい毎日を過ごしてきたので、いろんな面で難しいものがあるなあと感じています。
家族との時間が多くとれるようになった
実家があるため
実家が近いので何かと協力してもらえるので
特色のある食文化、伝統、文化に触れることができた。ただ、買い物や交通の便に関して不便に感じることがある
生活しやすい
他県への交通が便利
環境などが良く、自然に溶け込んで良かった
普段、まちの中が静かで落ち着く
知り合いも多く、自然環境も良くアウトドアレジャーも便利
普通に生活していく上で、大きく不便に感じることはない
自然が豊富で子どもが育つ環境としてはとても良いと思うが、スーパーなどお店やレストランが少なく他の市へ行かないと必要なものが揃わなかったりすることは不便である。また、子連れでの悪天候時の買い物や病院への用事は汚れてしまうのがとても気になる
保育園が９月に転入だったのに入れてもらえて大変助かった。土砂災害や川の増水は不安だが、地震や噴火の不安があまりない。アルパスなどの公園が遊具など新しくてとても良い
盛岡市（出張先）が近い。スキー場がある
人が温かく、ゆったりとしたまちだと思うから
県外への交通の便が良い
鹿角は生まれ育ったまちでもあるので、自然豊かでゆっくり過ごせるまちで好きです。でも、活気がないように感じています。10 年後、20 年後も住みよいまちであってほしい・・・。
周りに新しく知り合いもでき、だんだんと一年の流れがわかるようになりました。今後たくさんのイベントなどに参加できると、もっと楽しさが出てくると思います
親から相続した畑の耕作、自家製野菜の取得。サラリーマン退職後の無業な生活からの脱却。市内に多くの親族が居住し、胸襟を開いた語らいができる
普通の生活、平穏
生まれ育った所だから
自然の素晴らしさに感動（他の面を隠すくらい）
自然が豊かでのんびりした時間が流れているように思う。スーパーが少ないせいか、物価は高いように思います。買い物が便利になって、医療体制が十分であれば、１の「住んで良かった」になると思います

住み慣れているから
みなさんやさしく親切です
緑が多く自然が豊かなため
ゆっくりと両親のもとで療養できる
子どもが育つのには良いと思う
優しい鹿角市民の方々と知り合うことができた。鹿角市内にしかないうまい料理を食べることができた
子どもの医療費等免除されていて助かっています。でも休日や夜間に発病した際に行ける病院がなかったりするのは不安に感じています
子育て環境の整備に対する取り組みに力を入れていると感じたため。しかし、小児科病院が限られており、平日夕方に（18 時頃まで）受付してくれる病院が少なく、働いている親としては週に 2～3 日でもいいので、十和田地区の小児科病院でも夕方までの受付をしてほしい。また、個人病院の小児科のドクターが高齢のため、今後縮小していくのではと心配している
１の「良かった」としたいが、十何年ぶりに会った親戚が「おばさんになったべ」とか「この先、結婚できても子どもはわかんねーな」など、不快で失礼なことを言ってきて、嫌だった。心理的なセクハラというか、マタハラというか・・・。
人が優しい
空気がいい
静かだ。自然や食べ物がよい
生活しやすい
頼るべき親類縁者がいる
子どもが生まれてからの子育て支援の施設やサービスが充実していて、子育てすることに対する不安や悩みを相談できる環境があってありがたいと思います
コミュニティの規模が小さく、たくさんの人と関わり、知り合うことができた。ただ秋田市への交通が不便だった
住みやすい
おいしい飲食店を見つけることができたから
特別目新しいこともないが、事故・事件も身近では起きておらず、平凡ではあるが毎日を穏やかに暮らしている
自然が豊かである。静かで落ち着く。
子育てする上での環境が良いと思います。
子どもが伸び伸び成長できそう。近所や親戚の子ども達は皆面倒見がよくみんなで遊んでくれる。都会に暮らすのと違い近所同士のあいさつや助け合いがある。幼いうちから受験や競争などではかわいそうだと思うので小さいうちは自然の中でたくさん遊ばせてあげたい。公園の遊具など新しいものが多く遊ばせやすい。
鹿角リンゴや北限の桃などの発見があった
自分のやりたい仕事などはないが、家族の近くに居れるのでよい。
知人が少しずつ増えたから
生活する上で特に困ることはない
災害リスクが少ない。とりあえず何とか生活できる
子どもがいるので子どもに対してのサービスが充実していると思います。特に公園が多く、遊具も新しくたくさんあるので、子どもに優しいまちだと感じました
小坂よりも店が多い

生まれ育った所ですから
都市部から転入して来て最初は買い物や飲食店に困ることはあったが、半年以上住んでみて、特に不便さを感じなくなった
親の近くにいられること
生活する上で不便がない
仕事をさせていただいているので
やりたかったことができるようになったから
近くに温泉があり、施設も清潔で気持ち良く入浴できる。まち全体が清潔で、ゴミの収集ＢＯＸが設置されている場所も清潔に保たれている
妻の活動に賛同してくれる人たちがいろんな面で協力してくれるため
実家があるので
自然を近くに感じられることはとてもよかった。親切な方も多いように感じられた
安全で静かでゆっくり過ごすことができるため
家族と楽しく過ごせること。自然の中で子育てができることは何より一番であるものの、小児科医が限定されてしまっていて、仕事をしながら時間内に受診するのは難しい。救急で行っても専門医がおらず、不安な毎日です。
家族が近くなってよかったが、夜遊べるところが少ない。イベントが少ない
災害が少ないので

３　「どちらともいえない」（６８人が記入）

娯楽・商業施設が少なく不便に思うこともあるが気候やスキー場など良いところもあるため
良かったと感じる時もあればそうでない時もあるため
冬は雪が多く長いため、何処にも遊びに行けない
住むには好まないが、保育料が他市と比べ安いため
衣類、雑貨など買い物できる場所が少ない。娯楽施設が少ない。子ども（赤ちゃん）を連れて外食する場が少ない（畳など）。賃金が低い。選べる職場が少ない。子どもの医療がかからないことが有難い。スーパーで住民票など書類をとれるところが良い。温泉が沢山ある。
何をするにも全て車が必要
賃金が安く、家賃が高いため
静かで良いけど、生活する上での不便を感じる。小学生、中学生、高校生が礼儀正しいのが良いです。
実家があるので住み慣れた環境なので良いとは思うが、実際に他の所から帰ってくると出かける場所がないのは不便であり不満に感じる点ではある
良いところはたくさんある（自然が多い、食べ物がおいしい等）。しかし病院は限られているし、職がなく経済不安を抱えている人が多いため。田舎だからか権力がある人の意見がまかり通っている部分が多々あると感じる時がある（いろいろな会社にて）。
交通が便利ではない。歯科医院が多すぎると疑問視している。
住むのは良いが車がないと不便な点。買い物するにも病院に行くにも遠い。高齢になるにつれ不安に思う。
経済的にどちらかというと人との関わりが少ないので、閉鎖的になりやすい
人同士のつながりは良いことだが、人のことを話題にした噂話が多く、何でも筒抜けになってしまう地域性があまりよくない。特産品、名産品が多く食べ物がすごくおいしいところは良いと思う。
職場環境が良かった一方で、実家がある秋田市への帰省が大変である（遠い）。冬の除雪が上手くない。

自然豊かで良いが、やはり実家に帰るのにも新幹線が通っていないので不便
自然が多くのんびりしているのは良いが、若い人の娯楽があまりにも少ない。閉鎖的なことにより、地域の方々の人柄が他県出身者から見ると特殊で、考え方を理解するのに苦しむ。
良いところと良くないところとがある
家族は大切だが働く場所がない。仕事内容がきついのに割に合わない給料
上の階の住人がうるさいから
良いところもあるが、やはり子どものための病院などの体制に不安がある
転入前より妻の実家が近くなったのでよかったが、お店が少なく不便。遠出しなければならない。
インパクトがない
冬が厳しい（春から秋は過ごしやすい)。食材がおいしいが日用品を買う場所が少ない。ガス代が高すぎる。
出身地であるが、大町その他があまりにも閑散としていて、30 年以上前と比べて駅周辺が活気がない。（消費税も上がったので）生活全般が不安です。昔も便利とは思わなかったが不便さは今より少なかった。ニュースで見た「買い物難民」という言葉が身近になった。食材が東京より高いです（野菜やきのこ類とか)。大きい病院の待ち時間が長すぎて（予約時間の意味がない)、びっくりです。病院も少し遠いです。
物価が高く感じる。買い物の際も物が少なく不便
まだ冬季の鹿角市を経験していないため
生活していくのが大変
大きな頼れる病院がない。東京はいろいろな選択ができる
自然が豊かで自然災害も少なく子育てするには良い環境だと思うが、医療や福祉、交通（車がないと生活が難しい）など生活する上で不便な面もあり、一長一短である
仕事の面や家族のことを考えると鹿角住まいで良いと思うが、生活の不便さや医療技術のことを考えると長く住もうとは思えません
家を継ぐために転入しました
十和田インターのおかげで青森、弘前方面に行きやすくなって良かったが、勤務先が大館市のため、遠くなってしまった
高齢者にとってあまり居心地がよくない
税金が高いのはびっくりでした
市の建物、持ち物の中で日常頻繁に使用していないもの、古くなったもののメンテナンスが悪いと感じられる
住宅環境がよくない（早く日が陰る。雨が降ると裏の山のアカシヤが２，３本倒れるなど。）
高速道路を利用し隣県へ行けるが（時間的に近い)、秋田市まで遠い（秋田市へ行かなくなった)。講習会や試験は、秋田市より盛岡市を選択する
病気療養には良かったと思う。ただ将来的には不安が多い
色々な人とのつながりができたこと。周りの人があんまりガツガツしていないので、何となく向上心がそがれてしまった気がする。
少子化が止まらず将来の市場規模も市の財政も厳しくなるのが明白。老人が多く、そのほとんどの交通マナーが悪い（車がライトをつける時間、自転車のルール違反、歩行者の信号無視・横断など)。
病院がない。仕事がない。(秋田市にいたから余計そう感じる)
何をするにも不便
中心商店街に活気がみられない。専門店（書籍、ＣＤ等）が少ない。ファーストフード店がない

良い点と悪い点が両方ある。良い点は自然環境、スポーツ施設の充実。良くない点は、道路交通、買い物、働く場。
サービス業の仕事に就いていますが、まちに人が歩いておらず、寂しすぎる。
高齢者社会と言われている地としては、環境が整っているように思えない。
遊び場があまりない。ボウリング場とかネットカフェとか作ってください
自然の中での楽しみや温泉が多く楽しめる反面、娯楽施設が少ない。開業医（整形外科、眼科、耳鼻科、皮膚科）が少ない。隣県の街に高速道路を使い、行きやすい
雪国で暮らす高齢者にとって住宅の周りなどの除雪は大変な面があります。田舎は閉鎖的で、よそ者を嫌います。細かいことまで口出しするからプライバシーは破られ、新しいことや今までと違う考えなどを嫌います。
田舎で何もなく飽きる。病院が少ない（特に小児科）。中学生まで医療費無料の市町村がある中、鹿角は所得によりかかる。山菜や桃などが手に入りやすい。自然豊かで空気がおいしい
良いことも悪いこともある
娯楽がない
自然環境と住民意識はすばらしいと思う。生活面において、道路交通、物価は満足できるとは言えない。
遠方には高速道路が近いので行きやすいが、ちょっとした買い物が不便
ずっと住んでいたから住みやすいとは思うが、若者向けの施設や娯楽施設の少なさは不満
自分にとっては良かったが、子どもにとって最悪
無駄な時間が多くなった
お店がないため買い物や美容がとても不便。自然や温泉が好きな者にとっては良い環境だが、そうでない者にとっては苦痛（私は前者）。禁煙施設がほとんどないのは閉口した。
現段階ではなんとも言えない。病院はあっても専門医がいないのが残念です
働く場所が無いから
子育てにおいて、小坂町のほうがいいと感じる
就業・就職先の選択肢が少ない
幼児がいるのですが、休日に遊びに連れて行ける場所（特に室内）が少ない。小児科が少なく選べない
自分が生まれ育った街なので好きではあるが、良い街かといわれると疑問が残る
家族が近くにいるので安心だが、市内で何かしようと思っても、情報がほとんどない
緑も多く空もきれいだが、現住居は山に囲まれ過ぎ。カメムシ多く、雪も多い。物価（食品）が安いのはよいが、歳を取ったら孤立しそう。
地域の方々が皆親切で温かいが、生活するのに不便を感じる（大雪、職種が少ない、低賃金、中心部以外での下水・道路整備など）。

４　「どちらかといえば良くなかった」（１８人が記入）

運転免許の更新に数日かかるのには驚いた。病院はあるが受診できる科が少ないように思う。娯楽施設も青森県や岩手県の方が充実しているように思う。
家族がいて自分の生まれ育ったところですが、少し遠出しないと娯楽がない。賃金が安いため、生活がいっぱいいっぱいで大変です。厚生病院も唯一の総合病院でありながら夜間救急の対応の悪さに怒っています。
就職先が少ない
道路整備の不備、道路標識の不備、歩道の不整備、除雪方法、税金の有効利用
大きなショッピングモール、ファストフード店、本屋等もなく、非常に不便を感じる

生活に不便さを感じる。娯楽やくつろげる場所がない
働く場所がない。給料がどの職種も安すぎる。交通の便が悪い。医療機関が少ない。
交通手段に不便を感じた。コンビニ、ショッピングセンターが少ない。趣味活動ができない
秋田市内にある自宅に、遠くてなかなか帰れない
買い物など市内では十分に行えず、大館市や他県まで行かなくてはいけない。賃金が安く、生活費など掛かるお金が多いため
もっと人が温かいところだと思っていました。交通環境やライフラインが良くないです。意見を言うと、鹿角の人間はこうだから仕方ないと言われることが多いのでがっかりです
外食の際、料金が高いと思う。ガス、水道代が高い
雪が多く大変。４か月も雪の中に閉じ込められる。交通の便が悪く、商業地も少ない。病院も選ぶどころか、診てもらえる日まで待たなければならない。子どもに一緒に暮らしてもらえない。
仕事が選べないし少ない。国民健康保険が高い。車がないとどこにも行けない。税金が高い。賃金が安いのでレジャーに使えるお金が少ない。
国民健康保険の度重なる対応のミスのため
今後子どもを育てていくことを考えると小児科が少ないと感じる。小児科の開業医の先生が年配だったので、いつまで続けてくれるのか、後継者はいるのか等、子育てに関する不安が大きくなった。
国立公園の中間点で自然が豊かであるのに、それを活用できていない。自然を壊すのではなく、自然を活かした観光を見直せば、もっと集客ができるのに、それができていないのが残念。保守的な考えの人が多く、新しいことをするのは大変な感じがする
住民税が高い

５　「良くなかった」（２７人が回答）

物価もあまり安くないのに賃金も安い。最低賃金が 700 円（時給）もいかないなんて働く意欲もなくなる。交通の便が悪いことからマイカー購入が必要となるが、寒冷地仕様車両は最初から車両本体価格が高く、中古車でも 10 万キロ以上の車がぼったくりのような高値であった。
出張の際、不便（個人的だが）
働く所がない
資格がなかったので就職先が見つからず、もう一度関東へ出稼ぎ中です
観光目的で数日間滞在するのはいい場所であるが、居住するのは最低である
他にいくところが無いので仕方ないから
周辺市町村（特に秋田市）に行くのが不便
偉い人が多すぎる（偉そうに）。県の自殺者が多いのも分かるような気がする
仕事もなく、ただ仕方がなく戻っただけで、全くつまらないです。ただ死にに戻ったような気がする
友達も作る機会もなく、集まりとか何があるのかわからない。仕事もなく、交通ルールを守ってない人が多く、道路も大きい通りが１本しかなく不便だ
田舎で何もない。アピールしている観光スポットも他の市町村よりレベルが低い。若い人がどんどん離れていく気がする
病院に行ってもやっていない（午前中で終わっていることばかり）。働いている人たちに活気がない（私自身もなくなった）。
医療や交通の便など不便を感じざるを得ない。特に病院の体制がひどすぎる。結局、元の弘前の病院を受診せざるを得ない。
他県や他市から来た住人に冷たい。受け入れてもらえない。他人のことを干渉しすぎ

かかりつけとなる病院が岩手県しかない
給料が安く、何の楽しみも出来ない。未来が見えない
何もない
共働きなのに保育システムに不満があった（保育園での預かり時間が短い)。娯楽がないため、楽しむところ（ショッピングや公園とか）がない。賃金が低い割にアパートの家賃が高い。住んでいても特に特徴のないまち。若者が住みたいと思うまちではない。
40 数年も離れていたので都会の便利さに慣れ親しみ､田舎の近所付き合いに少し戸惑いを感じております。ちょっとしたことでも大変不便であると感じます（コンビニが遠い)。夕方頃から人があんまり通らない。これから先の不安があります。永住した人に対しての利点もない。鹿角市には仕事もあんまりないし、ちょっと住みにくいかな・・・。
都会暮らしが長いせいか、北国の暮らしは厳しい。田舎＝人が良いとは限らない。知り合いが近くにいる分､少し煩わしい｡給与･賃金が安いとは思っていたが安い｡暮らすにあたり経費が掛かりすぎる（車が無いと生活できないから、ガソリン、保険、車検)。冬の光熱費の負担大。都市ガスではなくプロパンなのでガス代もこんなに高いとは)。今後も暮らしていくか考え中。
税金が高い。働く所が無さすぎ。家族を連れてくることもできない
せめて大館ぐらいになってほしい。団結に欠ける。面白くない。こんな田舎なのにアパート代が高い、ありえない。
前居に比べ勝っている部分が一つも無いこと
買い物をする場所、娯楽施設が少なく、利用するには高速道路で県外へ出なければならない。スーパーも値段が高め。病院も少ない
小児科が足りず、病気の時など困る。店が足りない（特に本屋)、図書館もがっかりする。何もかも選択肢が出来ず不便すぎる
仕事の選択肢がない（製造業、接客業、土木業、資格有しかない)。パチンコ店は多いが、映画館や子どもが楽しめる場所がない。鉄道・バスの本数が少なく不便。地域のクラブは高齢者・子ども向けが多く、若者が参加しているクラブは企業・友人つながりで、つながりが全くない転入者は参加しづらい
交通が不便。学校の教育は最低（転校生の受入れがなっていない)

12 移住･定住に必要な取り組みに対するご意見

設問 移住・定住先として鹿角市が選ばれるために必要な取り組みについて、提言や期待、ご意見等がありましたらご自由にお書きください。

意見の記入は２１３人から回答があり、項目を分類すると延べ４１３件であった。

最も多かったのが、「雇用・地域経済に関すること」、次いで多かったのが「娯楽・飲食・買い物（日用品以外）に関すること」であった。

分類		件数	割合	頁
全体的事項		19	9%	49
イメージ・情報発信に関すること		16	8%	51
雇用・地域経済に関すること 89 件（42%）	雇用の確保・賃金等	63	30%	53
	産業振興策	26	12%	56
生活コスト対策・奨励金等に関すること		12	6%	58
子育て支援に関すること		17	8%	59
高齢者福祉・介護に関すること		4	2%	60
医療環境に関すること		37	17%	61
買い物環境に関すること		5	2%	63
娯楽・飲食・買い物（日用品以外）に関すること		53	25%	63
高等教育機関に関すること		7	3%	66
近隣へのアクセスに関すること		10	5%	67
生活交通に関すること		15	7%	68
道路・インフラに関すること		10	5%	68
雪国生活に関すること		8	4%	69
住まいに関すること		24	11%	69
市民・コミュニティに関すること		17	8%	70
行政サービスに関すること		19	9%	72
その他		51	24%	73
		413		

全体的事項

男	～24	転勤	親族無	転勤の方が１人で来ても住みやすいような環境づくり
男	～24	就職	市出身	若者が定住するには若者目線で考えて若者向けの施設を１つでも多くすることが必要だと思う
女	25～29	同居等	市出身	高齢者、子ども、障害者に対しての取り組みだけでなく、独身の若者に対して安心して定住移住できるような環境が鹿角市にあれば、若者の流出が防げるのではないか。若者が暮らしたいと思うまちづくりに重点を置くことがこれから求められると思う
男	25～29	その他	市出身	観光、スポーツなど全てにおいて中途半端。何か１つとは言わないが、鹿角市はコレというもの、行事、活動に特化し、力を

				いれてほしい。
女	30～34	転勤	市出身	空き家をリフォームして、スポーツ等の強化選手を呼び込み、移住してもらう。
女	35～39	同居等	市出身	徳島県の伊座利（イザリ）という所では、村外から小学校と中学校分校への留学生を受け入れているそうです。その際、空き家などを活用し、家族で移住してもらうそうです。子どもとその家族が増えることで地域経済の活性化にもつながるのではないでしょうか。秋田は学力も高く、鹿角は自然も豊かです。例えば末広小や草木小のように規模の小さい小学校に広く市外から子供を受け入れ、きめ細かいケアをすることで移住が増えたり定住してくれる人が増えたりするのではないでしょうか。伊座利では希望が多く、欠員待ちの状態だそうです。全国の成功例を参考にぜひ鹿角も頑張ってほしいと思います。
女	35～39	同居等	市出身	もっと鹿角市民に直接何が必要なのか聞くべきだと思う。観光の他県へのアピールも下手なのではないでしょうか。魅力が薄すぎる。
男	35～39	同居等	市出身	そもそも鹿角にいた人を戻すほうが人口減少対策には良いかと思います。あとはいる人を出さない。仕事、学校（大学など）を増やす、作ることが大事かと思います。
男	35～39	転職	市出身	中高生に同じアンケートをして参考にする
女	35～39	同居等	市出身	働く年代の人の移住・定住を促すなら、自活できる収入を得られる仕事を見つけやすい環境であるべき。リタイアした年代の移住・定住を促すなら、福祉を充実させ、趣味の活動やボランティア活動に参加しやすい、買い物・通院がしやすい、除雪サービスが充実しているとう環境を整えて売り込むべき。この部分では、冬の寒さと雪を相殺するだけの何かが必要かも。
女	40～44	その他	市出身	人口減や高齢化が進んでいると思いますが、20～50代の現役世代に活気の出る何かがない。私自身が少し街で生活してきたので、つまらなく、ただ歳をとっていく気がします。何をどうしてと言うことは企画を立てる年齢層で変わってくると思いますが、子、孫世代の時に実現されるのか、このまま過疎化していくのか何も思いつきません。
男	45～49	転勤	親族無	自然環境と生活環境の両立したまちとして成長すること
男	45～49	転勤	市出身	鹿角市を検討してくれている人に対して家族同様に親身になるくらいの受入部署を作った上で、ＨＰ以外も利用してＰＲしていく。移住してくれた方々の意見をしっかり把握・分析して、対応を考える（この程度のアンケートで分析できるとは思わない）。移住してくれた人を入れたチームを作り、取り組むのもいいかも。縁のない人を１人でも、１家族でも新たに鹿角に定住してもらえるよう頑張ってください。
男	50～54	転勤	市出身	仕事があるか？娯楽があるか？産業があるか？変な箱モノを作るより人口が増えるような、住み良い、住みたくなるようなまちを望みます。このアンケートを作ろうとした人達が一番わか

				っていると思います。
男	60～64	その他	市出身	土地と景観はたくさん有るのだから県外からの移住者をどんな手を使っても増やすべき。市議会の議員さんを町おこしで実績のある方を立てるべき（県外も含め)。地元の方だとしがらみがどうしても有るため。人とのつながりは絶対必要だが、改革を起こそうとする時は障害に成りうることもあるのでは…。県外のモデルケース、良い実例はいずれにしても取り入れても良いのではないでしょうか。もっと枠をはずして考えられる県外からの風を吹かせても良いのではないか
男	60～64	同居等	市出身	高齢者にはまずまず住みやすいと思うので、定年退職者への空き家提供などでの移住は可能性がある。
男	60～64	その他	親族無	自然豊かで（温泉、景観、食材等)、また歴史・文化（祭りなど）など充実していると思う。人口約 35,000 人と少ないがゆえに出来ることがあると思う。内から鹿角市を見ても、マンネリ化して良いものが見えないと思う。
男	65～	転職	親族無	移住定住が多くなるとは考えにくい。生まれた子供や若者が流出するのを防ぐ方法を考えることが必要と思います。高齢化が日本一早く減速することが見込まれる地域なので、若者が努力すれば子育てができるように、時間と一定水準の給与、生活に必要なインフラが確保されることを目的に地域づくりが行われると良いと思います。若い人材の育成が必要で、昔地方がやったように市の発展に資する人材を具体的にイメージして、その活動のコアとなる人材育成を市が決めて支援し、教育終了後は将来市の中心的人材となるようなシステムを今から始めるべきと思います。
女	65～	その他	市出身	高齢者が多くて、５年後、１０年後の鹿角市はどのようになっているのだろうと不安を感じることがある。市内に廃屋があちこち見受けられ、うら寂しい感じがして、活気が感じられない。生活にうるおいが無いせいか、人々がギスギスしていて、やさしさが感じられない。高齢者支援もいろいろとやられているかもしれないが、自分のように働いている者には何もない。歳をとっても働いている者は、取られることばかりのような気がします。子育て支援も、出生した人にお祝いの一時金を出しているようだが、全く無駄なことではないかと思う。人口減少に歯止めをかけて増加する方向に行ければいいと思うが、今のままでは大変難しいと思います。住んで楽しいまちとはあまり感じられません。魅力的な市になれるよう願っています。

イメージ・情報発信に関すること

女	～24	就職	親族無	移住定住の目的を何と定めて取り組みを考えているのでしょうか？（例えば、定年後の移住、自然が良い、若者が集う、など）それが全く分からないので何も言えません。花輪ばやしも正直ここに来るまで知りませんでした。県外で秋田の情報がどれだ

				け出ているか再度確認して、どんな良さをプッシュして移住定住させるのか考えることが必要と思いますがどうでしょうか
女	～24	就職	市出身	秋田県の中の鹿角市という名前をもっとたくさんの人に知ってもらいたいと思います。自然豊かでゆったりとした時間が感じられる素敵な場所だと思うので、知らない人はもったいないです。
男	25～29	同居等	市出身	鹿角の良さをもっとアピールしていけばいいと思う
女	25～29	転勤	親族無	自然、温泉、観光、食べ物など、いいところをもっとＰＲすべきだと思う。
男	25～29	同居等	市出身	退職してお金を持っていて田舎暮らしに憧れている人に向けた鹿角の魅力のアピール
男	30～34	転勤	親族無	農業、農村に興味のある都市部の人々をターゲットにした鹿角市独自の取り組みがあれば良いのではないか
男	30～34	結婚	市出身	市の運営は良い方だと思うけど、アピールが足りなすぎると思います。他の地域の人たちに何も伝わってないと思います。
女	30～34	結婚	親族有	出産祝い金が他の市町村より高額で、子育て世代を支援していると思う。しかし鹿角に来るまで全く知らなかったので、いい取り組みをしていても県内外にＰＲがうまくいっていないと思う。
女	35～39	結婚	親族無	「きりたんぽ」「北限の桃」「花輪ばやし」温泉などもっとＰＲしても良いと思う。
女	35～39	その他	市出身	もっとうまくまちのＰＲをしては？例えば大館市なんかは上手だと思う（ふるさと納税とか)。特産が目立ったものが無いので中途半端な印象。
男	35～39	同居等	市出身	情報発信力が足りない。もっと鹿角市を全国へアピールするようにする。埼玉にいたとき、青森、山形、北海道は、物産などたくさんアピールしていた。鹿角市を売り込み、宣伝をしていけば、少し時間がかかっても活性化します。きりたんぽは大館にとられるな。
女	35～39	同居等	市出身	騒音は少ないし、空気はきれいだし、治安もいいので、落ち着いて静かに暮らしたい人にとっては住みやすいところなので、その辺をＰＲしてみてはいかがでしょうか
女	35～39	同居等	市出身	たんぽ小町ちゃんの絵葉書（イラストより写真のほうがうれしい）などがあればいいと個人的には思います。あれば、他市町村の知人への便りに使います。
女	50～54	同居等	市出身	全国区のＣＭにも出演した「たんぽ小町ちゃん」があまり活かされていない（東京に居た頃にブログを見ましたがほとんど更新もなく残念な感じでした）
女	50～54	その他	市出身	もっともっと鹿角市を知ってほしいと思います。食であったり、文化であったりと。他の県の人との話で１つだけ残念に思うのはＴＶ局数が少ないこと。ＴＶの影響は大きいです。見られない局があるだけで秋田県は遅れているという人もいます。
男	60～64	好き	市出身	もっと大々的に移住情報を発信すべき。道の駅や花輪ＳＡにも

				ＰＲコーナーを設置。

雇用・地域経済に関すること（雇用の確保・賃金等）

男	～24	同居等	市出身	若者の正社員としての働く場所が欲しい。工場等誘致が必要(好条件)
女	～24	就職	市出身	働く場所の確保。鹿角市は交通の便がいいのでそこをもっとうまく利用すれば移住・定住者も増えるのではないでしょうか
男	25～29	就職	市出身	雇用の創出
男	25～29	転職	市出身	働く場所等があれば、若い人が増えると思う
男	25～29	同居等	市出身	企業誘致
女	25～29	結婚	親族無	職の充実
女	25～29	転職	市出身	仕事を増やすことだと思います
男	25～29	好き	市出身	就職場所と賃金の向上
女	25～29	不明	親族無	企業誘致もできれば市外からも人が来る可能性があると思う
未回答	25～29	就職	親族無	雇用の増加、賃金のベースアップ等の政策を行い、若者の就業を増やす
女	25～29	転勤	親族有	仕事を増やしてもらいたい。
男	25～29	同居等	市出身	駅伝やスキーのまちにする前に、地元就職が可能な企業を誘致するとか、明確に住民へ方向性を示しても良いのではないか
男	25～29	転勤	親族無	若者が移住・定住するには、働き口、娯楽ともに物足りない。
男	25～29	その他	市出身	企業誘致を積極的に行ってほしい（大館市のように上場企業誘致)。
女	30～34	結婚	市出身	都市に住んでいる友人は雇用が少なく就職ができないという理由で鹿角に帰って来たくても来れないでいる。資格を持っている人は仕事先があるが、持っていない人は働くことが難しいらしい。とても大きな課題だと思う。
女	30～34	転職	市出身	仕事をする場をもっと増やさないと人口はどんどん減ってしまうと思う。
男	30～34	その他	市出身	就職先
女	30～34	同居等	市出身	高齢化に伴いそれを支える若者が増えるように、企業誘致や働きやすい環境に努めてほしい。全体的に給料が安すぎるので、いずれ鹿角市から去ると思う。とてもじゃないが、自分が歳をとった時のことを考えると不安になる。15 年前くらいまで鹿角市に住んでいたが、久々に戻って来て、市全体が劣化して見えて嫌になった。
女	30～34	結婚	親族無	働く場所が多いこと
男	30～34	その他	市出身	介護関係の求人は多いと聞いているが、給料などの待遇が悪く人手不足という話がある。少子高齢化が深刻なのだからもっと介護現場の末端の人は報われるべきだと思う。大館は企業誘致に成功していると聞くが鹿角はそのような話は聞かない。ある企業は古株職員をリストラし、安く新社員を補充しているようだが、そんなことの繰り返しをしていたら市外・県外に人が流

				出するのは当然ではないのか。鹿角市にいれば安定した職を得られるという実績と評価が定着しないかぎり人口は減り続ける。
女	30～34	結婚	市出身	仕事がない。
女	30～34	結婚	親族有	高卒者の就職先の充実、Aターン就職者の支援。
女	35～39	結婚	親族無	観光地としてはとてもすばらしいが、定住するとしたら安定した仕事がもっとあったら良いかなと感じます
男	35～39	同居等	市出身	移住・定住者のための雇用創出。
女	35～39	結婚	親族無	多くの方が働ける工場など大きな企業を呼ぶ。
女	35～39	結婚	親族無	大きな企業を誘致して、鹿角の人口の確保や雇用の賃金を上げるようにしていただきたいです。若い子や 30 代、40 代がしっかり働ける場所が少ないような気がします。だから県外市外へ行ってしまうのです。がんばってください。
男	35～39	同居等	市出身	賃金を上げる。
女	35～39	その他	市出身	まず、子育て世代の 20 代～50 代が働ける場所を確保してほしい。県全体に関わることだが、都市部との賃金格差を縮めてほしい。
女	35～39	その他	市出身	私は大館市で働いているが、賃金が低く共働きしないと子育ては厳しいので、子育てしながら働きやすい環境づくりをしてほしい。子育てタクシーは鹿角市にはないのですか？勤務地が大館だと保育園のお迎えに間に合わないことがあり同居していますが、義母は免許がないので何とかならないかと思います。少子高齢化が著しく人口減少が進んでいる秋田では今後介護離職者が増加することも予想されるので、子育て、介護支援の更なる充実と休職した際の復帰をしやすくしたり、企業の支援や意識改革も望みたい。人口減少は労働人口の減少でもあるので、少しでも働き手を確保するためにも子育て世代や介護休職者がいる企業の支援もしてほしい。
女	35～39	その他	市出身	人口減少を止める方法の一つとして大学数を増やすと言っている有権者もいるが、子どもの数が減っているのに、大学の数だけ増やしても意味はなく、卒業後の受け皿としての就職先がないと真の定着とは言えないと思う。企業の誘致もいいけれど、経営不振の際のあおりを受けやすいので、秋田発または秋田に本社を置く企業が増えてくれればと切に思います。
男	35～39	転職	市出身	最低賃金を都内と同じくらいにする。
男	35～39	好き	市出身	県外で仕事をしている友人なども言っていますが、賃金が安すぎるのでUターンをためらっているという話をよく聞きます。子育て支援など良い制度がたくさんあるので、賃金の安さが解消されれば、若い人たちも地元に残ろうという気になるのではないかと思います。
女	40～44	結婚	親族無	働く場所がないし、遊べるところもないので若い人には住みづらいと思います。
女	40～44	結婚	親族無	定住化となると仕事の問題が大きいと思います。企業誘致、市

				の臨時などの職員の継続雇用を増やしたり、働き先の確保が大事かと思います。
女	40～44	その他	市出身	仕事先がもっと豊富にあるといいです
女	40～44	同居等	市出身	就職先の確保
男	40～44	転勤	親族無	企業誘致で働ける場所を増やし、衣食住の魅力を向上させる
男	40～44	転勤	親族無	秋田県内はどの市町村も同じだが、働く場所が少ない。
男	45～49	転勤	親族無	10 代、20 代が定住するには労働環境が整っていることが必要だと思う。
男	45～49	同居等	市出身	働く場所の確保
未回答	45～49	同居等	市出身	ふるさと定住機構のＡターン等で行っている再就職活動などのような活動がもっと活発にできればいいと思う
女	45～49	その他	市出身	雇用の促進・確保、賃金の見直しが必要かと思う。若い世代が安心して移住・定住できる鹿角市であってほしいです
男	45～49	転勤	親族無	若い人が定住できるように働き先を増やす（企業誘致）
男	50～54	転勤	市出身	安定した生計を立てられる企業の誘致
女	50～54	同居等	市出身	職が少ない。
男	50～54	転職	市出身	働ける職場がほしい
女	50～54	同居等	市出身	交通の便が悪い。雪国のため冬は大変。仕事がない。本当に自然以外何もないです。観光（温泉などのアピール）など
男	50～54	転勤	親族無	雇用創出（公務、医療・福祉サービス以外の業種）
男	55～59	同居等	市出身	働く会社を誘致すること
男	55～59	転勤	親族無	観光客も、毎年十和田湖や八幡平を見に来る訳でもないし、まして定住者も年に何回も訪れるわけではない。定住する者にとって一番必要なのは「働ける場所」、つまり収入を得る職業がなければ定住しようとは思わないし定住できない。ですから一番目には仕事があること。
女	55～59	同居等	市出身	安定した雇用がある企業の誘致
女	55～59	同居等	市出身	仕事が選べないし少ない。特に女子は賃金が安い。家賃を払わずに生活できる人が多いので暮らせていると思いますが、すべてを払っては無理と思います。 都会に行った人も仕事があれば戻るだろうし、出て行かなくても良いと思うので、田舎にいてもできる仕事・会社を呼ぶ。市で会社を作ることもあっても良いと思う（可能かはわからないが)。
女	55～59	同居等	市出身	まちに人が少ないのは、会社員の仕事時間が長いためではないのか。完全に週休２日は無理でも、他の土曜を早く帰して、まちで遊べる環境を整えるべきと感じます。温泉にでも行けると思います。
男	55～59	転勤	親族無	収入が安定する雇用の確保、地場産業の確立
男	60～64	同居等	市出身	会社等仕事をする場所があれば良い。若い人たちが都会に出ていかなくて済む。
男	60～64	同居等	市出身	働く意思はあっても仕事の量が少ない。

男	60～64	その他	市出身	まず最初にびっくりしたことは、仕事の賃金（パートの時給）の安さ。付け加えて、資格がない人は仕事がない。働きたくても仕事に就けない状況です。鹿角市の一般的な職は、土木と福祉関連しか有りません。定年を迎えた人の仕事は、時間にして４時間のアルバイトしかありません。だからこれから先の（夫婦）生活は、大いに不安があるということです。
男	60～64	その他	市出身	働く場がもっと高齢者にもあるようにお願いします
男	65～	同居等	市出身	職場の確保
女	65～	その他	市出身	若い人達の働く場所を多くしてほしい。
女	65～	就職	親族無	働く所が無さすぎ。家族を連れてくることもできない
男	65～	不明	不明	人口減に歯止め。最低でも後継ぎの働き場所。ここの団地は平均年齢７５歳以上であと１５年で消滅？
男	65～	同居等	市出身	若い人の雇用の場を作ること。大企業、大型ショッピング等の企業誘致をし、雇用と経済の活性化を図ること。このままでは鹿角市としての展望が見えないし、将来が全く見えない

雇用・地域経済に関すること（産業振興策）

男	25～29	就職	市出身	高校生からの起業シュミレーション（地元で起業するためのノウハウ）
女	25～29	好き	市出身	働く場所の充実を図った方がいいと思う。それと同時に、全体的に賃金アップをした方がいいと思う。周りの人でも、地元にいたいが働く場所が少ないのと賃金が低い理由で都会に出ていく人もいた。自分自身も、地元にもっと早く帰ってきたいと思っていたが、働く場所と賃金のことでなかなか決断できなかった。 鹿角市に東北道のＩＣが２つあるのに、ＩＣ周辺の活用の仕方が足りないと思った。例えば、ＩＣ周辺に大きな会社や娯楽施設を作るなど活用しないと、これからの鹿角を担う若い人たちがどんどん出て行ってしまうと思う。ＩＣ周辺の活用の仕方次第では、鹿角市内の人たちだけではなく、他の市外・県外の人たちにも興味・関心を持ってもらえて、「鹿角に住みたい！」と思ってもらえるのではないでしょうか
女	25～29	転職	市出身	おいしい食べ物がたくさんあるので、地域の人にもっと知ってもらう。移住して来た人（市外出身者）の方が詳しかったりする場合あり。観光地には地元の人は大人になると行く機会が減ると思う（小学生の時に遠足に行ったり子供がいれば行くと思いますが)。地元の人にも愛される観光地づくり
女	30～34	転勤	市出身	お米がおいしいのだからもっと活かせばいいのに。
女	30～34	転勤	市出身	若者の雇用確保と収入的安定が定住へのカギになると思います。私の同級生でも収入の見込みがあれば帰ってきたいという声を聴きます。雇用の年齢層の拡大、起業をサポートする制度が充実しても良いかと思います。
女	30～34	転勤	市出身	企業を誘致。観光地を整備し、盛り上げ、活気づける。

女	35～39	結婚	親族無	観光をもっと充実し、観光客がまた来たいと思ってもらえる街にするべきだと思います。それには接客態度をもっとよくするべきです。ＤＣや国民文化祭などでも秋田のおもてなしと言っていますが、鹿角はおもてなしが全体的に悪いと思います。このままでは人口が減少してしまいます。大きなイベント、フェスなどがあれば良いと思います。活気のある街にしていただきたいです。がんばってください。
女	35～39	その他	市出身	未来をちゃんと考えていますか？国の問題？自治体でも取り組んで行くべき。国からやれと言われることだけやっているんでは？という印象。何かしているのかもしれないけど、それが浸透してないから、何もしてないじゃん!!と思ってしまう。田舎は公務員さまさまって聞きますから、優秀な人材を雇用して、何かしていってほしい。例えば、ベンチャー企業と手を組み、案をもらうとか。
男	35～39	好き	市出身	畜産業も盛んなようなので、子どもたちが気軽に動物と触れ合えるような体験型の農場みたいなのがあったら面白いと思います
男	35～39	その他	市出身	既存地場産業の強化と全国・全世界的プロモーション（地域内のすべての飲食店できりたんぽが食べられる等)。新規地場産業の本格的な模索。「ここでしかできない」産業がないとまちは破綻します。
女	35～39	同居等	市出身	まち全体が活性化されること。北東北の中心地という立地の割には、観光面のＰＲ不足か（ＩＣ付近、各名所のＰＲ等)。外部のお客様の姿が少ない。メインの商店街もどこかわからず、鹿角市は通り道になっている。
男	40～44	転勤	親族無	働く場の確保。尾去沢鉱山の坑道を活用した核のゴミの最終処分場としての活用で、仕事が増える（数百年の作業となる)。
男	40～44	転勤	親族無	駅前再開発で、花輪ばやし観客動員数増加を目指す。普段は駐車場として活用し花輪線の利用拡大を図る。八幡平の国道の改良で、田沢湖・角館からの観光客を誘客。小坂から青森県平川市に抜ける国道の改良で、青森からの誘客を図る。
男	40～44	転職	親族無	働ける環境面の充実を検討してみてはどうでしょうか。鹿角市の人は仕事熱心で手先も器用な方が多いように見えますので、企業誘致や中小企業の支援など現在もやっていますがもっと大々的に行ってみてはどうでしょうか。農業が盛んですのでヤンマーやクボタなど農業関係の企業とタイアップしてみてはどうでしょうか。弘前市や大館市のまねはせず、鹿角市の良いところ、自然、農業、歴史を伸ばすやり方でお願いします。
女	40～44	同居等	市出身	中野区への出店等の外へのアピールは良いと思います。何があるのかがわかれば（魅力がわかれば）足を運んでくれるのではと思うので、小中高生や一般に募ってアイディアを出してもらったりする活動をもっと増やしたらいいと思います。ネット（フェイスブックやＨＰ）などたくさん利用して宣伝する方法を考

				えたら良いのでは。「いいねキャンペーン」を東京の友人にも薦めたところ、B賞当選して喜んでいました
男	40～44	転勤	親族無	宿泊施設等周囲の環境も整えるべき。
男	40～44	転職	市出身	起業したい人に対する融資等、金利を安めにしてみては？
男	45～49	その他	市出身	道路の整備は随分できていると思うので、観光の方にも市がもっと力を入れ、企業に力を貸していけば、市内の働く人が増えるのではないだろうか
男	45～49	転勤	市出身	収入のためには仕事が必要なので、マッチング（あっせん）が必要。
男	50～54	転勤	親族無	観光という面ではもっと工夫が必要か？プラスアルファの食べ物、食事の場所等。鹿角に来なければ楽しめない物や場所を大胆な発想とスケジュールで他県に負けない取り組みを！
女	50～54	同居等	市出身	食材の種類が少ない。花輪ばやし、たんぽ小町ちゃんなどお土産の内容が充実していない（見劣りがする、あまりおいしくない)。東京のアンテナショップでハチ公プリンを買ったことがあります。他の地域に持っていくお土産品があまりないのが残念です。米どころの新潟には２合分くらいのお米が入った小袋の米がありお土産にちょうど良かったです
女	50～54	同居等	市出身	小規模事業者が雇用拡大できるような助成金・補助金の拡充
男	60～64	同居等	市出身	若年者や現役世代に移住してもらうには、職場を提供できるかによる。地元企業を支援して受注を増やす活動が求められる。誘致は無理が多い。受注活動には鹿角出身者の首都圏に住む退職者を活用できると思う。
男	60～64	転勤	市出身	鹿角市には十和田八幡平、史跡尾去沢鉱山、大湯ストーンサークルの自然観光地、花輪ばやし、大日堂行事など非常に多くのすばらしいものがあるが、なぜか観光客が少ない。県内を転勤し、これ程多くの観光に恵まれている市町村は他に見当たらなかった。バブル時代のような集客は望めないものの、工夫すれば今以上の集客は可能と思う。年々、ホテルが閉鎖されているのも寂しい。小坂町は唯一の康楽館への集客に全力を注いでいる。冬の閉館中は職員が全国の中学校の修学旅行を誘致しようと必死になっていた。小坂町とタイアップし、今以上に旅行会社への営業を活発化してはどうか。市役所に観光客を集めるための営業専門職員を数名配置してはどうか。スキーのまちづくりを目指し、年間を通しスキー大会等を催しているのはすばらしい。北３県の中心部である鹿角の地は、高速道路を利用すれば意外と便利な所である。鹿角で生まれ育った住民はもっともっと自信を持った方が良いと思う
男	60～64	同居等	市出身	観光地として集客力の増大の取り組み。地場産業の販路拡大。
男	65～	転職	親族無	子育ての前にもっと積極的に企業活性化に伴う婚活の充実

生活コスト対策・奨励金等に関すること

男	25～29	結婚	市出身	他方よりも冬季の支出が増してしまうのがネックだと思い

				ます
男	25～29	就職	市出身	出戻り者への奨励金（ないの？と聞かれます）
女	30～34	転職	市出身	名産を活かして移住してくれた人には何か特典を与えるなど工夫し、とにかく若い人を呼び込んで欲しい。
女	30～34	転勤	市出身	水道代が高い（下水道代がなかったので）。ガス代が高い。
女	35～39	結婚	親族無	観光地としてはとてもすばらしいが、寒冷地に対する補助とか子育て支援とか、もっと増やしても良いかなと感じます
男	35～39	転勤	親族無	物価が高く感じる。買い物の際も物が少なく不便。
女	35～39	その他	市出身	給与・賃金が安いとは思っていたが安い。暮らすにあたり経費が掛かりすぎる（車が無いと生活できないから、ガソリン、保険、車検）。冬の光熱費の負担大。都市ガスではなくプロパンなのでガス代もこんなに高いとは）。
女	40～44	転勤	親族無	スーパーが少ないせいか、物価は高いように思います。
男	40～44	転勤	市出身	補助金とか優待券とか、生活する上で役立つものを継続的に配布する
男	50～54	転勤	市出身	光熱水費が思ったより高いと感じます。
男	50～54	転勤	市出身	新婚さんに家賃タダとか、他市県からの人には１年間無料とか、特別な発想が必要かも。
男	65～	同居等	市出身	税金の軽減化。冬場の光熱費（灯油）、高齢住宅の補助。

子育て支援に関すること

女	25～29	結婚	親族無	注目される子育て支援などがあったらどうなのでしょうか。これからを担う子育て世帯の方に移住定住してもらい鹿角の発展を共に支えていただきたいと思います
女	25～29	結婚	親族無	子育て支援をこのまま継続していってほしい。
女	30～34	転勤	親族無	知り合いや親族が近くにいないので、何かあった時に子供を預かってくれる施設がもっとあったら助かります。例えば自分や主人が具合が悪く病院へ行かなければならない時に、病院内に託児所などがあれば嬉しいです。
女	30～34	同居等	市出身	子育て支援の充実
男	30～34	転勤	親族無	子育て環境・援助が悪い（マル福とか）。何もないところなので事件・事故はないと思う。仕事で来なければ来ないところだと思う。
男	30～34	同居等	市出身	子の医療費助成が不足。以前の居住地では中学生まで全額無料。それを考えるとどうしても見劣りする。
男	30～34	同居等	市出身	日曜、祝日、年末年始に保育してくれるところがない。日曜、祝日に従事する仕事の場合、子どもをつくりにくいと思う。このへんも都会と比べて遅れている。逆に、観光ビジネスで地域活性を図ろうとするならば、従事する人は日曜勤務が多くなるのは必須。それを支える土台がないのはいかがなものか。
女	30～34	転勤	市出身	神奈川県藤沢市のように子どもを持つ家庭への負担を減らす行

				政にする。今後高齢化がさらに進むのに、敬老会に予算を使う余裕はあるのか
男	35～39	同居等	市出身	少子化と言われていますが、小坂町のように中学生まで医療費無料とか・・・。
女	35～39	その他	市出身	子育て世代への補助が薄い。老人の人口が多い分そちらにお金が回っていくのかもしれないが、未来をちゃんと考えていますか？
男	35～39	同居等	市出身	養育費、義務教育費など子どもにかかる費用が掛からないようにする。通院費も。
女	35～39	転勤	市出身	せめて小学生までは医療費無料にしてほしい（ずっと無料の所に住んできたので)。引っ越してきて有料になり家計に響く。子供は病院に行くことも多いので。
女	35～39	その他	市出身	高校生からもっとお金がかかるのに、児童手当がないのは厳しい。子どもが多いと特に。
女	40～44	結婚	親族無	子育てや住居に関して地域格差があると思います。鹿角市子育て支援センターはとてもすばらしいと思いますが、十和田大湯、八幡平の方は利用しにくい施設です。一時預かりで、例えばユニバースに買い物にいくために、花輪の支援センターに子供を預けに行くでしょうか？小規模でも各地区の市民センターを利用して一時預かりの日を設けたり、イベントをやったりすることで花輪以外の地域の方も子育て援助を受けられる安心感があると思います。また、預かる年齢も、自由来館は花輪と同じにして学童（小４以上）の利用もできれば親も安心できると思います。学童保育は他市と比べ鹿角は手薄です（犯罪に巻き込まれないためにも急いで整備してほしいです)。花輪以外に住んでいる人にとってはなかなか不便な市です。
女	40～44	転勤	親族無	買い物は不便（物価が高すぎる)。子育て支援もなっていない。すべてひどい。
女	40～44	結婚	親族無	授乳室を設置してほしい。
男	55～59	その他	市出身	子育て環境：希望する育児休暇が事業所の理解不足で十分に取得できないと聞きました。行政として事業所に対して強く協力を求めることも必要だと思います（第２子・第３子を出産するためにも)。

高齢者福祉・介護に関すること

男	25～29	就職	親族無	高齢者に優しいまちづくり
男	55～59	その他	市出身	介護対策：施設入所ができないため、家族（特に妻）が離職して親の介護をしているが、鹿角市独自の政策として、そのような世帯に対して離職時の給与の半額でも補助してはどうかと思います。
男	55～59	その他	市出身	生活弱者の病院や買い物の交通費の補助：周囲（自治会など）の人が生活弱者を通院などに自家用車で送迎した場合の補助を検討してもらいたいと思います。

男	65～	その他	親族有	鹿角市は介護保険が高すぎます。

医療環境に関すること

女	～24	同居等	市出身	医師不足を改善してほしい。
女	25～29	結婚	親族無	いろいろ病院が増えてほしい。
女	25～29	結婚	親族無	小児科病院が限られており、平日夕方に（１８時ころまで）受付してくれる病院が少なく、働いている親としては週に 2～3日でもいいので、十和田地区の小児科病院でも夕方までの受付をしてほしい。また、個人病院の小児科のドクターが高齢のため、今後縮小していくのではと心配している。
女	25～29	転職	市出身	緊急手術等できる先生、病院が無いとのことで、岩手医大まで運ばれると聞きました。永住するのには大いに不安です。友人たちは皆出て行きました。私もその予定です。老後にゆっくり生活する分には良い市だと思います。
男	25～29	同居等	市出身	駅伝やスキーのまちにする前に、最低限病院の診療科目にドクターが毎日のように在籍するとか、明確に住民へ方向性を示しても良いのではないか。医療や交通の便など不便を感じざるを得ない。特に病院の体制がひどすぎる。
女	25～29	就職	親族無	今後子どもを育てていくことを考えると小児科が少ないと感じる。小児科の開業医の先生が年配だったので、いつまで続けてくれるのか、後継者はいるのか等、子育てに関する不安が大きくなった。今よりも医療が充実することを期待しています
男	25～29	結婚	市出身	病院の充実。
女	30～34	就職	親族無	市内に大きな病院が一つしかないのに、「科」として開設されていなかったり、救急で受け入れてもらえなかったりというのが不安。
女	30～34	転勤	市出身	病院の質がいまいち。周りの人たちも多くが大館までわざわざ通っています。特に小児耳鼻科、皮膚科。厚生病院の産婦人科はとてもよかった（里帰り出産で利用）。
女	30～34	転勤	市出身	医療体制の不安もあります。医療（医師不足）を補うための福祉の専門家を積極的に受け入れて、医療と家庭の間を埋めるようなサポート（見えない様々な問題に対して積極的に専門的に支援していく）の充実も住みよいまちに欠かせない条件だと思います。
男	30～34	その他	市出身	医療の発展
女	30～34	結婚	親族無	医療施設の充実
女	30～34	結婚	親族有	病院が少ない（小児科、耳鼻咽頭科がほしい）。
女	30～34	転勤	親族無	医療施設が汚らしいので子どもがいると不安になる。
男	30～34	転勤	親族無	病院の医師、器具も悪い。病気も治らないので大館市など他の市へ行っている。強いて言えば、何もないところなので事件・事故はないと思う。仕事で来なければ来ないところだと思う。
男	30～34	転勤	親族有	医療機関を充実させてほしい
女	30～34	結婚	市出身	病院がない、子どもを産めるところが１か所しかない。

男	30～34	同居等	市出身	出産できる病院が市内に１つで、妊娠初期検診ができる箇所は＋１しかないうえ、出産院は満員の場合がある。本当に市内で出産させる気があるのか。
女	30～34	結婚	親族有	子育てしやすい環境（小児科や耳鼻科の開業医が少ない、選択肢が少ない）
男	35～39	同居等	市出身	鹿角のお母さんたちは良い小児科や耳鼻科が鹿角にないため、みんな大館まで連れて行っている現状を知っていますか？子どもを持つお母さんたちに信頼される小児科や耳鼻科が鹿角にあるだけでも鹿角の強みになると思います。
女	35～39	結婚	親族無	医師の確保にもっと力を入れる。
男	35～39	転勤	市出身	開業医（皮膚科、耳鼻科など）の充実
女	35～39	同居等	市出身	病院の内容を充実してほしい。大きい病院もあるのだから、診てもらえない科があったりするのはおかしいと思う。待ち時間もバカにならない。
男	35～39	転勤	親族無	医療・福祉の充実
女	35～39	結婚	親族無	病院等の対応ももう少し患者目線で対応できたら不便さも感じなくなると思います。都市部から転入して来た人は「先生がいないからできない」などどすぐ言われてしまうと戸惑ってしまいます。利用しやすい環境をもう少し学んでほしいと思いました。
女	40～44	その他	市出身	厚生病院も唯一の総合病院でありながら夜間救急の対応の悪さに怒っています。担当の科の先生ではない。看護士は救急の対応で手いっぱいで、待たされる以前に「来ないでください」みたいな事を言われた時は、救急車か、死ねと言われた気がしました。こんな病院で良いのでしょうか
女	40～44	転勤	親族無	病院のほとんどが土曜日お休みに驚きました。働いている人にとってはとても不便だと思います。救急外来をコンビニ受診にしないためにも、もう少し改善が必要ではないかと思います。
女	40～44	結婚	親族有	休日や夜間に発病した際に行ける病院がなかったりするのは不安に感じています。
男	40～44	同居等	市出身	高齢者が多いため、地域医療に力を注いでほしい。先日厚生病院へ母の通院のため行ったが、泌尿器科の待ち時間が４時間であった。病人にこれだけ長い待機をさせるのは問題があると思う。医師の増員や、予約時間からずれ込むときのメールやケータイへの連絡などをしてもらえると助かります
男	45～49	転勤	市出身	医療の充実
男	45～49	転勤	市出身	50 歳以上には医療、介護の充実が必要。開業医（整形外科、眼科、耳鼻科、皮膚科）が少ない。
男	45～49	転勤	親族無	今はまだ病院に通わなくても良いのですが、これから歳をとると医療への心配があります。
女	50～54	同居等	市出身	病院（大きい所）は交通の便があまり良くない。
女	50～54	同居等	市出身	医療体制の充実（選ぶどころか、診てもらえる日まで待たなければならない）

女	60～64	その他	市出身	病院もドクターも、ここに居たら選べないので心配です
男	60～64	同居等	市出身	かづの厚生病院の専門医が不足している
女	65～	その他	市出身	病院に良い先生が少ない（評判が悪い）。福祉・医療の充実

買い物環境に関すること

女	25～29	転勤	親族無	買い物に不便を感じている。商店街には飲食店が沢山あるのに車を停めるところがなく、不便でもったいないと思う。近くに駐車場があればもっと利用者が増えると思う。
女	25～29	結婚	親族無	十和田方面にも買い物の施設（食品、衣類、雑貨等）があるといいと思います。
女	30～34	結婚	親族有	買い物する場所が少ない。
男	40～44	転勤	親族無	買い物をする場所が少ない。スーパーはあるが、本屋、服屋等が少ない（多くの住民が大館市、弘前市に買い物に行かなければならない）
女	40～44	転勤	親族無	買い物は不便（物価が高すぎる）。子育て支援もなっていない。すべてひどい。

娯楽・飲食・買い物（日用品以外）に関すること

女	～24	同居等	市出身	ショッピングセンター（盛岡イオンみたいな）がほしい。買い物や遊ぶところがない。スタバなどカフェがあればいいと思う。
男	～24	転勤	親族無	若者向けの食事処、娯楽施設、書店（ツタヤ等）が必要。期待しています
女	～24	就職	親族無	コンビニ、ショッピングセンターの建設を期待する（若者には住みにくい）
女	～24	就職	親族無	私個人としては、娯楽施設が圧倒的に少ない、イベント発信がほとんど分からないという点が気になります。
男	～24	結婚	親族無	買い物する所や飲食店を増やしてほしい（ショッピングモール、ユニクロ、マック、ミスド、吉野家、サイゼリヤ、すき家、セブン・イレブンなど）
女	～24	就職	親族無	日用品以外の物（雑貨や服など）を買うお店がほしい。現在は盛岡まで行くことが多いため（欲しいものが買えない）
女	～24	就職	親族無	若者が休日を過ごせる場所や集える場所、娯楽のためのレジャー施設などをもっともっと作るべきだと思う。わざわざ大館や盛岡へ行かなければ過ごせないのでは、鹿角に住む必要性や価値が無くなってしまう。せっかく歴史・文化、食べ物があるので、若者が住みたくなるような明るいイメージにできたらいいと思う
男	25～29	就職	市出身	余暇の過ごし方が限定され他市町村や県外に出ることが多く、不便さを感じるときがある
男	25～29	就職	市出身	娯楽施設の充実
女	25～29	結婚	親族無	イオンショッピングセンターを建ててほしい。
女	25～29	結婚	親族無	娯楽の充実。飲食店（ファーストフード含む）のバラエティを

				増やす。
女	25～29	結婚	親族無	大きな商業施設など話題になる施設があったらどうなのでしょうか。これからを担う子育て世帯の方に移住定住してもらい鹿角の発展を共に支えていただきたいと思います
男	25～29	転勤	親族無	大きなショッピングモール、ファストフード店、本屋等もなく、非常に不便を感じている。このことを不便に感じている人が少なくないということを考えていただきたい。現在の景観を維持したいのか、地元の商店を大事にしたいと考えているためかは分からないが、現在のままの鹿角市には住みたいとは思わない。仕事上こちらに来ているため暮らすことになっているが、私が転居する頃には少しでも改善されていることを期待する。
女	25～29	転勤	親族有	若い人が魅力を感じる施設がなく、遊ぶところが決まっている。もう少し外から来た人が参加できるイベントなどをしてほしい。イベントをしても行きたいと思わないというか、行きたくてもどこでしているのかわからない時もあるので、もっとわかりやすくしてほしい。
女	25～29	転職	市出身	薬局や小型スーパーばかり目立ち、ファストフード店やカフェ、チェーン店などの飲食店が極めて少なく、コンビニも偏りがあり、映画館やレジャー施設は皆無。若者はどこで娯楽するのだろうか疑問です。周りに聞くと、休日に他県に行くしかないとのこと。余計に出費がかさむと思います。友人たちは皆出て行きました。私もその予定です。老後にゆっくり生活する分には良い市だと思います。
女	25～29	就職	親族無	大館のようにファーストフード店や大型ショッピングセンターなどを増やしたらどうか。
男	25～29	結婚	市出身	若者が住みたいと思えるようなまちにしてほしい。もっと娯楽があってほしい。夜になったらもっと明るく（街灯）楽しめるまちにしてほしい。大型ショッピングセンターとかあってほしい。
男	25～29	転勤	親族無	若者が移住・定住するには、働き口、娯楽ともに物足りない。
女	30～34	結婚	市出身	子どもが遊べる施設や公園、娯楽施設が少ない、アルパスにあるような遊具をもっと増やしてほしい。
男	30～34	転勤	親族無	外食産業がなさすぎる。
女	30～34	結婚	市出身	遊ぶ場所、買い物の場所が少なく他から鹿角市に来ることが少ないと思うので、なにか娯楽施設があればいい
女	30～34	転勤	市出身	買いたいものが売っていない（服・靴・プレゼントなどお金を使う店が大館、弘前、盛岡に行かないとない)。大きい店があって、雇用も増えて、買い物も高速代をかけずにここで買い物できたらもっと住みたいと思う。
女	30～34	転勤	市出身	室内で遊べるところが欲しい。観光客がスポーツする所、10～30 代がスポーツする所、年長さんと下の子が同時に遊べる場所。
女	30～34	結婚	親族有	娯楽の場が少ない

男	30～34	転勤	親族無	買い物の場所もないので大館市など他の市へ行っている。何もないところなので事件・事故はないと思う。仕事で来なければ来ないところだと思う。
男	30～34	就職	親族無	飲食店がもっとあるといいと思う
女	30～34	結婚	親族有	娯楽施設､格安スーパーやディスカウントショップがないので､休日に若い人は大館、弘前、盛岡に買い物に行ってしまう。
女	30～34	結婚	市出身	若者が遊べるところ（アウトレット、ボウリング場、映画館など）があればうれしい。一人の時間を楽しめるところが欲しい（スタバっぽいところ)。市民の生活水準が上がれば､みんなの笑顔が増え、愚痴不満を言う人が減り、雰囲気が良くなると思う
女	30～34	結婚	親族無	大手のチェーンがない。
女	35～39	同居等	市出身	大きなショッピングセンターや映画館を作り、市外でお金を使わせないようにするべき。今は毎週末弘前や盛岡、青森に遊びに行っています。
男	35～39	同居等	市出身	市の施設（コモッセやミットプラザ、アルパス、保育園など）の数が十分あるのは良いと思いますが、実際に市民の皆さんが本当に活用しているのか？　若者や若い家族たちは遊びや買い物の時、大館、盛岡、弘前に出て行ってしまうのが事実で、鹿角市内にショッピングモールやゲームセンターのようなレジャー施設が出来れば土日も鹿角で過ごせると思う。
女	35～39	結婚	親族無	ファーストフードやガストのような仲間、家族で外食できるところをもう１つくらいは増やす。
男	35～39	転勤	親族無	大型スーパー
男	35～39	同居等	市出身	いろんな店舗を置く（マック、吉野家、映画館、ツタヤ)。昼に買い物で大町に行くと有料駐車場ばかりなので無料で停められるようにしてもらいたい。
女	35～39	転勤	市出身	もっと買い物に便利なまちになってほしい。ファーストフードもないまちなど珍しい。とにかく田舎すぎてびっくり。若者が出て行ってしまうのもわかる。
男	35～39	転勤	親族無	お店が増え、交通の便が良くなれば良い。アーケードの活用。娯楽施設があれば良い
女	35～39	同居等	市出身	娯楽施設（老若男女楽しめる施設）の充実。映画館、漫画喫茶、ボーリング、カラオケなど。コンサートなど祭り以外のイベントで人を集めるべき（鹿角市を知ってもらう)。
男	35～39	転職	市出身	アウトレットモールやラウンドワンなど楽しめるところをつくる。
女	35～39	同居等	市出身	生活面では何をするにも他市でお金を使うことになることが残念。雨でも雪でも子どもを連れて、買い物、遊びができる商業施設があればいいのにと思います。
女	40～44	結婚	親族無	若い人たちが集える場所も少ないような感じもするので、転入してきた人たちが、鹿角市だけで楽しく過ごせると思える場所や店があったらいいと思います。

男	40～44	転職	市出身	娯楽・レジャー施設等がないので、鹿角で働いて得た金は他地域へ流れていく（働く場所もあまりないですが)。買い物をする場所も、食事をする場所も限定される。
女	40～44	結婚	親族無	大館、盛岡、弘前などに行かないとショッピングモール並みの買い物をする所がないので、大規模なものでなくて良いので、そのようなものがあれば助かります
男	40～44	転勤	親族無	コンビニが少なすぎます。牛丼屋とか作った方がいいと思います。遊び場があまりない。ボウリング場とかネットカフェとか作ってください。
男	45～49	同居等	市出身	鹿角市に人が集まるには何か目玉になるものが必要である。鹿角市から弘前や盛岡に買い物に行く人は多くいるが、鹿角市に県外からわざわざ買い物に来る人は少ないであろう。鹿角市にアウトレットパークでもあれば地元の人も県外からの人も集まるだろうと思うし、市が企業から税金を納入してもらえば市民税も安くなり、住みたい人も増えるのではないかと思います。
男	45～49	転勤	親族無	子どもが好きなマックや牛丼屋がない。飲食店が駅前に集中している。市役所、警察、病院、消防署（来年建設）エリアに飲食店、コンビニがない（パチンコ公楽の活用)。
男	45～49	同居等	市出身	雨や冬期に子ども､特に幼児を安全に遊ばせられる場所がない。屋内施設で子どもの遊具などを揃えている場所がほしい。岩手のこどもの森のようなものを作れれば、近隣の市町村や県外からの集客を見込める。実際、岩手の施設は梅雨時などに、同じ保育園、小学校の親子と会うことがある。
男	45～49	転勤	市出身	遊びの充実
男	45～49	転勤	親族無	全国チェーンのスーパーなどが無いため不便（イオン系が無いと町､市は廃れている)。まちを見渡してもお年寄りしかいない。やはり若者は出ていくと思う
女	45～49	転勤	親族無	子育て支援の充実で人口が増え、イオンなどのショッピングモールができればいいのになあと思っています
女	50～54	その他	市出身	大型商業施設がないので県外まで出かけていかなければならないので困っています
男	50～54	転勤	親族無	レジャー施設の充実（パチンコ以外)
男	55～59	転勤	親族無	一番目には仕事があることと、二番目に住宅環境｡「衣」と「食」はどこでもさほど差がないと思うので、あとは娯楽施設やレジャー施設も充実しなければいけないと思う
男	65～	同居等	市出身	大型ショッピング等の企業誘致をし、雇用と経済の活性化を図ること。現況を見ると、若い人たちは盛岡市、弘前市方面に買い物に行くそうですが、このままでは鹿角市としての展望が見えないし、将来が全く見えない

高等教育機関に関すること

男	25～29	転職	市出身	大学等があれば、若い人が増えると思う
男	25～29	同居等	市出身	専門学校の開設（２～３年の期間のかかるような資格をとれる

				ような)
女	25～29	不明	親族無	高齢者に優しいまちは素晴らしいが、働く若い人や中年の人にも暮らしやすいまちであってほしい。高校を卒業して進学するとなると、どうしても市外へ行かなくてはならない現状。資金の問題もあるかもしれないが、大学や専門学校があると、若者離れが減るのでは？また、市外からの移住もあるかもしれない。
男	35～39	その他	市出身	土地の特性を活かした専門学校、大学の誘致・設立。スポーツ専門校、国際教養大学のような専門学校があれば、その学生たちが土地を活気付け続け、まちが続きます。このままでは５０年後、このまちは無くなると感じます。
男	40～44	その他	市出身	仕事を増やすことは皆さん感じていることだと思いますが、高校を卒業してからの進学となると鹿角市を出るしかなく、そのままの人が多い。せめて専門学校の一つでもあればいいと思います
男	45～49	転勤	親族無	10 代、20 代が定住するには学校施設の設置が必要だと思う。
女	55～59	同居等	市出身	高校を卒業した後に進学できる専門学校や大学が近くにあると若い人の他県への流出が少なくなるのではないか

近隣へのアクセスに関すること

男	25～29	結婚	市出身	近隣の主要都市への交通手段が充実すると良いと思います。
女	25～29	就職	親族無	秋田市への交通の便がもっとよくなるといい。盛岡や弘前には行きやすいが、秋田県の県庁所在地に行くには不便を感じる
女	30～34	転勤	親族無	大館や盛岡への往復バス買い物ツアーが月１度あると嬉しい
男	30～34	同居等	市出身	都会への交通の便が悪い。夜行バスなんて乗りたくて乗っている人はいないのではないか。新幹線に乗るにも、飛行機に乗るにも、不便すぎる。都会へ行くのが不便ということは、こちらへ来るのも不便ということ。このご時勢にストロー効果を恐れて都会と交通の便を直結しないのは、過疎化の一途をたどるだけではないだろうか。
男	45～49	転勤	親族無	主要都市へのアクセスの向上が必要だと思う。
男	45～49	同居等	市出身	自動車がないと移動に不便があるため、交通機関をもう少し考えてもと思います。自身職場を変えずに転居したため、通勤は車です（片道２時間)。汽車が、朝 5 時台、夜も遅い時間もあることを期待しています。
男	45～49	転勤	親族無	大雨により末広の橋が不通になった時は他市（秋田市）へのアクセスがとても不便であった。現在、修理復旧しているものの他のルート（比較的時間がかからない）を確保できていれば安心だと思う
男	45～49	同居等	市出身	盛岡～鹿角の高速バスで、もう１時間早い上り便、もう１時間遅い下り便が欲しい。毎日でなくとも、上り便は休日明け、下り便は休日（土日含む）前にあると良い
男	55～59	転勤	親族無	陸路の確保（H25 にＲ103、樹海ライン、十二所～尾去沢の県道が雨で通行止め。代替がなく、少なく遠い）

男	55～59	転勤	親族無	周辺市町村との道路交通網の整備

生活交通に関すること

女	25～29	結婚	親族無	バスや電車は、不便を解消してほしい。
女	25～29	結婚	親族無	交通不便の改善
女	25～29	転職	市出身	車を持っていない人も住みやすい街づくり。
女	30～34	結婚	市出身	車がなければどこにも行けない、生活できない。
男	35～39	同居等	市出身	車に乗れない人のための公共交通機関の拡充。
女	35～39	結婚	親族無	デマンド交通を行う。
女	40～44	結婚	親族無	交通の便が悪い。
男	40～44	転職	市出身	公共交通機関がなさすぎ。
女	45～49	その他	市出身	バス路線など自家用車の利用が出来ない方の負担軽減など。若い世代が安心して移住・定住できる鹿角市であってほしいです
男	50～54	転勤	市出身	雪国ならではの問題が有り簡単ではないと思いますが、もう少し公共サービスの充実や交通サービスの充実を望みます。
女	50～54	同居等	市出身	バスの時刻表、印刷されたものを頂いてきたが省略されてすべての停留所が載っていなかった。(自動車免許もなく、自転車にも乗れない身ではとても不便です)
女	55～59	同居等	市出身	公共の交通機関の充実
女	60～64	その他	市出身	高齢化が進んで自分自身が車の運転が困難になってきた時、買い物や病院に通う際の交通事情がどのようになっているのか心配です。
男	60～64	その他	市出身	交通の便が悪く、車（免許）を持っていないと生活がしにくいので、(例えば大型スーパーへ行く定期バスの運行を増やすとか）交通の手段を考えてほしい
女	65～	その他	市出身	私は車の運転ができず、どこに行くにも歩きなので、バスが余りにも少なくびっくりした。

道路・インフラに関すること

女	～24	同居等	市出身	街はずれの街灯が少なく、歩くとき怖いです。
女	25～29	転勤	親族有	出勤時、バスと一緒になるとなかなか進まず、バス停もなくとても困ることがあります。バス停の所は停留所を作ってもらえると助かります
男	30～34	同居等	市出身	道路が狭い。田舎で車社会で土地も有り余っているのに、道路が狭い、危ない。老人や歩行者もいるのに歩道がない箇所が多数。せめて病院までの歩道整備くらいすればいいのに。
男	30～34	就職	親族無	国道 341 号が常に通れる。
男	35～39	転勤	親族無	道路が狭い。
男	35～39	転勤	親族無	道路交通を快適にしてほしい。特に冬のＲ103、Ｒ282 は危険(狭い)。
男	40～44	転勤	親族無	市内の道路が不便（昨年のような水害等があった場合、迂回路がない)。

女	40～44	結婚	親族無	ベビーカーで歩く歩道が狭かったり、でこぼこだったりするので直してほしい。
女	40～44	結婚	親族無	外灯が少ないので、増設してほしい。
男	55～59	転勤	親族無	花輪地区へのバイパス設置

雪国生活に関すること

女	～24	就職	親族無	冬が怖いので長くは住めないと感じている。
男	30～34	就職	親族無	除雪をがんばってほしい（道が狭いところが多い）
男	35～39	転勤	親族無	春から秋までは暮らしやすいと感じるが、冬の雪と寒さへの不安解消が課題。
女	35～39	同居等	市出身	除雪対策（雪が多いので不便だと感じる）
男	35～39	同居等	市出身	雪がいっぱい降るので、移住・定住する人は、どうしても少ないと思います。
男	40～44	その他	親族無	鹿角警察署は、冬の走行の注意点を含めた交通安全講習を転入者にすべき。
男	60～64	その他	親族有	冬は雪が多く長いため何処にも遊びに行けない
男	65～	同居等	市出身	融雪溝の整備・設置

住まいに関すること

男	25～29	就職	市出身	空き家の有効活用
男	25～29	結婚	市出身	賃金が低い割にアパートの家賃が高い。
女	30～34	転勤	市出身	収入に対しての家賃が高く感じる（この物件でこの家賃？みたいな）。物件が少ない。
女	30～34	転勤	親族無	アパート・マンションが古いものが多く、選ぶ余地がなかった。簡易水道は今どきはありえない
女	30～34	就職	親族無	アパートは選びにくかった（鹿角市に来ないと決められない）。ネット等でもっとアピールした方が良いと思いました。
女	30～34	結婚	親族無	アパートやマンションなど安く住めるところがあればいいと思います
女	30～34	転勤	親族無	ファミリー向け賃貸住宅が少ない。
男	30～34	就職	親族無	住宅の斡旋（ネットから探しづらかった）。
女	30～34	結婚	親族有	定住促進住宅（空き家や空き地を活用）
男	35～39	転勤	親族無	空き家情報の収集・斡旋をしてほしい。
男	35～39	同居等	市出身	こんな田舎なのにアパート代が高い、ありえない。
女	40～44	結婚	親族無	アパートが収入と比較して高いところが多いし、物件も少ないので残念です。
女	40～44	結婚	親族無	子育てや住居に関して地域格差があると思います。市営住宅を花輪にばかり建てないで古いものをリノベーションして各地区の市営住宅を整備した方がいいと思います。四ノ岱も三ノ丸も松山も空いたところをきれいにリノベーションすると借りたい人はいますよ。花輪以外に住んでいる人にとってはなかなか不便な市です。

女	40～44	転勤	市出身	住居に関して戸数が少ないと言うこと。賃貸でも家賃が都市部と変わらず、収入が少ない人にとっては選択するのも難しい。ＨＰの空き家の情報もイマイチです。古い家を借りるにしてもリフォーム代などの予算などもないと住めない（他県の情報をもっと参考にしては？）。物価が安いとは感じません。市営住宅にしても戸建にするのではなく団地タイプの 4～6 階建てのものがあれば、たくさんの人が住めるし、協力することもできるし良いと思う。今ある駅西住宅だけではなく、今後の建築で考慮してみてはいかがでしょうか。
女	40～44	同居等	市出身	賃貸物件（特に単身者向けの物件）が少ないです。また、平均所得に比べて賃貸物件の賃料が高すぎます。これでは移住したくてもできません。行政の介入により、低価格の（賃貸）物件が十分に供給されることを望みます
男	40～44	転勤	親族無	「田舎のねじろ」宅地建物データバンクなど住居の情報を充実させる。中古物件をもっと質の良いものにする。リフォームして提供するとか、何年以上住むことを条件に格安で提供するなど。
女	40～44	結婚	親族無	高齢になると家からスーパーまで歩くのが困難になると思うので、便利なところへ行きたいと考えており、空き住居の提供をしてほしい。商店街がこんなに静かだとは思わなかった。
男	45～49	同居等	市出身	居住のための低家賃の住宅の確保
男	45～49	転勤	市出身	住みやすい住居の用意が必要。
男	50～54	好き	親族無	空き家を貸す・売るなど不動産売買の情報を公開する（個人的なやりとりが多く、よそものには情報が入らない）。
男	55～59	同居等	親族有	公的な手ごろな住居が必要
男	55～59	転勤	親族無	一番目には仕事があることと、二番目に住宅環境。「衣」と「食」はどこでもさほど差がないと思うので、あとは娯楽施設やレジャー施設も充実しなければいけないと思う
男	55～59	その他	市出身	移住者に対して、空き家を数年間無料で貸してはどうかと思います。
男	65～	同居等	市出身	空き家の利用

市民・コミュニティに関すること

男	～24	結婚	市出身	地区全体が近所付き合いが良すぎて後から来た人を村八分的な感じで接することがあり、やってられないことがあるので、定住先としては・・・？
女	25～29	結婚	親族無	市外から転居してきたが出身は県外のため、居住した際、親しい友人などがいなく心細かった。子育て支援センターなどで知り合いが増えたので、今後も情報発信していってほしい
男	25～29	その他	市出身	地域の祭事に地区住民以外でも参加可能にしてほしい（年齢制限なく）。
男	30～34	転勤	親族無	元々の住民だけで盛り上がっていて自己満足になってませんか？外から来た人は恐らくそのようなところにすぐ気が付きま

				す。身内だけで満足しているようでは前に進みませんよ。もっと外へ目を向けるべきです。
女	30～34	結婚	親族無	私のように県外から嫁に来る人にとっては、知人・友人が出来るということが大事なのではないかと思うので、ハローワークの職業訓練を通じて知人・友人ができたことはとてもよかったです
女	30～34	結婚	親族無	地域性が強いのは良いことだと思うが、なんとなく閉鎖的なような感じがする。
男	35～39	転勤	親族無	地元の方々（住民）の理解と協力、声掛けが重要と思う。
女	35～39	結婚	親族無	意見を言うと、鹿角の人間はこうだから仕方ないと言われることが多いのでがっかりです。
男	35～39	同居等	市出身	よそ者を受け付けない気質が鹿角の人にはあるので、そこを改善しない限り無理だと思います。
女	50～54	転職	親族有	年よりの人が強すぎるので、若い人の意見も聞く耳を持ってほしい
男	50～54	結婚	市出身	鹿角市民が明るいまちを作り上げると思う気持ちに欠けていると思います。
男	50～54	転勤	親族無	地区住民の他地区に対する縄張り意識が大きい。 鉱山があったせいだろうか。よそ者に対し、ウェルカムな意識が感じられる
男	55～59	その他	市出身	どか雪が降ったら除雪ボランティアが活躍している。地域交流活動としてのイベントがいろいろあったら面白い
男	60～64	同居等	市出身	定住して一番感じたことはマナーが悪い市民が多いことです。例えば、スキー国体時に並んでいるにもかかわらず、我先にバスへ乗車し（市民 10 名ほど）、県外のお客様から降りるように強く非難されるも、そのまま乗車していた。私の田んぼには空き缶、ビン等が捨てられる。冬季に多いので市民と思われる。10 月 1 日から稲わら焼きが県条例で禁止だが、9 月 30 日以前に行う人もおり、環境を害している。夏場に雑草を焼く人もおり、窓は開けられず洗濯も干されず。温泉が好きですが、どこでも場所取りや雑誌持ち込みがあり不快である等々、自分が良ければ他人の迷惑を考えない行動です。オリンピック招致で話題になったおもてなしには程遠い状況にあると思われ、本市への移住定住を推奨するには実力不足と思料します。また、このような方々が子どもや孫の教育や生活指導に関わっているとすれば、本市の将来も危惧されます。文化施設コモッセもできることですし、我々大人の人づくりから始めることが重要と考えます。
男	60～64	同居等	市出身	もっと和気あいあいに気軽に相談できるようなまち（鎧を着た人が近所を歩いている感じ）。自治会についても、入会してもしなくても良いと会長に言われ、入会していません（問題が違うでしょ。住む以上は規約など守って頂くというのが普通では？）。集金だけは集めに来る

男	65～	転職	親族無	60 才以上定年者の社会貢献活動の推進策
男	65～	その他	市出身	よそから来た者に町内会や福祉などの世話をしてくれる人

行政サービスに関すること

男	～24	同居等	市出身	もっと開けた市にしてください。何もない、何も楽しめない市です。魅力がありません。そのくせ税金が高い・・・なんで？
女	～24	結婚	親族無	転入届・婚姻届などを提出しに行ったとき対応していただいた方がとても冷たかったので、不安な気持ちになりました
女	30～34	結婚	市出身	花輪に建設中の学習センターのようなものに税金をかけないでもっと有意義、効率的、市民のための税金の使い方をしてほしい。関係ないかもしれないが市役所のやる気もあまり感じられない。市役所に入るとどんよりとした暗い空気が流れているといつも感じる。活気がない。
女	30～34	その他	親族無	結婚や出産など、その時にならないと市の取り組みや制度が分からない。高校生から 20 代、30 代の人がこの市で暮らしていきたいと思う政策があるかも知れないがわからない。一家に１つでも、結婚したとき、出産したとき、子どものためなど、ライフイベントの時に読めるブックなどあればいいと思いました
男	30～34	同居等	市出身	市政のＩＴシステム利用が貧困。このようなアンケートは都市部ではインターネットで行う。一般人が検索で知りたい情報を探し出すことが困難。市政がＩＴシステム利用に積極的でないため、市民も利用度が乏しく、全体的は経済発展の妨げになっているのでは？
女	30～34	同居等	市出身	移住してきて一番最初に手続きに訪れるのが市役所ですが、窓口対応が悪すぎる。全体的に暗い。面倒くさそうに出てきて、声も低く聞こえずらい。愛想がない
男	35～39	その他	親族無	きりたんぽ、駅伝等、特産品だけ取り上げていては他と変わらないと思う。下水道普及率など全国平均に比べ低いところをいかに行政が取り組み、魅力的な街にできるかを知らせると興味を持てると思う
男	35～39	転勤	親族無	潟上に比べると住民税が高すぎるのでネックになる（今後、家族を呼び寄せるのをためらう)。
女	35～39	同居等	市出身	もう少し移住してくる人に親切に対応してもらいたい。いろいろな手続きで、行くところ、行くところ、市内在住の人々には当たり前のことかもしれないが、こちらとしてはわからないことばかりなのに、対応がひどい。「それくらいわかるでしょ」みたいな態度でした。残念です。もう少し、丁寧に対応してほしいです。
女	40～44	転勤	市出身	「街の中に何があるか」が分かる街歩きマップやサークル活動を含むコミュニティに参加できる小冊子などを転入者に渡していたと思うので、それを継続してほしい。似たような名称の公共施設が多すぎて戸惑いがある。通称なら通称でわかりやすくしてほしいし、広報にも公共機関の所在の略図が入れてあると

				助かる。
男	40～44	その他	親族無	電池のごみ捨てがよくわからない。 粗大ごみの回収があると助かる。 いとくＳＣの窓口はすごく助かるので続けてほしい。
男	45～49	転勤	親族無	住民税が他の市よりも高いように感じられる、行政内で効率化が図られてないのではないか？無駄使いがあるのではないか？
男	45～49	転勤	親族無	転入してきてから言っているが、水道料金がいまだにコンビニで支払いできない。４年目になっても変わらない。不便です。
男	50～54	転勤	親族無	支所で転入届がどうして不可なのか（転出届は可なのに）。人口減を少しでも食い止めるなら逆では？転入者を拒んでいるのか
女	50～54	その他	市出身	市役所の待合の椅子が低すぎて、障害者には座りづらい。老人には良いかもしれないけど、大変です。
男	50～54	結婚	市出身	税金の無駄遣い、税金が高い
女	55～59	同居等	市出身	税金が高いと思います。せっかく高い税金を払っているのに、その恩恵にあずかっている人と（優遇措置を）全然知らない人の不公平感を感じた。もっと広く市民に対して得られる優遇を知らせるべきです。
男	60～64	その他	親族有	役所の対応が上から目線で親身感が無い。もう少し市民の立場になって対応してほしい。
男	60～64	同居等	市出身	他市・他県からの転入者に対して、転入マニュアルみたいなものが欲しい。市の施設等の地図など地理感のない者には場所が分かりにくい。また、市役所以外での手続きが必要なものも記載してほしい（ナンバープレートの交換など）。

その他

女	～24	同居等	市出身	鹿角の名産が楽しめるモールがあればいいです
女	25～29	結婚	親族無	動物病院の開設
男	25～29	転勤	親族無	インターネットなどであまり情報がないし、閉鎖的な面があるので、あまり移住しやすいとは言えないかと思います。人が温かく協調性があり、時間がゆっくり過ぎていくまちだという印象を持ちましたが、反面この競争社会で勝ち抜いていくのは難しい町とも思いました。移住定住を考えると情報も交通も開放的であること、働く場がもっと多くあること、充実した教育を受ける場があることが必要と考えます。私は鹿角に移住して鹿角の良さもわかりましたが、将来自分の子供が出来たとき、ここで育ててこの激しい競争社会で生き抜く力をもつ子どもに育てられるか不安に思います
女	25～29	不明	親族無	観光客を呼びたいならもう少し景観を良くするべき（歩道を整備したり並木道があるとよい）。スポーツ＆自然が売りなら観光客が行きやすい場所に釣り堀やキャンプ場があるとよい。
女	25～29	結婚	親族無	十和田方面にも子どもの遊べる大きな施設・公園などがあるといいと思います
男	25～29	転勤	親族無	ある程度夜遅くまでやっている自習室、図書館がほしい。深夜

				に灯油がなくなったり、ＰＣ、ネットが壊れると復旧できる手段がなくて絶望するし、大事な作業・仕事に影響があるので、市内にネットカフェが欲しい。
男	25～29	その他	市出身	スキー以外のスポーツ競技イベント（サイクリングレース、マラソン等）に力を入れてほしい。地域のクラブは高齢者・子ども向けが多く、若者が参加しているクラブは企業・友人つながりで、つながりが全くない転入者は参加しづらい。
男	25～29	その他	市出身	深夜まで営業している店舗、複合商業施設がほしい。市中心部が活性化するような店舗の誘致、エリアをつくってほしい。
女	25～29	転職	市出身	市のイベント情報をもっと積極的に発信する必要がある（例えば、市のメルマガを使って発信するとか)。市のＨＰの情報があまりにも少なすぎる。特にイベント系は、タイムスケジュールまで載せる必要があるのに、いつ見ても「予告編」のようなふわっとした情報しかない。このような状態では、市内の人だけでなく遠方から観光、イベントなどで来る人にも失礼にあたると思うので改善してほしい
男	30～34	転勤	親族無	高齢者が横断歩道がないところを横断したり危険に感じることが多いです。
男	30～34	結婚	市出身	スキーのまちと言っていますが、スキーだけではなく、スノーボードとかウインタースポーツをもっと盛んにした方が良いかと思います。
女	30～34	就職	親族無	豪雨の時の河川の増水の度合いが激しいように感じる。近くの道路を通行するときには恐怖感もある。なんとかならないのかと思う。
女	30～34	転勤	市出身	高齢者が暮らしやすいように、介護（看護）施設、病院、スーパーなど一つのタウンを作ってしまうと便利なのでは？
女	30～34	転勤	親族無	教育やスポーツ、体力づくりに力を入れていることをアピールしてみては？
女	30～34	転勤	親族無	ジョギングやウォーキングをする歩道がほしい。
女	30～34	転勤	親族無	海外交流についての情報がほしい。
男	30～34	不明	市出身	何故人口３万人まで少なくなったのか。理由はいくつもあると思いますが、私の年代の皆が分かっていなければならないと思います。理由が分かった上で色々な意見が出てくると思います。また、「笑顔がつながり活力を生むまち」とは一体どういったものでしょう？　私にはわかりません。自分の家族の生活で手一杯です。
女	30～34	結婚	市出身	若い人が集まる要素がない。
女	30～34	その他	市出身	子どもの習い事の教室（文科系や学習教室のみではなくスポーツ系など）があればいいと思います
男	30～34	同居等	市出身	すべては大館の下位互換。大館に勝る、家族が楽しめる施設や企業努力が必要。有名店の呼び込みなど積極的に行うとよい。地域ブランドなどどうでもいい。メディアを通じて知り、都会に憧れ、そのお店が鹿角にもある。集客力はそこらへんのイベ

				ントよりも絶大なはず。
男	30～34	就職	親族無	秋田県の中にあり、他県とのつながり（文化など）がもっとあると魅力が増す。
男	30～34	就職	親族無	コンパクトシティ化
女	30～34	結婚	親族有	このような貴重なアンケートの最終報告をするのでしょうか。市議会で話題にするだけではなく、広報で報告するとか、結果を市民全員に見てもらえるようにしてほしい
男	30～34	転勤	親族無	高齢者が多いので、健康のためにスポーツ施設がもっとあればいい
女	35～39	結婚	親族有	子どもを産みやすい環境ではあるが、勉学をもっとしたいと思った時に学校以外にほとんどない。よって育てるのに途中から出ていく可能性があると感じている。よって社会全体で子どもを成長させる（育てる）取り組みが必要では？
女	35～39	その他	市出身	まず学生時代に地元でいじめが無いこと。地元で嫌な目にあって育てば、地元から出ていくし、帰ってきたくはないと考えて当然。親子関係もそう。子ども時代に親から不当に苦しめられれば盆正月すら帰って来たくはないですから、大人になろうが。だから、家庭や学校で楽しい充実した毎日を各々が送れることからだと思います。
男	35～39	転勤	親族無	イベント、行事などいろいろなことにおいて情報が足りない。地元の方々には当然のことなのでしょうが、外から来た者にとってはわからないことが多い。そしてその情報もどこから得たらいいのかの案内もない。
女	35～39	結婚	親族無	ＡＴＭの数がもう少しあった方がいいと思います。なかなか混雑していたり、駐車場が不便です。
男	35～39	転勤	親族無	一年半鹿角市に居住して感じたことは、まず第一に禁煙・分煙施設が少ないということ。秋田県は「健康県」をうたっているのに矛盾を感じる。関東圏の飲食店ではほとんどが禁・分煙を実施しているので、そこから移住してくるとそういう店がないのは非常識に等しいと思う。店側に聞くと「お客が来なくなるから」できないと言う。「健康県」をうたうなら行政が補助金を出すなど、率先して取り組みをするべきでは。また、こういったアンケートで意見を聞き、新しいことにチャレンジしようとしているのは多くが若者で、年寄りは「これまでと同じで良い」と閉鎖的な考えが多く、両者の差をとても感じる
女	40～44	結婚	親族無	すばらしい施設など（観光・スポーツ）があるが一部の方には使用しやすいがあまり使用できずにいます。なにが問題かと問われると難しいのですが、転入してきた人だと知人がいないのと、情報が少ないような気がします。行事もたくさんありますが、知らないこともあるので、人がたくさん集まる場所にもっとわかりやすい情報（ポスターとか）があったらいいと思います。
男	40～44	転勤	親族無	自衛隊の誘致で災害に強いまちになる（青森・岩手への交通が

				よい点が強み）
男	40～44	転勤	親族無	地熱（温泉）を活用した発電の研究
女	40～44	その他	市出身	いつの頃かは覚えていないが市の人口が５万人ぐらいだったのを覚えていて、今ではとても少なくなってしまった感じで将来がとても不安です。若い人たちができれば私のように地元大好きで就職も結婚も鹿角でしてくれたらどんどん人口が増えるだろうなあ。そのためには若い人たちが不安なく働いて暮らせるようなまちを作ることが必要だと思います。住めば都、他県などから鹿角に来ている人もいる中、せっかく鹿角に生まれたならば、他県に出て行ってしまわないで鹿角で幸せになれるよう、若い人たちに（子供のころから）地元愛を育む機会をどんどん与え続けるべきだと思います。
男	40～44	転勤	親族無	伝統継承も大事だが、生まれ育った場所ではないので面倒くさい。
男	40～44	転勤	親族無	駅伝やスキーも良いが、その他のスポーツにも力を入れるべき。
男	45～49	転勤	親族無	お店が市民目線でなく殿様商売のイメージを受ける（居酒屋で飲み放題コースが３日前でないと受付しない。居酒屋で当日席だけの予約が４名以上でないと受付しない。10 人くらいの宴会で 4000 円でと頼んだがコースセットは 4300 円からと言われ、融通が利かない。入浴料 400 円に対してシャンプー石鹸の備え付けがないのは高すぎる）。
女	45～49	その他	市出身	温泉がたくさんあり、スポーツ振興に力を入れているが、スポーツで怪我をしたりしたときのリハビリのため理学療法士つきの温泉プール（もちろん医師からの診察を受け、その指示のもと）で治療ができる場所を作るなどしてはどうか。浮力を使って温水の中で動かすことで痛みも軽減できるので良いと思う。鹿角の中で温水プールがあるのはホテルの中だけだが、水温が低いため、リハビリには適していない。治療専用のリハビリプールを（ハイドロセラピー）のことを考えれば、患者が治療のため訪れるのではないかと思います。よい温泉があるのに、入浴だけに用いるのはもったいない。もちろん、それには医師、看護師なども必要になるので難しいですが。
女	50～54	同居等	市出身	駅周辺及び商店街が充実していない。
男	50～54	好き	親族無	図書館の充実。
男	50～54	好き	親族無	ＷｉＦｉのスポットを駅や高速道路、道の駅、公共施設や大型スーパーなどにもっと充実させる。
女	50～54	同居等	市出身	外国人交流が盛んになり、英語教育や文化交流が増えること
女	50～54	その他	市出身	障害者に対する対応が一番よく、安心できるため、鹿角市に決めました。これからも障害者にやさしい市であってほしいです。
男	50～54	転勤	親族無	廃県置州（秋田県の一市でなく北東北の一市として存在感を発揮）
女	55～59	その他	親族無	引っ越して１年になりますが、近所の人など、どんな方が住んでいるのかもあまりわからないので、いろんな面で不安があり

				ます。暗くなってくると家の周りの街灯が少なく怖い感じがします。前に車庫から出て家に入るとき、自転車のライトをつけない人が来て、ぶつかりそうになったことがあり、危険な感じがします。後から来た私どもですので我慢しようと思いましたが、このようなアンケートがありましたので書かせていただきました。
男	60～64	その他	市出身	商店街の活用が全く出来ていない。
男	60～64	同居等	市出身	きりたんぽＦＭをよく聞いているが、鹿角の文化レベルの高さを理解できる
男	60～64	同居等	市出身	市で行ういろんなイベントの伝達の仕方が少し中途半端で、終わってから知ることが多かった
男	60～64	好き	市出身	レジャー施設として、花輪スキー場のペアリフトをゴンドラに変更
男	65～	転職	親族無	自治体の施策に対し市民の理解度が薄いのが気にかかる→積極広報
男	65～	転職	親族無	余談ですが、鹿角市なので、鹿を飼って大切にしたらよいと思います。運動公園に鹿なんてのも絵になるかも。
女	65～	その他	市出身	市の中心が見えない、見つからない。中心となる役所、医療機関、警察署などが遠くて、高齢者に適していないまち。少しでも近場で要件が済ませられるよう、「コモッセ」に期待したく思います。希望としてはコモッセに郵便局（簡単な業務だけ）が入っていただけたら便利かなと思っております

よりよいまちへの転入者アンケート

＊＊

アンケート協力のお願いについて

日頃より、市政運営に格段のご理解・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、市では、将来都市像を「笑顔がつながり活力を生むまち・鹿角」と定め、１０年後においても人口３万人台を確保できるよう、平成２３年度から第６次市総合計画を推進しています。

少子高齢化が進む中、定住人口を確保するためには、移住・交流を活発化させる必要があると考えており、取り組みの参考とするため、平成２３年４月から３年間において鹿角市に転入された方々全員にアンケートをお願いすることとしました。

このアンケートは、無記名の上、ご記入いただいた内容はすべて統計的に処理いたしますので、個々の方のご回答内容や個人情報が特定されることは一切ございません。

調査結果は今後の定住促進のための貴重な資料となります。お忙しいところ恐縮ですが、調査の趣旨をご理解のうえ、率直なご意見をお聞かせ頂きますようお願いいたします。

平成２６年１０月１日

鹿角市長　児　玉　　一

＊＊

ご記入にあたってのお願い

１　回答は、転入されたご本人（家族で転入された場合は代表の方お一人）がお書きください。

２　設問は、全部で１４問です。

３　ご記入が終わりましたら、同封の封筒に入れ、ポストにご投函くださるか（切手不要）、市役所または最寄りの支所にご提出ください。

【投函及び提出期限】　**10 月 20 日（月）まで**

４　すべての問いに答えることができない場合でも、貴重な資料となりますので、投函又は提出をお願いします。

５　ご回答の際、不明な点がございましたら下記までお問い合わせください。

＜問い合わせ先＞　鹿角市政策企画課　電話：30-0201

はじめに、あなた自身についておたずねします。

設問①　あてはまる□に**○印**を１つずつ記入してください。

・お住まいの地区
□ 花輪　□ 十和田
□ 尾去沢　□ 八幡平

・性　別
□ 男性　□ 女性

・年　代
□ ２４歳まで　□ ２５～２９歳　□ ３０～３４歳
□ ３５～３９歳　□ ４０～４４歳　□ ４５～４９歳
□ ５０～５４歳　□ ５５～５９歳　□ ６０～６４歳
□ ６５歳以上

・職　業
□ 会社員　□ 公務員（教員含む）　□ 団体職員
□ 自営業　□ ｱﾙﾊﾞｲﾄ･ﾊﾟｰﾄ　□ その他

転入されたときのことについておたずねします。

設問②　鹿角市に転入される前のお住まいをお知らせください。

都道府県名（　　）　市区町村名（　　）

設問③　転入されたのはいつですか。あてはまる□に**○印**を１つ記入してください。

平　成　□ ２３年度　□ ２４年度　□ ２５年度

設問④　転入時の家族構成についてお答えください。

１．ひとりで

２．家族で　→　①夫婦のみ　②配偶者と子どもと　③本人と子どもと　④親と　⑤その他
（家族での場合、右の①～⑤のあてはまる番号に○印）

設問⑤　転入された最も大きなきっかけは何でしたか。（１つに○印）

１．転勤のため
２．転職のため
３．就職のため（転職を除く）
４．結婚のため
５．家族や親族と同居するため（または近くに住むため）
６．鹿角市が好きだから（上記１～５に該当する場合を除く）
７．その他の理由　→（　　）
（差支えなければ
具体的な理由を
お書きください）

設問⑥　転入にあたって、鹿角市以外の市町村への転居も検討しましたか。

１．他の市町村も検討した　→（　　）
（鹿角市に決めた理由を
お知らせください）

２．鹿角市しか検討していない→（　　）
（その理由を
お知らせください）

設問⑦　転入時、生計を支える方のお仕事は決まっていましたか。

１．決まっていた　　→勤務地が鹿角市外である場合（市町村名　　）
２．決まっていなかった
３．高齢などの理由により仕事をする必要はなかった

設問⑧　転入時及び現在の住居についてお答えください。（１つに○印）

転入時	１．市在住の親族と同居　２．持家　３．貸家　４．アパート
現在	１．市在住であった親族と同居　２．持家　３．貸家　４．アパート

設問⑨　あなたご本人または転入の際のご家族のどなたかは、鹿角市の出身ですか。（１つに○印）

１．鹿角市出身である（家族の中に出身者がいる）

２．鹿角市出身ではないが、鹿角市在住または鹿角市出身の親族がいる

３．鹿角市出身ではなく、鹿角市在住または鹿角市出身の親族もいない

設問⑩　転入前に、鹿角市についてどんなイメージをお持ちでしたか。（あてはまるものすべてに○印）

１．歴史・文化のまち　　２．教育・子育てのまち

３．学術・芸術のまち　　４．健康増進・医療福祉のまち

５．観光・レジャーのまち　　６．農林水産業が盛んなまち

７．スポーツのまち　　８．地場産業が盛んなまち

９．国際交流のまち　　１０．ＩＴ・先端技術のまち

１１．環境にやさしいまち　　１２．生活に便利・快適のまち

１３．デザインやセンスの良いまち　　１４．災害リスクが大きいまち

１５．住民参加のまち　　１６．事件・事故が多いまち

１７．その他（　　）

設問⑪　転入に際し不安はありましたか。あった場合は、どのような不安ですか。（自由記述）

現在のお気持ちについておたずねします。

設問⑫　鹿角市にお住まいになって、鹿角市はどんなまちだと感じていますか。それぞれの項目について、あてはまる番号（記号）に○印をつけてください

【評価の程度】　５：　そう思う　　４：　ややそう思う　　３：　ふつう
２：　ややそう思わない　　１：　そう思わない
？：　わからない（知らない）

項　　目	評価の程度
1.　まちのイメージがよい	５　４　３　２　１　？
2.　緑や水辺など、自然環境がよい	５　４　３　２　１　？
3.　景観がよい	５　４　３　２　１　？
4.　おいしい食べ物がある	５　４　３　２　１　？
5.　犯罪や交通事故が少なく安全である	５　４　３　２　１　？
6.　自然災害が少ない	５　４　３　２　１　？
7.　近所付き合い（人との触れ合い）が心地よい	５　４　３　２　１　？
8.　子育て環境が充実している	５　４　３　２　１　？
9.　教育環境が充実している	５　４　３　２　１　？
10.　高齢者や障害者のための福祉が充実している	５　４　３　２　１　？
11.　病院などの保健・医療体制が整っている	５　４　３　２　１　？
12.　住宅の規模や価格、家賃など住宅事情がよい	５　４　３　２　１　？
13.　市内の交通が便利である	５　４　３　２　１　？
14.　周辺の市等への交通が便利である	５　４　３　２　１　？
15.　買い物など日常生活が便利である	５　４　３　２　１　？
16.　物価が安い	５　４　３　２　１　？
17.　働く場所（パート、アルバイト等を含む）がある	５　４　３　２　１　？
18.　さまざまな娯楽を行いやすい	５　４　３　２　１　？
19.　自然の中でのスポーツ、レクリエーション、趣味活動を行いやすい	５　４　３　２　１　？

設問⑬　あなたは、鹿角市にお住まいになって良かったとお感じになっていますか。次の中からあてはまるもの１つに○印を付け、その理由もお書きください。

１．　良かった　　２．　どちらかといえば良かった
３．　どちらともいえない
４．　どちらかといえば良くなかった　　５．　良くなかった

その理由

（　　）

設問⑭　移住・定住先として鹿角市が選ばれるために必要な取り組みについて、提言や期待、ご意見等がありましたらご自由にお書きください。

以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

封をして、ポストに投函くださるか、最寄りの支所にお届けください。